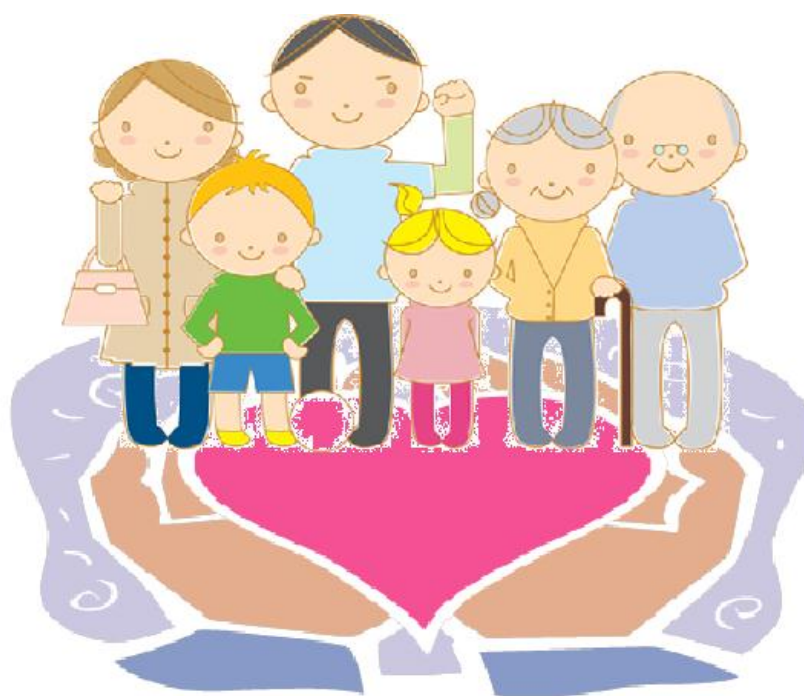


松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方計画



平成24年11月

松江市

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方について 目次

はじめに

第1章 幼稚園・保育所(園)のあり方の検討に向けて	1
1 検討の趣旨	1
2 幼稚園・保育所(園)の現状	2
3 課題	5
4 幼稚園・保育所(園)の個別課題	8
5 H23年度取り組み状況	13
第2章 松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方計画	14
基本理念	15
1 子育て・子育てに必要な就学前教育・保育環境の整備	15
2 子どもを安心して生み、育てることができる環境づくり	18
3 就学前教育・保育の質の保証、向上の確保	23
4 将来を担う子どもたちの健全な発育・発達の促進	25

資料編

・幼稚園・保育所(園)一覧表	27
・幼稚園・保育所(園)の園児・児童、待機児童数、推移等	28
・松江市の年齢別将来人口推計	34
・幼稚園・保育所数(類似都市比較)	35
・松江市の現状(松江市次世代育成支援行動計画抜粋)	36
・松江市立幼稚園・保育所(園)のあり方について(平成19年2月策定)	41
・前回の報告書で示された地区別の現在の状況及びH24,25年度の3～5歳児数推計	51
・平成24年度小学校就学予定児童の就学前所属先状況	54
・特別保育事業実態報告	57
・平成19年2月【報告書】で示された方向性とその実施状況	61
・「保幼小中連携」について	64
・幼稚園・保育所の運営費について	70
・「子ども・子育て新システム」の幼保一体化について	71
・松江市独自の幼稚園と小学校の連携、幼保一元化事業について	73
・保育所の運営費について	75
・特別保育事業の補助金について	75
・保育料について	76
・中学校区ごとの保育所(園)、幼稚園、小学校	78

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方検討委員会設置要綱

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方検討委員会委員名簿

は じ め に

近年、松江市においては、少子化の急速な進行、核家族化の進展、地域コミュニティの希薄化などにより、子育てに不安を抱える親の増加や家庭・地域社会における教育力の低下が問題となっています。

また、就労する女性の増加により、年々保育所に入所する乳幼児が増えています。毎年度、保育所整備等により定員増を図るとともに、定員の弾力化により、定員以上の入所児童を受け入れていますが、未だ待機児童の解消が図られない状況です。

一方、幼稚園では入園者が年々減少し、園児数が20人に満たない小規模園が生じており、適正な集団教育を図ることが困難な状況にあります。

また、幼稚園における3歳児保育の充実、保育時間の延長などのニーズや、保育所における一時保育、病児・病後児保育などに対するニーズも多くなっています。

このような多様化した子育てニーズに対応しながら、誰もが安心して子供を産み育てることのできる子育て環境、すべての子どもが自らの力で心身ともに成長することのできる子育て環境を再構築することは、松江市が早急に取り組むべき課題であります。

そのような中で、平成23年度に「松江市における幼稚園・保育所（園）のあり方検討委員会」を設置し、今後の松江市における幼稚園・保育所のあり方について検討していただきました。

社会情勢の変化による保護者のニーズの変化にどのように対応していくか、国の『子ども・子育て新システム検討会議』における幼保一体化を含む、就学前教育・保育についての検討状況も視野に入れ議論しました。

検討委員会では、松江市の将来を担う子どもたちの健全な育成・発達を促進するために、就学前の子どもたちの教育・保育をどのように提供すべきかという観点と、わが子を健やかに育てたいと願う保護者が安心して産み、育てるための環境はどうあるべきかという観点で検討いただきました。

松江市では、検討委員会の検討結果を踏まえ、松江市の計画として「松江市における幼稚園・保育所（園）のあり方計画」を策定しました。今後、この計画に基づき、十分地元や保護者と協議し、保育・教育内容の質の低下や保護者の負担増が発生しないよう調整しながら、具体的な施策を実施してまいりたいと考えています。

第1章 幼稚園・保育所(園)のあり方の検討に向けて

1 検討の趣旨

近年、少子化、核家族化、女性の社会進出、就労形態の変化などにより、個人の価値観や生活様式が多様化するとともに、人間関係や地域における地縁的なつながりが希薄化するなど、子どもを取り巻く環境や家庭における親の子育て環境に変化が生じています。

こうした中、松江市では平成18年度に有識者、幼稚園関係者、保育所関係者などを構成員とする「幼稚園・保育所(園)のあり方検討委員会」を設置して、幼稚園・保育所の子どもたちを同じ就学前の子どもとして捉え、将来を担う松江市の子どもたちが、特色ある質の高い教育・保育を受けられるよう、幼保園の設置、幼稚園の統廃合について検討し、平成19年2月には、同検討委員会から、

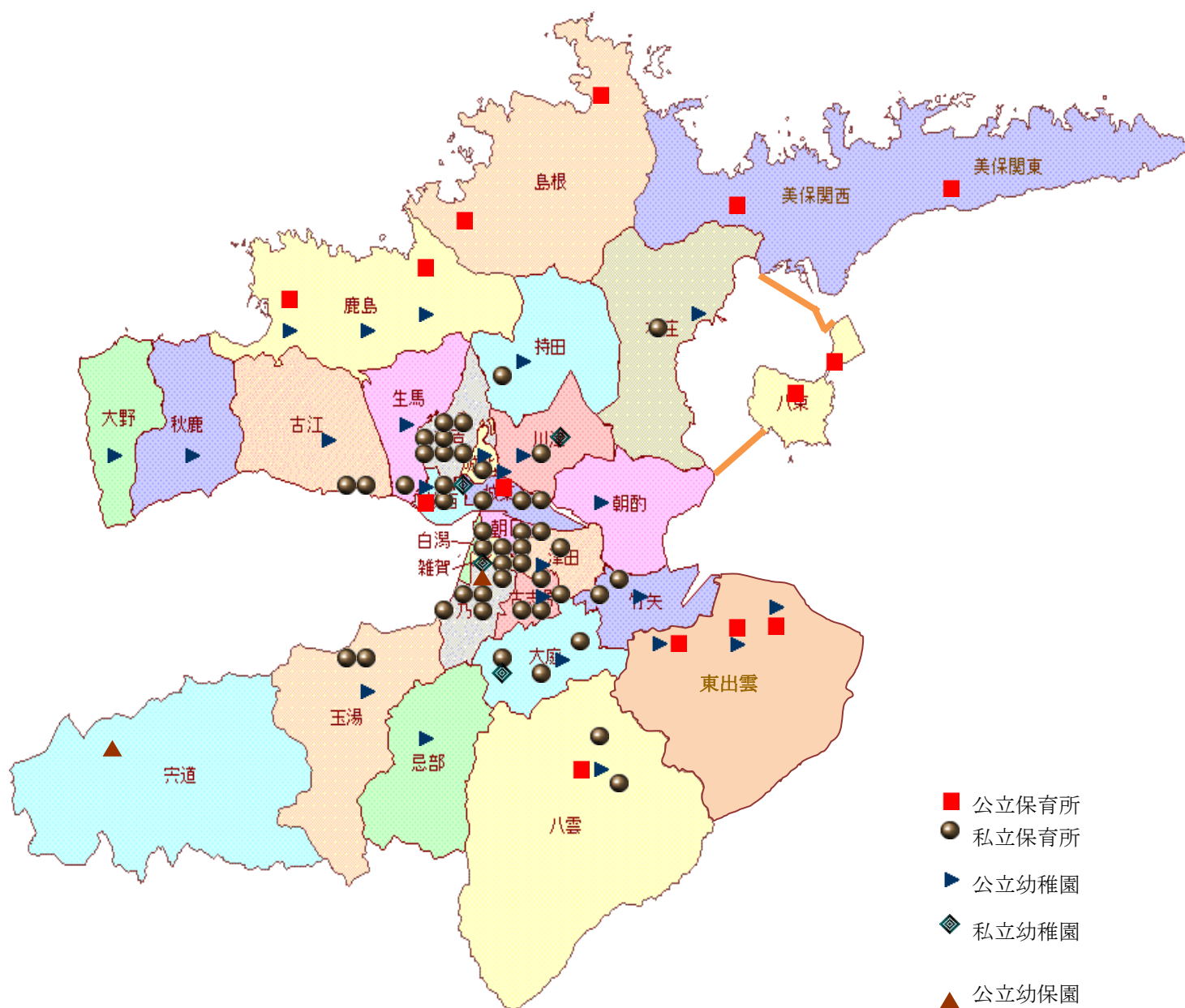
- ① 新たな施設を整備する場合、より良い幼児教育・保育の環境づくりという視点から幼保園として整備することが望ましい。
 - ② 小規模園において、園児数の増加が見込めない場合は、複数の園を統合することを検討する必要がある。その際には、スクールバスの運行や駐車場の整備などについても併せて検討する必要がある。
 - ③ 既存施設の状況や地域事情等により継続することが適当と判断される園については、幼稚園として存続、整備することが望ましい。その場合、現在の教育・保育の質を低下させることなく市民ニーズに対応するため、教育・子育て支援機能を充実する必要がある。
 - ④ 国、地方を通じた官から民へという大きな流れの中で、民間にできることは民間にお願いするという視点にたって、公立保育所の民営化と、小規模保育所の統合について検討する必要がある。
- の四点の提言を受けました。

この提言を踏まえて、しんじ幼保園の設置、(仮称)城西幼保園整備の検討、やつか統合保育園の設置、平成24年度からの美保関東・西保育所への指定管理者制度導入などを進めているところでありますが、リーマンショック以降の幼稚園園児の減少、保育所の待機児童問題、国における幼保一体化の進捗に対応し、松江市として官民の役割分担も含めた新たな計画を策定するための検討を行うものです。

2 幼稚園・保育所(園)の現状

旧松江市、旧鹿島町、旧玉湯町、旧宍道町、旧八雲村及び旧東出雲町の幼稚園は、ほぼ小学校区ごとに幼稚園が整備され、地域の幼稚園から小学校へとつながっていく幼小一貫した教育体制となっている。

保育所は、旧市内に集中しており、旧島根町、旧美保関町、旧八束町には公立保育所のみが設置されている。



●松江市内の幼稚(保)園・保育所(園)の設置状況(小学校区別) 〈園児数:平成23年11月1日現在〉

小学校	人口	園児数	市立		国立・私立	
			幼稚園	保育所(園)	幼稚園	保育所(園)
母衣小学校	231	723	母衣幼稚園	城東保育所	松江暁の星幼稚園	たまち保育園 しらゆり千鳥保育園 たまち乳児保育園
城北小学校	474	312	城北幼稚園		島大附属幼稚園	嵩見保育所 みずうみ保育園 みずうみ第2保育園
内中原小学校	672	359	内中原幼稚園	末次保育所		しらとり保育所 浜佐田保育園
中央小学校	302	329	中央幼稚園	白湯保育所		松江ナザレン保育園 松江保育所 松原保育園
雑賀小学校	115	613	雑賀幼稚園		松徳幼稚園	松尾保育所 みつぎ保育園 みどり保育所 みつぎ乳児保育園
津田小学校	961	275	津田幼稚園			愛恵保育園 虹の子保育園
古志原小学校	482	496	古志原幼稚園			古志原保育所 なかよし保育園 こばと保育園 運動公園前保育所チャイルド
川津小学校	1,030	225	川津幼稚園		育英北幼稚園	たまち育英北保育園
朝酌小学校	82	14	朝酌幼稚園			
法吉小学校	812	632				比津ヶ丘保育園 法吉保育所 比津ヶ丘保育園融合センター 比津ヶ丘保育園わらべのその みのり黒田保育園
竹矢小学校	352	322	竹矢幼稚園			わかたけ保育園 しらゆり第3保育園
乃木小学校	1,267	810	幼保園のぎ			幼保園のぎ 乃木保育所 袖師保育所 つわぶき保育園 みつぎ田和山保育園 みつぎ田和山夜間保育園 みつぎ田和山第2保育園
忌部小学校	103	19	忌部幼稚園			
大庭小学校	506	389	大庭幼稚園		育英幼稚園	しらゆり保育園 育英乳児保育園 なの花保育園
生馬小学校	85	216	生馬幼稚園			みのり保育園 みのり乳児保育園
持田小学校	181	193	持田幼稚園			しらゆり第2保育園
古江小学校	229	174	古江幼稚園			ふたば保育所 ふたば第二保育所
本庄小学校	83	70	本庄幼稚園			本庄保育所
大野小学校	48	5	大野幼稚園			
秋鹿小学校	58	8	秋鹿幼稚園			
鹿島東小学校	135	108	講武幼稚園	御津保育所		
恵曇小学校	67	93	恵曇幼稚園	恵曇保育所		
佐太小学校	124	27	佐太幼稚園			
島根小学校	137	122		マリン保育所 野波保育所		
美保関小学校	173	142		美保関西保育所 美保関東保育所		
八雲小学校	327	258	八雲幼稚園	八雲保育園		たけかや保育園 ひよし保育園
玉湯小学校	334	226	玉湯幼稚園			湯町保育園 玉湯さくら保育園
大谷小学校	18	8	大谷幼稚園			
宍道小学校	313	282	しんじ幼保園			
来待小学校	123					
八束小学校	160	138		二葉保育所 江島保育所		
意東小学校	65	107	意東幼稚園	意東保育園		
揖屋小学校	434	215	揖屋幼稚園	揖屋保育園		
出雲郷小学校	412	197	出雲郷幼稚園	出雲郷保育園		

※人口は、平成23年3月末(東出雲町のみ、平成23年8月31日)現在

(1) 保護者ニーズの多様化

女性の社会進出、就労形態の変化などに伴い、保育時間の延長や就学前教育・保育の質の充実など保護者ニーズは多様化してきています。

(2) 家庭や地域社会の教育力の低下

家庭や地域社会の教育力の低下は、子どものコミュニケーション能力、自制心や、基本的な生活習慣の定着が十分に図られないなど、子どもの育ちに大きな影響を与えています。こうした問題は小学校低学年における学級崩壊の発生とも深く関連しています。

また、核家族化や地域社会における地縁的なつながりの希薄化等により、子育てに悩み、孤立感を募らせ、不安を抱いている保護者や、幼稚園や保育所、さらには小学校に、子育てに関する悩みを相談する保護者が増えています。一方で、保護者が子育てを幼稚園や保育所、小学校へ任せ切りにするなどの状況が生じています。

(3) 特別支援教育の必要性

文部科学省の行った調査によれば、小学校では、学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）など特別な支援が必要な子どもが約6.3%の割合で存在すると推定されています。そのような子どもたちの早期の気づきと対応に努め、適切な支援ができるような体制づくりが幼稚園や保育所を含むすべての就学前教育・保育施設において求められています。

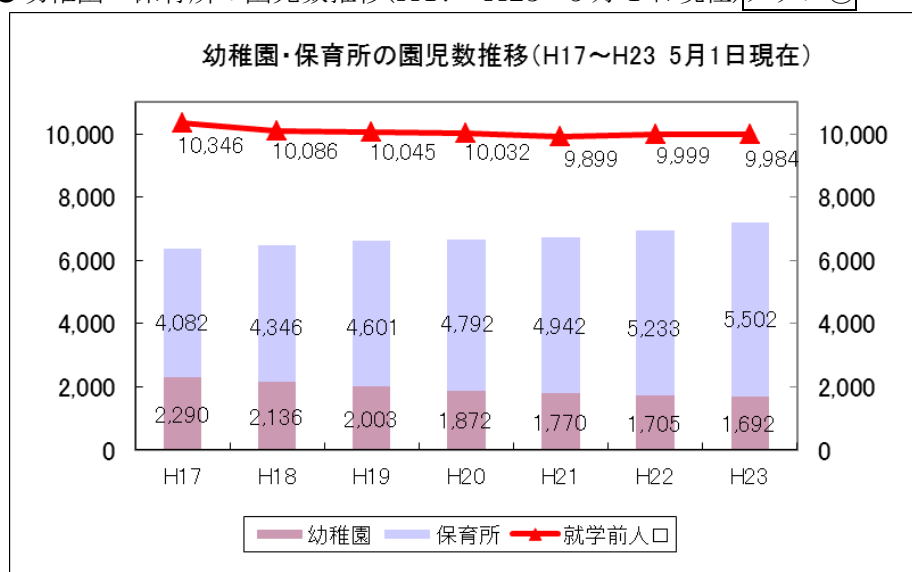
(4) 幼稚園の園児数の減少

幼稚園全体の定員充足率は定員そのものが減少しているにもかかわらず、ここ数年低下傾向が続いており、将来においても、就学前児童数の減少が予測されることから、定員充足率の改善を見込むことはできません。

(5) 保育所の待機児童数の増加

保育所の待機児童数は、就学前児童数の減少にかかわらず年々増加傾向にあります。

●幼稚園・保育所の園児数推移(H17～H23 5月1日現在) グラフ①



3 課題

① 子どもの数の絶対的な減少

- ・ 国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計により、松江市の就学前児童数は2030年には約7,400人まで減少する見込み

		2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
就学前児童数 (0歳～5歳)	推計1	11,254	10,910	10,075	9,263	8,315	7,477
	推計2	11,217		10,042	9,232	8,287	7,452
	推計3			9,950	9,164	8,179	7,367

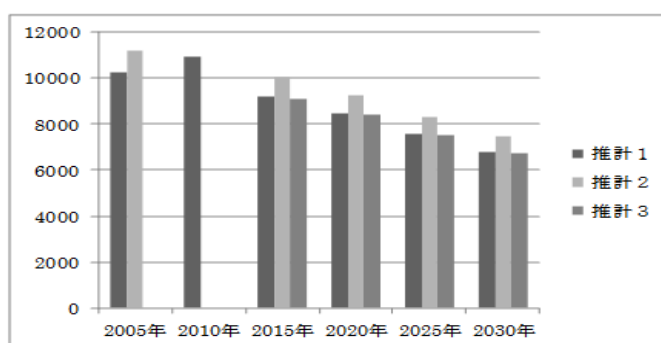
※推計1＝2010年データを基に推計

※推計2＝2010年5～9歳児データを5等分し、0～4歳児数に加える

※推計3＝0～4歳の減少率で推計

○松江市における就学前児童数の将来推計

グラフ②



- ・ 松江市全体が大きく減少する中で、市周辺部については、さらに大きな減少幅となることが予想される。

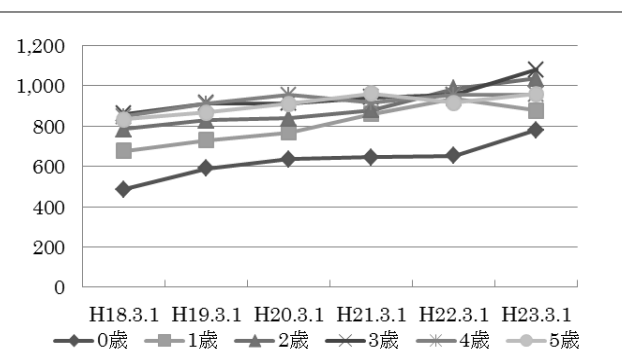
② 在宅児童数の減少

- ・ 少子化が進んでいるにもかかわらず、保育所待機児童は増化している。特に0歳児の待機児童が急増している。
- ・ 0歳から2歳児の保育所入所が増加傾向にあるため、在宅児童数が減少していると思われる。

○年齢別の入所児童数推移

グラフ③

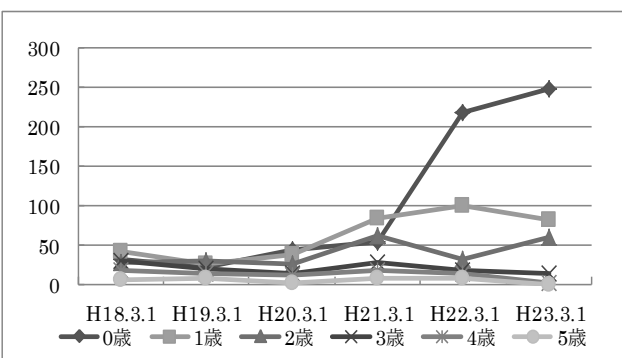
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
H18	487	678	786	860	849	835	4,495
H19	590	730	829	915	912	868	4,844
H20	635	769	839	914	954	912	5,023
H21	646	861	881	944	916	962	5,210
H22	652	937	986	955	954	916	5,400
H23	780	878	1,038	1,080	957	961	5,694



○年齢別の待機児童数推移

グラフ④

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
H18	32	41	28	29	18	5	153
H19	22	25	29	20	14	7	117
H20	43	37	26	13	12	1	132
H21	54	83	61	27	17	7	249
H22	218	100	31	18	14	8	389
H23	248	81	59	13	2	0	403



③ 就学前教育・保育の一元化

- ・ 国において、幼保一体化を含む、就学前教育・保育について検討が進められている。
- ・ 松江市は、平成 17 年度に幼保園のぎを開園し、平成 23 年度にはしんじ幼保園を開園し、松江市独自の幼保一元化施策に取り組んできた。
- ・ 今後とも、「保育に欠ける、欠けない」に係わらず、松江市に住む就学前児童に一律な教育、保育を提供していく必要がある。
- ・ 小中一貫教育が進められているところであるが、就学前教育・保育がその後の成長にとって非常に重要であることから、「保幼小中一貫」が唱えられはじめた。これらのことを踏まえて、幼稚園、保育所分け隔てなく対応していく必要がある。

④ 地区別待機児童の状況

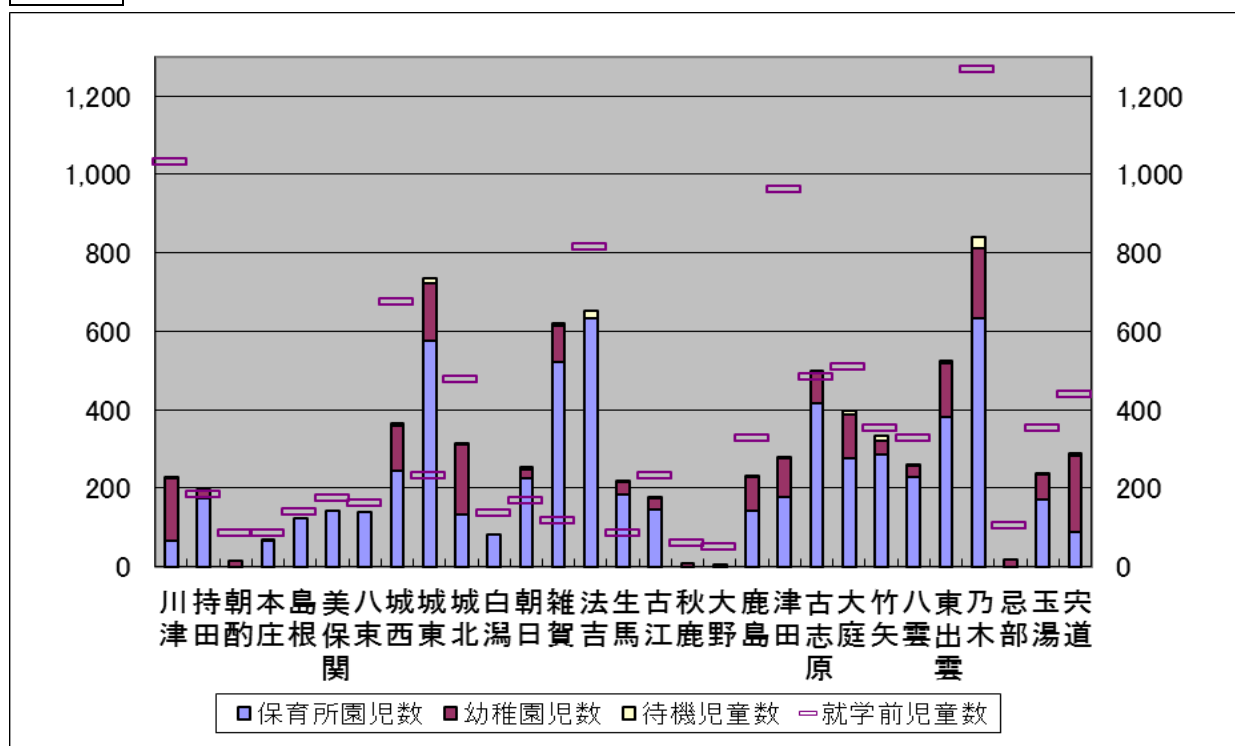
○地区別の幼稚園・保育所(園)園児数と就学前児童数 (平成 23 年 11 月 1 日現在児童数)

地区	保育所	幼稚園	待機児童	就学前	地区	保育所	幼稚園	待機児童	就学前
川津	66	159	3	1,030	古江	146	28	1	229
持田	173	20	3	181	秋鹿		8		58
朝酌		14		82	大野		5		48
本庄	66	4		83	鹿島	141	87	4	326
島根	122			137	津田	176	99	3	961
美保関	142			173	古志原	416	80	3	482
八束	138			160	大庭	276	113	8	506
城西	245	114	6	672	竹矢	285	37	10	352
城東	576	147	12	231	八雲	228	30	3	327
城北	133	179	3	474	東出雲	382	137	5	
白湯	81			135	乃木	634	176	31	1,267
朝日	225	23	6	167	忌部		19		103
雑賀	523	90	6	115	玉湯	172	62	1	352
法吉	632		19	812	宍道	88	194	7	436
生馬	184	32	3	85	合計	6,250	1,857	137	9,984

※児童数は、児童の居住地ではなく、保育所・幼稚園の所在地で集計したもの

※就学前児童数は、平成 23 年 3 月末（東出雲町は、8 月末）現在のもの（年度途中の転出入、出生含まず）

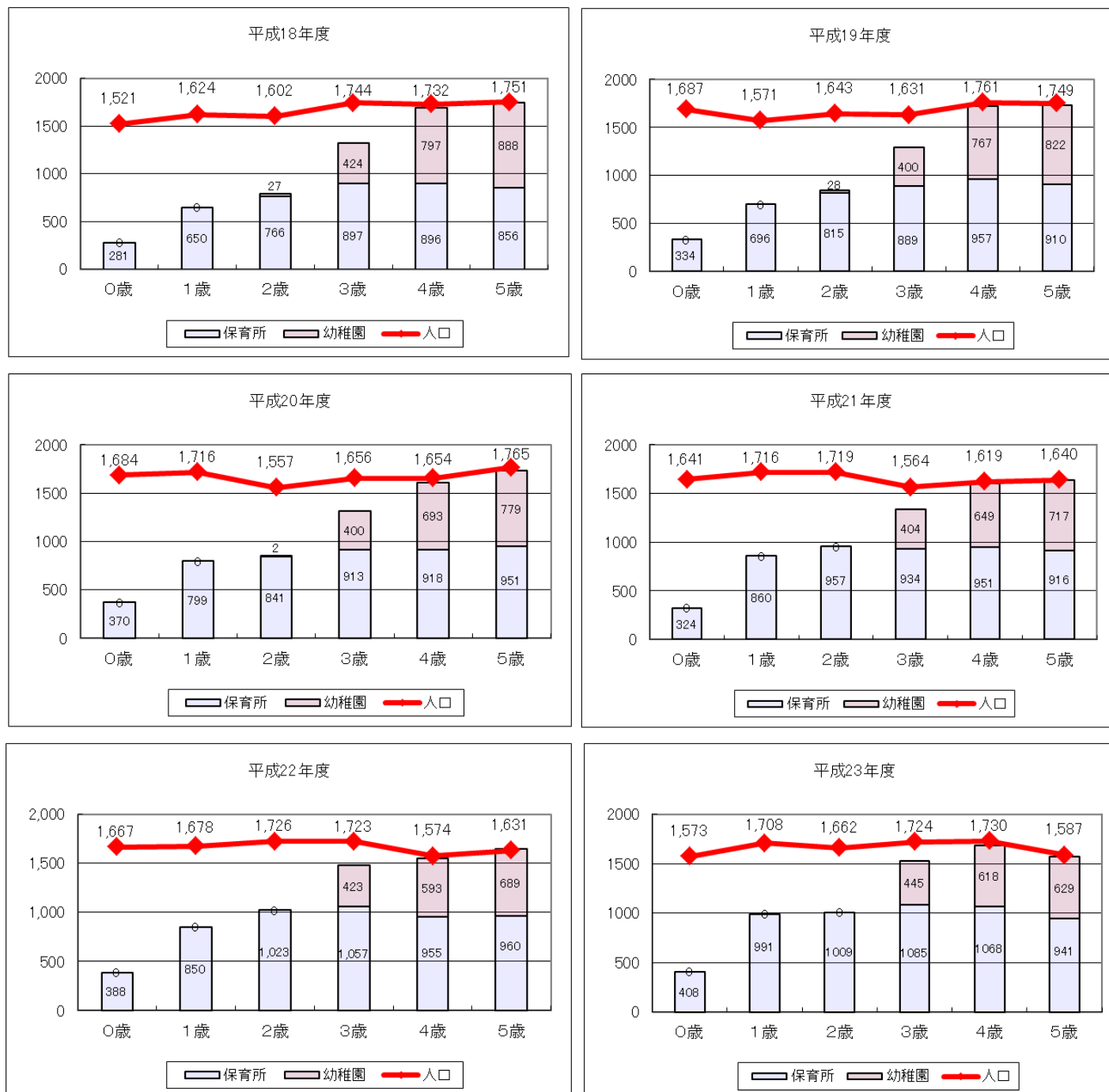
グラフ⑤



⑤年齢別の就園状況

- ・4, 5歳になると、ほぼ全員が幼稚園又は保育所に通園している。
- ・年々、0歳児の保育所児童数が増加傾向にあるとともに、1歳から保育所に入所する児童が多いことがわかる。

グラフ⑥



※幼稚園・保育所の児童数は、各年5月1日現在(学校基本調査の基準日)のもの。年度末に向けて特に0歳児が急増するため、P5グラフ③の入所児童数(各年3月1日現在)とは差異がある。

※人口は、平成23年3月末(東出雲町のみ、平成23年8月末)現在だが、外国人登録者や年度途中の転出入等を含んでいないため誤差がある。

4 幼稚園・保育所(園)の個別課題

(1) 幼稚園

① 入園状況

●年齢別の園児数の推移

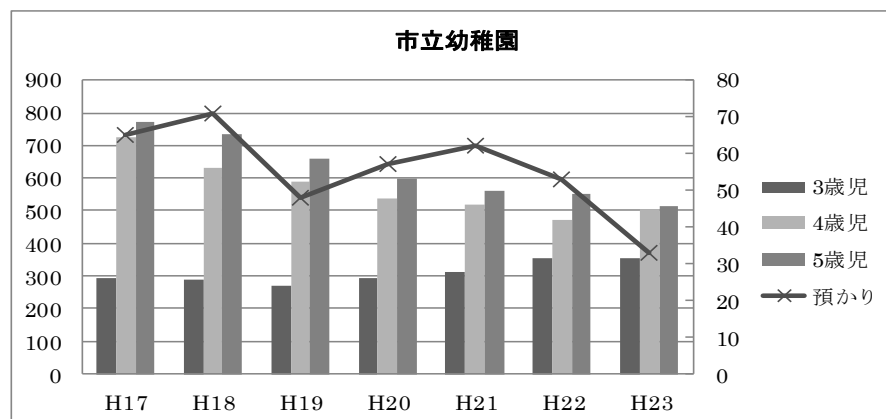
○市立幼稚園

- ・ 4, 5 歳児は、年々減少している。
- ・ 3 歳児は徐々に増加していたが、H22 をピークに減少傾向が見える。
- ・ 預かり保育も、極端な減少傾向にある。

(各年 5 月 1 日現在)

	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
3 歳児	294	287	271	293	311	353	356
4 歳児	725	630	587	537	518	473	503
5 歳児	770	735	658	597	561	551	516
預かり	65	71	48	57	62	53	33

グラフ⑦



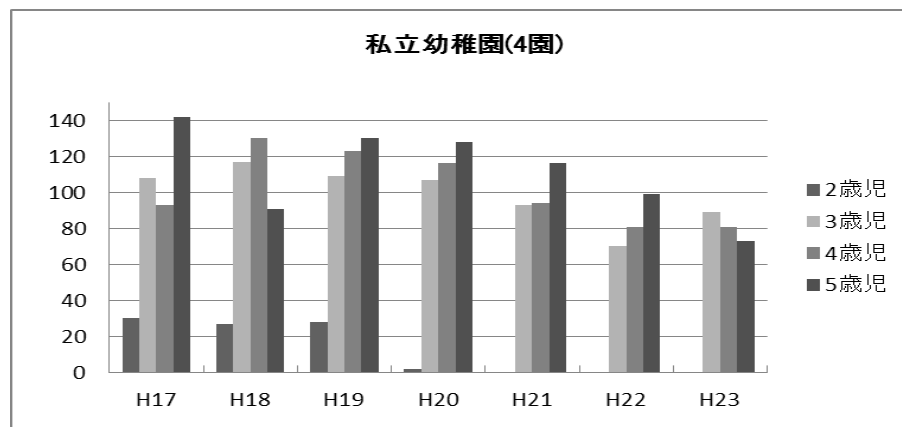
○私立幼稚園

- ・ 全体的に、年々減少傾向にある。

(各年 5 月 1 日現在)

	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
2 歳児	30	27	28	2	0	0	0
3 歳児	108	117	109	107	93	70	89
4 歳児	93	130	123	116	94	81	81
5 歳児	142	91	130	128	116	99	73

グラフ⑧



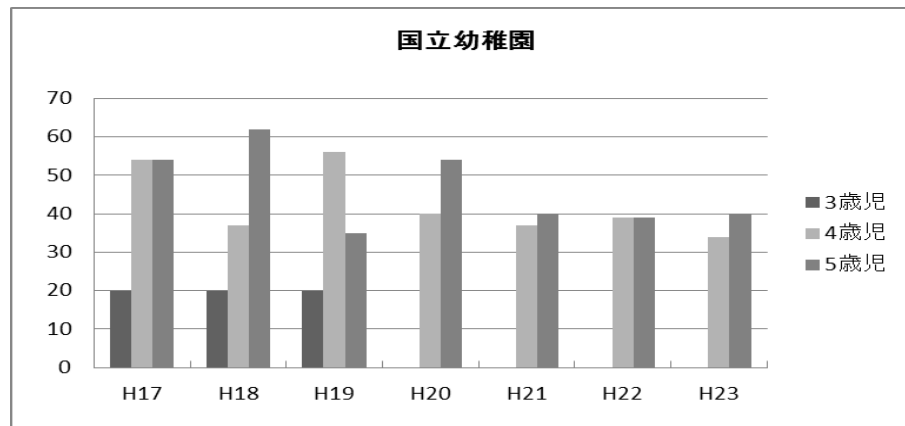
○国立幼稚園

- ・ H20 年度から 3 歳児保育を廃止してから、4,5 歳児は横ばい傾向にある。

(各年 5 月 1 日現在)

	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
3 歳児	20	20	20				
4 歳児	54	37	56	40	37	39	34
5 歳児	54	62	35	54	40	39	40

グラフ⑨



② 公立幼稚園と民間幼稚園との保育料等の格差 (H23 年度)

幼稚園名	入園料	保育料		
		月額		年額
		3 歳児	4.5 歳児	
松江市立幼稚園 (24 園)	4,000			104,400
旧東出雲町立幼稚園 (3 園)	0			80,400
松江市立幼保園 (2 園)	短時間	4,000		104,500
	長時間	4,000	22,600	22,100
島根大学教育学部附属幼稚園	31,300			73,200
育英・育英北幼稚園	60,000	32,410		
松江暁の星幼稚園	40,000	18,000		
松徳幼稚園	30,000	12,000		

③ 課題

幼稚園入園者は年々減少している。旧松江市において平成 4 年の幼稚園園児数 1,807 人 (4, 5 歳) であったものが平成 23 年には 1,404 人 (うち 4, 5 歳児は 889 人) と半数以下となっている。

一方、保育所入所者数は、旧松江市において平成 4 年の入所者数が 2,147 人であったものが、平成 23 年には 4,778 人となり倍以上となっている。

こうした中、平成 23 年度の園児数が 10 人以下の幼稚園が、大野、秋鹿、本庄、大谷と 4 園あり、集団教育確保の面からも、早急な対応が望まれている。

	平成 4 年	平成 8 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 23 年	H12 比 増減率	H4 比 増減率
保育所	— (2,147 人)	— (2,302 人)	3,407 人 (2,718 人)	4,099 人 (3,123 人)	5,502 人 (4,778 人)	+61.4% (+75.8%)	(+122.5%)
幼稚園	— (1,807 人)	— (2,127 人)	2,612 人 (2,718 人)	2,290 人 (1,940 人)	1,500 人 (1,404 人)	-42.5% (-48.3%)	(-22.3%)
その他			5,540 人	3,957 人	3,096 人	-44.1%	
合計			11,559 人	10,346 人	10,034 人	-13.2%	

※ () 内は、平成 17 年以前の旧松江市内の保育所、幼稚園の児童数

○園児数別の市立幼稚園状況（H23 年度）

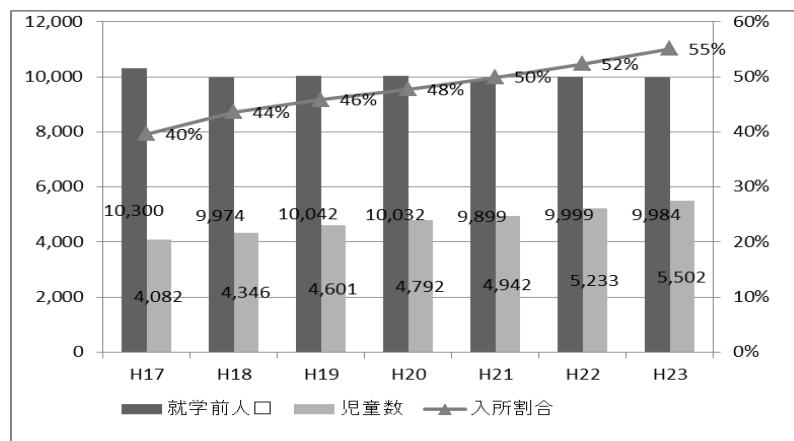
園児数	幼稚園
10 人以下	本庄、大野、秋鹿、大谷
20 人以下	忌部、朝酌、持田、恵曇
30 人以下	中央、古江、佐太、八雲、意東
50 人以下	竹矢、大庭、生馬、講武、揖屋
100 人以下	母衣、雑賀、津田、古志原、川津、玉湯、出雲郷
150 人以下	城北、内中原、
151 人以上	のぎ、しんじ

(2) 保育所

① 入所状況

	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
就学前人口	10,300	9,974	10,042	10,032	9,899	9,999	9,984
児童数	4,082	4,346	4,601	4,792	4,942	5,233	5,502
入所割合	40%	44%	46%	48%	50%	52%	55%

グラフ⑩



② 公立と民間との差

- ・ 通常保育に関しては、官民の格差はない。
- ・ 休日保育、夜間保育を実施している民間保育所の負担が大きい
- ・ 公立保育所は、特別な支援を要する子の最終的な受け皿となっている。

○保育所の特別保育の実施状況（H23）

種類	公立保育所	民間保育所
延長保育	全 18 所	全 47 所
一時保育 特定保育	5 所	36 所
休日保育	1 所	1 所
夜間保育		1 所

○保育所の特別保育の利用実績（H22）

種類	実施施設数		利用児童数	
	公立保育所	民間保育所	公立保育所	民間保育所
延長保育	全 14 所	全 45 所	9,442	62,136
一時保育	4 所	32 所	666	22,174
特定保育	4 所	31 所	525	21,455
休日保育	0 所	2 所	0	809

※一時保育・特定保育の 4 時間未満の利用者は、2 人で 1 人と算定(国基準)

※合併前の揖屋保育園は含んでいない。(休日保育：80 人、一時保育：1,013 人)

【参考】

○病児・病後児保育の利用実績（H22）

市立病院	日赤乳児院	私立保育所(2園)	計
698	798	2,100	3,596

○夜間緊急時一時預かり保育の利用実績（H22）

日赤乳児院
22

③ 課題

- ・ 保育所の待機児童は増加傾向にある。（参照：P5 [グラフ 4](#)）

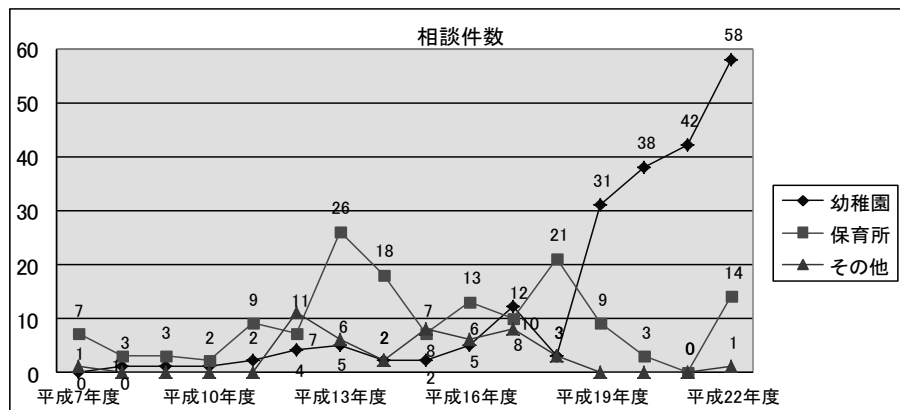
(3) その他子どもや親の状況・全国の状況

①特別な支援を要する子の相談件数

○教育相談件数の推移（述べ件数）

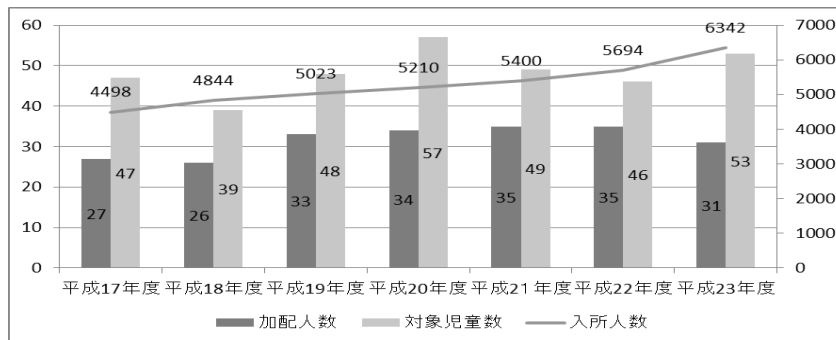
- ・ 保育所、その他(在宅児等)の相談件数は多くはないが、幼稚園児の相談件数は平成 19 年度以降急激に増えている。

グラフ⑪



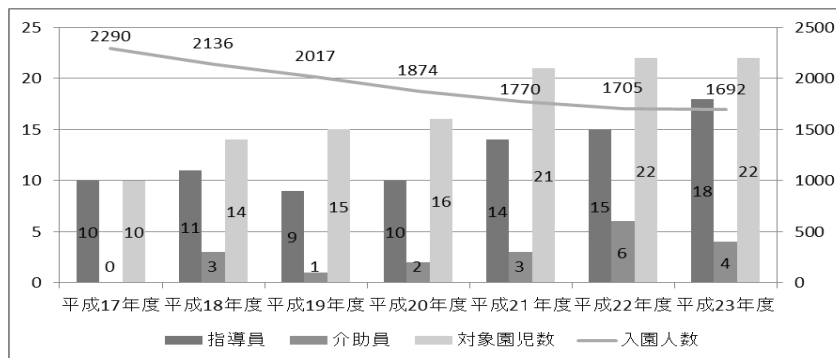
○保育所における障がい児加配保育士人数の推移（児童数：各年 3 月 1 日）

グラフ⑫



○幼稚園における特別支援指導員・介助員配置数の推移(園児数：各年 3 月 1 日)

グラフ⑬



② 共働き率

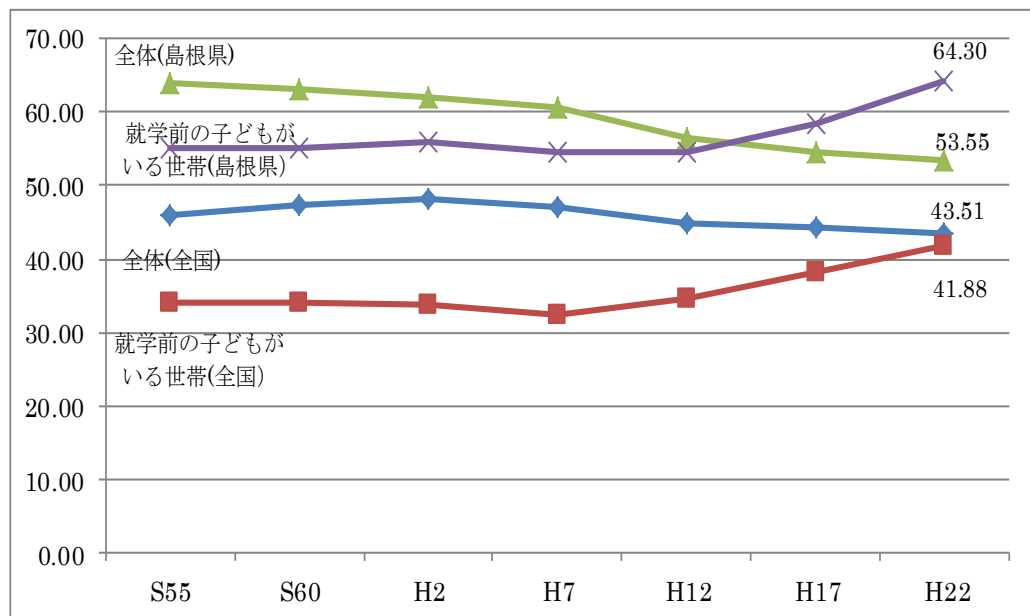
- ・全体の共稼ぎ率は下降気味だが、全国平均に比べると島根県の共稼ぎ率は依然高い。
- ・就学前の子どもがいる世帯の共稼ぎ率は急激な上昇傾向にあり、特に島根県では全体の平均を大きく上回っている。

	全国		島根県	
	全体	就学前の子どもがいる世帯	全体	就学前の子どもがいる世帯
S55	45.83%	33.96%	63.94%	55.17%
S60	47.31%	34.17%	63.10%	54.99%
H2	48.07%	33.85%	61.96%	55.96%
H7	46.97%	32.50%	60.72%	54.64%
H12	44.86%	34.53%	56.46%	54.67%
H17	44.43%	38.22%	54.42%	58.53%
H22	43.51%	41.88%	53.55%	64.30%

※就学前の子どもがいる世帯は、最年少の子どもが6歳以下の世帯

(「国勢調査」より)

グラフ⑭



③ 山陰両県他市の幼稚園設置状況(公立・私立)

(平成23年11月末現在、園数)

	人口	国公立幼稚園	私立幼稚園	認定こども園	計
松江市	207,861	30	4		34
出雲市	174,960	30	2		32
浜田市	61,288	4	2	2	8
益田市	49,520		5		5
大田市	37,441	4			4
安来市	41,322	6			6
江津市	25,363	2			2
雲南市	41,112	15			15
鳥取市	196,776		14		14
米子市	148,389		9		9
倉吉市	50,259		3		3
境港市	35,152	2	2		4

(4)国の動き

- ① 子ども・子育て新システム検討会議の『総合こども園』に関する検討内容
 - ・ 幼保一体化施設「(仮称) 総合こども園」の創設 (H25～)
 - ・ 当面は地域の実情に応じ「総合こども園」、「幼稚園」、「3 歳未満時を対象とした乳児保育園」を併存
 - ・ 総合こども園への財政支援を手厚くすることで、「幼稚園」「乳児保育園」の「総合こども園」への転換を促す。
 - ・ 直接契約（現在は松江市が入所受付をし、保育料の徴収も行っている。今後は、入所申し込み、保育料徴収とも、保育所が直接行う）の方向性が示されている。
- ② 『総合こども園』創設に関する関係法案
 - ・ 平成 24 年 3 月、『総合こども園』創設に関する関係法案提出
 - ・ 国会において『総合こども園』の創設は見直しになり、『認定こども園』を拡充する現行法改正の方向で検討されることとなった。(H24.6)

5 H23 年度取り組み状況

(1)やつか保育園建設、開所準備

二葉保育所と江島保育所を統合し、平成 24 年 4 月開園
定員規模：110 名（6 クラス程度）
職員数：正規保育士 9 人程度、調理員 2 人

(2)(仮称)城西地区幼保園の検討

H22 年度	幼保園化に向けた地元からの陳情
H23 年度	用地の確定
H24 年度	用地取得、設計
H25 年度	設計、施工
H26 年度以降	開園予定

(3)指定管理者制度への移行(保育所)

H24 年度指定管理者制度導入保育所

美保関東保育所

美保関西保育所

- ① 指定管理者制度開始時期
 - ・ 平成 24 年 4 月 1 日
- ② 指定管理者制度導入目的
 - ・ 保護者等の満足度向上を目指し、迅速な対応が可能
 - ・ 民間事業者等の手法を活用することにより、管理に要する経費を縮減することが可能。

※ 支所エリアの公立保育所の状況等

二葉保育所、江島保育所→H24 年度統合予定

八雲保育園→隣接する八雲幼稚園と統合幼保園化を検討中

第2章 松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方計画

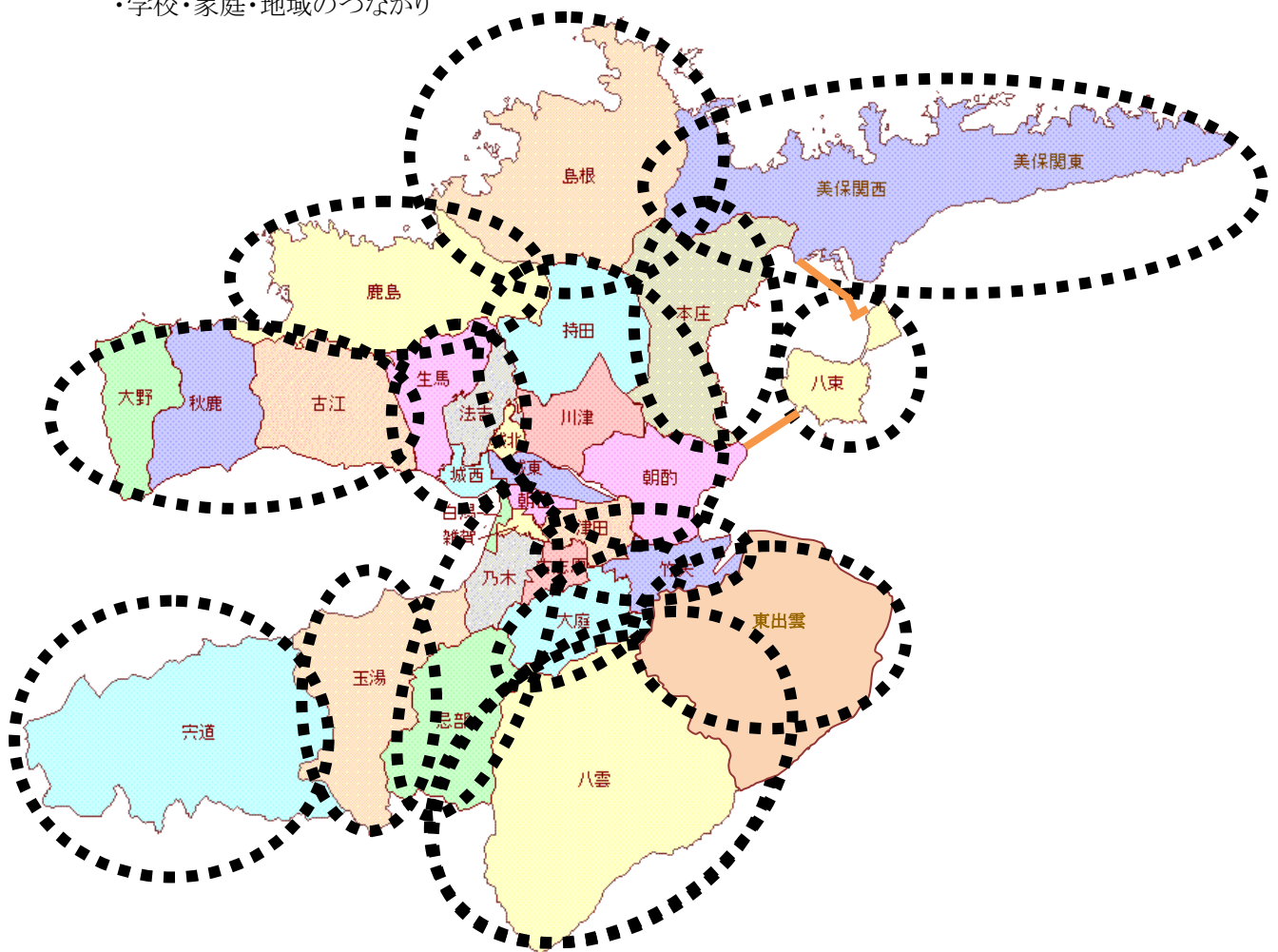
～地域で支え・育てる明るい元気なまちづくり～

計画策定に向けた考え方

子育て期から義務教育期間の子どもたちの育ちを、学校・家庭・地域が協働してしっかり支えていくために、中学校区内の保幼・小中学校等のつながりや、学校・家庭・地域のつながりをより強め、地域の方々に中学校区全体の教育活動に関心を持ってもらい、地域全体で子どもたちを育てていく取組みを進めていく。

【地域全体で子どもたちを育てていく取組み】

- ・保幼・小中学校等のつながり
- ・学校・家庭・地域のつながり



課題

将来を担う子どもたちを育てる取り組みとして、保幼小中一貫教育を目指す中で、幼稚園・保育所がどうあるべきか

という視点で

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方を考える。

基本理念

誰もが安心して子どもを生み育てることのできる子育て環境、すべての子どもが自らの力で心身ともに成長することのできる子育て環境を整備するため、幼稚園・保育所において適切な規模の子ども集団を確保するための規模の適正化等、そのあり方について検討し、就学前教育・保育の質を保証するとともにその向上を図る。

用語の定義

「松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方計画」においては、次のように用語を定義している。

●就学前教育・保育

小学校就学までの子どもに対して行う教育・保育の総称。幼稚園・保育所における教育・保育のほか、家庭や地域社会における教育・保育も包含する。

●幼保一元化推進事業

松江市で独自に行っている幼稚園・保育所が持つ長所を融合・活用した幼保一元化施設の整備をはじめ、保育に欠ける、欠けないにかかわらず、就学前の子どもたちに対し等しく教育・保育を提供する事業のこと。

国においては、「幼保一元化」と「幼保一体化」が厳密に区別されることなく使用され、近年は主に用いられていた「一元化」に代わり「一体化」が使用されているが、松江市として将来の理想として掲げているのは「いくつかに分かれている問題や機構・組織などを統一すること」という意味がある「一元化」であるため、『幼保一元化推進事業』という表現を用いている。

1 子育て・子育てに必要な就学前教育・保育環境の整備

現状と課題

保育所の待機児童は、就学前児童数の減少にもかかわらず年々増加傾向にある。

一方で、幼稚園の定員充足率は、低下傾向が続いており、将来においても、就学前児童数の減少が予測されることから、改善を見込むことが難しい状況にある。

幼稚園においては、適正な集団教育を図ることが困難な小規模園が増える一方、保育所においては、定員の弾力化などの規制緩和に対して、最低基準は遵守しながらも、定員以上の入所児童を受け入れざるを得ない等保育環境の悪化も憂慮されている。

基本目標

就学前教育・保育や子育て支援の機能を総合的に提供し、待機児童の解消や適切な規模の子ども集団を確保することにより、質の高い子育て・子育て環境を整備する。

基本目標の実現に向けた施策展開の考え方

(1) 就学前教育・保育や子育て支援の機能の総合的な提供

①幼保一元化推進事業

幼保園では、3歳以上児に一律に就学前教育を提供するとともに、保育に欠ける、欠けないの要件にかかわらず月単位で長時間保育・短時間保育を選択できるなど、多様化する保護者ニーズにも対応しながら、安定した子育て・子育て環境を提供している。

今後も、地域の需要見込み、小学校の児童数等を踏まえながら幼保一元化推進事業を進めていく。

(2) 待機児童の解消や適切な規模の子ども集団の確保

①小規模幼稚園の解消

公立幼稚園では4・5歳児が16人以下の場合、4・5歳児の混合学級とし、さらに3～5歳児が12人以下の場合、3～5歳児の混合学級としている。したがって、小規模幼稚園においては、同年齢クラスでの適切な人数の集団が確保できず、就学前教育としての経験が限定されている状況である。

集団として十分な教育活動が可能な幼稚園規模にするために、年齢別のクラス編成が困難な園児数がおおよそ20人以下の小規模幼稚園においては、近隣の幼稚園・保育所(同じ中学校区内に限る。)との統廃合を検討する。

その場合において、地域や小学校との連携のあり方や、園児が通園しやすいように通園バスの運行、送迎用駐車場の確保についても併せて検討するものとする。

統廃合については、十分地元や保護者と協議し、保育・教育内容の質の低下や保護者の負担増が発生しないよう調整するものとする。

また、公立・私立、幼稚園・保育所の統廃合については、義務教育への接続を十分に考慮しながら、国、地方を通じた官から民へという大きな流れを踏まえて検討する。必要であれば運営費補助の創設等も検討するものとする。

②待機児童の解消

引き続き、将来の就学前児童数や保育所への入所見込み数を推計しながら、安心して子どもを育てることができる環境を整えるために民間保育所施設整備に対して支援を行う。

幼稚園において、預かり保育により子育て支援を必要とする3歳～5歳の受け入れの拡大を図る。その際、事業の普及促進や保護者が利用しやすい延長時間の設定、対象年齢の拡大(現在は4, 5歳児のみ)、実施箇所数の増設などを検討する。

また、平成24年度から松江市立幼稚園全園で3歳児保育を実施するが、園児の状況を見ながら3歳児の降園時間の延長、預かり保育の開始時期の見直しを行い、3歳児保育の充実を図る。

施策

項目	内容	具体的な施策	主体
幼稚園・保育所における適正規模の確保	幼稚園において、適正な集団教育の場を確保する。	●公立幼稚園の統廃合の検討	松江市
		●公立幼稚園と民間幼稚園・保育所との合併・統合を検討	松江市 民間
	保育所の入所希望児童が年々増加する状況を踏まえ、待機児童の解消を図る。	●幼保一元化推進事業【2に再掲】	松江市 民間
		●公立保育所の施設整備事業 ●私立保育所施設整備事業補助事業	
幼稚園・保育所における教育・保育の充実	保護者の就労の有無にかかわらず幼稚園を利用できる体制を充実する。	●幼稚園の3歳児保育の充実【2に再掲】 ●幼稚園の預かり保育の充実【2に再掲】	松江市

具体的な施策の内容・検討方向

事業	内容	幼稚園・保育所	検討方向
公立幼稚園の統廃合の検討	適正な集団規模が確保できていない幼稚園(園児数がおおよそ20人以下の園)については、統廃合又は幼保園化等を検討する。	大野幼稚園 秋鹿幼稚園	古江幼稚園と統合を検討する。
		持田幼稚園 朝酌幼稚園	川津幼稚園と統合を検討する。

		本庄幼稚園	幼保園化に向け、民間の本庄保育所との合併・統合(民間移譲)を検討する。
		恵曇幼稚園	恵曇保育所と統合し、幼保園としての整備を検討する。
		忌部幼稚園	小学校舎と一体のため、小学校の今後のあり方に併せて検討する。
		大谷幼稚園	小学校舎と一体のため、小学校の今後のあり方に併せて検討する。
幼保一元化推進事業 【2に再掲】	地域の子育て支援の必要性、小学校の児童数等を踏まえながら、引き続き公立幼稚園の幼保園化を検討する。	公立幼稚園	地域の子育て支援の必要性や実情等に応じて、公立幼稚園の幼保園化を検討する。検討の際は、必要に応じて公立幼稚園と民間保育所の統合(民間移譲)も視野に入れて検討する。
	交流を行っている幼稚園と保育所については、幼保園化を検討する。	八雲幼稚園 八雲保育園	園舎の建替えに併せて、幼保園としての整備を検討する。
		出雲郷幼稚園 出雲郷保育園	現状施設のまま幼保園とすることを検討する。
		揖屋幼稚園 揖屋保育園	現状施設のまま幼保園とすることを検討する。
		意東幼稚園 意東保育園	現状施設のまま幼保園とすることを検討する。
公立保育所の施設整備事業	将来の人口・保育所への入所申込数を推計し、今後、必要となる保育所を整備する。	公立保育所	実施中
私立保育所施設整備事業補助事業	待機児童を解消し、松江市で子どもを安心して育てることが出来る環境を整えるため、保育所整備を支援する。	私立保育所	実施中
幼稚園の3歳児保育の充実 【2に再掲】	一部の園で発生している3歳児の待機児童を解消する。	公立幼稚園	3歳児クラスの定員の見直し又は指導員加配により25人を超えた園児の受け入れを検討する。
		公立幼保園	幼保園のぎについては、施設の状況から、25人定員の2クラス以上受け入れができないため、今後の4,5歳児の園児数の変化に応じ、クラス数の増設を検討する。
	降園時間を午後2時にする。	全園	園に慣れる頃に合わせて降園時間を4,5歳児と同じ午後2時に合わせる。
幼稚園の預かり保育の充実 【2に再掲】	3歳児にも一時預かり保育・預かり保育を実施する。		園に慣れる頃に合わせて預かり保育を実施する。

※統廃合や民間移譲については、十分に地元や保護者と協議し、保育・教育内容の質の低下や保護者の負担増が発生しないよう調整するものとする。

2 子どもを安心して生み、育てることができる環境づくり

現状と課題

女性の社会進出、就労形態の変化などに伴い、保育時間の延長や就学前教育・保育の質の充実など、わが子を健やかに育てたいと願う保護者が必要とする公的な支援(以下「保護者ニーズ」という。)が多様化している。

また、核家族化や地域社会における地縁的なつながりの希薄化等により、子育てに悩み、孤立感を募らせ、不安を抱いている保護者や、子育てを幼稚園や保育所、小学校へ任せ切りにする保護者が増えていると言われている。

基本目標

多様化する保護者ニーズや子どもの育ちの現状などに応じた就学前教育・保育の実現を図ることで、将来を担う子どもを、安心して産み、育てるための環境を整備する。

基本目標の実現に向けた施策展開の考え方

(1) 多様化する保護者ニーズに応じた就学前教育・保育の実現

①特別保育の充実

多様な保護者ニーズに応えるため、保育所における特別保育や幼稚園における預かり保育を充実するとともに、特別保育を行う民間保育所に対する支援の充実も含めた環境づくりに努める。

特別保育については、需要と供給のバランスを考慮して、実施箇所の増設や変更等についても検討するとともに、育児不安の大きい家庭への支援の充実、家庭の教育力向上を図る体制整備についても検討する。

なお、民間保育所で実施が困難な特別保育については公立保育所で担う必要があり、公立保育所における特別保育を充実するための人的余力や財源を生み出すため、地域の就学前教育・保育環境及び保護者ニーズを踏まえ、公立幼稚園・保育所と民間幼稚園・保育所の役割分担の見直しを行い、公立保育所への指定管理者制度の導入や民間移譲も検討する。

施策

項目	内容	具体的な施策	主体
保育所での特別保育の充実	多様な保護者ニーズに応えるため、保育所における特別保育の充実、幼稚園における預かり保育など必要な子育てサービスが選択できる環境づくりに努める。	●延長保育 ●一時保育、特定保育 ●夜間保育 ●休日保育 ●病児・病後児保育 ●夜間緊急時一時預かり保育	松江市 民間
幼稚園での預かり時間及び対象の拡大		●幼稚園の3歳児保育の充実【1の再掲】 ●幼稚園の預かり保育の充実【1の再掲】	松江市

育児不安の大きい家庭への支援の充実	育児ストレスや不安を感じる保護者の相談体制の充実を図るとともに家庭支援、仲間づくりなど、安心して子育てのできる環境を整える。	●相談体制の充実 ●乳幼児保育・教育サポート事業 ●子育て支援センターの活用	松江市
	親の就労の有無に関わらず利用できる施設整備をする。	●幼保一元化推進事業【1の再掲】 ●保育所における一時、特定保育【再掲】 ●幼稚園の3歳児保育の充実【再掲】 ●幼稚園の預かり保育の充実【再掲】	松江市 民間
家庭の教育力向上と地域世代間交流の充実	幼稚園や保育所において、子どもや保護者と地域の高齢者などとの世代間交流を通し、育児不安のある子育て世帯への支援を行う。	●子育て家庭を対象とした講演会の開催 ●子育て家庭と地域の高齢者世代との交流活動 ●子育て家庭と若者世代との交流活動 ●幼稚園・保育所の地域交流活動	松江市 民間

具体的な施策の内容・検討方向

事業	内容	幼稚園・保育所	検討方向
延長保育	通常の保育時間を超えて保育する。	全保育所	2時間以上の長時間延長や土曜延長の需要が高まっていることに伴い、長時間延長を実施する施設の増設を検討する。
一時保育	保育の実施の対象とならない児童の保護者の心理的・肉体的負担を軽減するため、緊急・一時的に保育する。	鹿島町 八束町	未実施地域の保育所での実施を検討する。
特定保育	保育の実施の対象とならない児童の保護者が、就労等により保育することができない場合に保育する。		
夜間保育	夜間、保護者が仕事などの事情により子どもの保育ができない場合、保育をする。	全保育所	みつき田和山夜間保育所で実施中の夜間保育について、採算性の問題等から実施が困難となったときに、公立保育所での実施等も検討し、松江市における夜間保育サービス提供を維持する。
休日保育	日曜日、祝日において保育に欠ける場合に、保育する。		現在、みつき保育園、揖屋保育園で実施しているが、利用者の少ない揖屋保育園については、需要の多い地区にある保育所への移設を検討する。
病児・病後児保育	病気・病気回復期の児童を、家庭で育児が困難な場合に保育する。	各施設	病児が安心して保護者の看護を受けられるより良い子育て環境づくりも促進しながら、保護者ニーズに応えられる体制の充実を検討する。

夜間緊急時一時預かり保育	ひとり親世帯等において、夜間緊急で勤務をしなければならない場合などに、保育する。	松江赤十字乳児院	実施中
相談体制の充実、乳幼児保育・教育サポート事業、子育て支援センターの活用	子育てに関する相談、親子の交流の場と遊びの場の提供、子育てサークルやボランティア等の支援団体の育成・支援、子育てに関する様々な情報の提供を行う。	子育て支援センター	実施中
幼保一元化推進事業【1の再掲】	適正な集団規模が確保できていない幼稚園（園児数がおおよそ 20 人以下の園）について、幼保園化を検討する。	本庄幼稚園 本庄保育所	幼保園化に向け、公立の本庄幼稚園と民間の本庄保育所との合併、統合(民間移譲)を検討する。
		恵曇幼稚園 恵曇保育所	恵曇幼稚園と恵曇保育所を統合し、幼保園としての整備を検討する。
	交流を行っている幼稚園と保育所については、幼保園化を検討する。	八雲幼稚園 八雲保育園	園舎の建替えに併せて、幼保園としての整備を検討する。
		出雲郷幼稚園 出雲郷保育園	現状施設のまま幼保園とすることを検討する。
		揖屋幼稚園 揖屋保育園	現状施設のまま幼保園とすることを検討する。
		意東幼稚園 意東保育園	現状施設のまま幼保園とすることを検討する。
子育て家庭を対象とした講演会の開催	子育て家庭を対象に、子どもの生活リズムづくりなど子育て支援に関する講演会等を開催する。	幼稚園 保育所	実施中
子育て家庭と地域の高齢者世代との交流活動	子育て家庭と地域の高齢者世代との交流活動を実施する。	幼稚園 保育所	実施中
子育て家庭と若者世代との交流活動	子どもと小中高大学生など若者世代との交流活動を実施する。	幼稚園 保育所	実施中
幼稚園・保育所の地域交流活動事業	地域の子育て家庭を対象とした交流活動、子育て支援活動を実施する。	幼稚園 保育所	実施中
幼稚園の 3 歳児保育の充実【1の再掲】	一部の園で発生している 3 歳児の待機児童を解消する。	公立幼稚園	3 歳児クラスの定員の見直し又は指導員加配により 25 人を超えた園児の受け入れを検討する。

		公立幼保園	幼保園のぎについては、施設 の状況から、25 人定員の 2 クラ ス以上受け入れができないた め、今後の 4, 5 歳児の園児数 の変化に応じ、クラス数の増設 を検討する。
	降園時間を午後 2 時にする。	全園	園に慣れる頃に合わせて降園 時間を 4, 5 歳児と同じ午後 2 時に合わせる。
幼稚園の預かり保育の充実 【1 の再掲】	3 歳児にも一時預かり保育・預 かり保育を実施する。		園に慣れる頃に合わせて預かり 保育を実施する。
公立保育所への 指定管理者 制度導入や民間移譲の検討	官民の役割分担を見直し、 公共サービスの効率化や質 の向上を図るため、公立保 育所への指定管理者制度導 入や民間移譲を検討する。	公立保育所	引き続き公立保育所に指定 管理者制度の導入を行うと ともに、民間移譲も検討す る。

※指定管理者や民間移譲については、十分に地元や保護者と協議し、保育・教育内容の質の低下や保護者の負担増が発生しないよう調整するものとする。

②私学教育の充実支援

多様な教育機会を求める保護者ニーズに応えるとともに、また特色ある教育を行う私立幼稚園を選択する保護者の負担を軽減するため、国の補助を受けて幼稚園の入園料、保育料の一部の助成を引き続き推進する。

施策

項目	内容	具体的な施策	主体
私学就学前教育充実振興の促進	私立幼稚園を選択する保護者への支援を行うことで、特色ある私学教育の充実振興に努める。	●私立幼稚園就園奨励事業 ●私立幼稚園振興事業 ●私立幼稚園保育料軽減補助金	松江市

具体的な施策の内容・検討方向

事業	内容	幼稚園・保育所	検討方向
私立幼稚園就園奨励事業	私立幼稚園に在園する園児の保護者に対して、経済的負担の軽減と公立幼稚園の保護者負担との格差是正のため支援を行う。	私立幼稚園	実施中
私立幼稚園振興事業			
私立幼稚園保育料軽減補助金			

(2) 多様化する子どもの育ちの現状などに応じた就学前教育・保育の実現

①特別支援教育の充実

特別な支援を要する子どもに早期に気づき、適切な対応を行う拠点施設として、公立幼稚園・幼稚園において設置する特別支援幼児教室をより充実させるとともに、公立・私立を問わず幼稚園・保育所へ障がい児加配保育士の配置を引き続き実施する。

施策

項目	内容	具体的な施策	主体
幼稚園・保育所における特別な支援を要する子どもへの対応強化	多様な保護者ニーズに応えるため、保育所における特別保育の充実、幼稚園における預かり保育など必要な子育てサービスが選択できる環境づくりに努める。	●幼稚園・保育所における特別支援体制の充実 ●保育所における特別支援の拠点保育所の整備 ●特別支援幼児教室の充実	松江市

具体的な施策の内容・検討方向

事業	内容	幼稚園・保育所	検討方向
幼稚園・保育所における特別支援体制の充実	公立・私立、幼稚園・保育所における特別な支援を要する子どもへの対応を充実する。	幼稚園 保育所	支援制度・加配制度の充実を検討する。
特別支援幼児教室の充実	特別な支援を要する子どもへの対応強化を図る。	古志原幼稚園	現在、中央幼稚園・母衣幼稚園・城北幼稚園・幼保園のぎ・しんじ幼保園・揖屋幼稚園に特別支援幼児教室を設置しているが、小学校・中学校の特別支援通級学級との連携を考慮して、古志原幼稚園にも特別支援幼児教室の設置を検討する。
特別支援の拠点保育所の整備	特別な支援を要する子どもの最終的な受け皿(拠点園)となる公立保育所を整備する。	(仮称)城西幼保園	3歳児未満も対象とする特別支援幼児教室の設置を検討する。

3 就学前教育・保育の質の保証、向上の確保

現状と課題

子育て支援を拡大する一方、保育者(幼稚園教諭・保育士)の育成が課題となっている。
たとえば、運営を効率化する中で、パート保育者の導入や臨時保育者が増加している。そのため、安定した雇用と賃金を求めて短期間で転職する若い保育者が増えている。

基本目標

将来を担う子どもたちの健全なる育成と、子どもの心が豊かに育つ社会の実現のために、就学前教育・保育の質を保証するとともに、その向上をめざす。

施策

項目	内容	具体的な施策	主体
幼稚園教諭・保育士の研修	すべての施設において等しく子どもの健やかな成長を促すことができるような質の高い教育、保育を提供する。	●幼稚園教諭・保育士を対象とした研修の実施 ●幼稚園教諭・保育士の人事交流を促進し、相互の連携と質の向上 ●研修に出席する保育士のサポート体制の整備	島根県 松江市 民間
指導体制の充実	すべての施設において等しく子どもの健やかな成長を促すことができるような質の高い教育、保育が確保できるよう、巡回指導の実施、相談拠点の整備を検討する。	●公立・私立、幼稚園・保育所の巡回指導体制 ●子育ての総合的相談体制の整備 ●アドバイザー派遣	松江市
人材育成及び確保	恒常的な保育士不足に対応できるよう人材育成及び人材確保に努める。	●保育士登録制度(人材バンク)の検討 ●保育士養成への支援 ●地元雇用機会の拡大	松江市

具体的な施策の内容・検討方向

事業	内容・検討方向
幼稚園教諭・保育士を対象とした研修の実施	島根県、松江市、民間などがそれぞれ開催している研修会の連携・調整を行い、効果のある研修会を開催する。
幼稚園教諭・保育士の人事交流を促進し、相互の連携と質の向上	公立・私立・幼稚園教諭・保育士の相互人事交流を通し、実践経験を積む機会を提供する。
研修に出席する保育士のサポート体制の整備	研修会に出席する際に保育所に代替保育士を派遣する等サポート体制をつくる。
公立・私立、幼稚園・保育所の巡回指導体制	松江市のすべての子どもに同等な就学前教育・保育の質の保証、向上を図ることができるよう、公立・私立、幼稚園・保育所すべての施設を巡回し、指導する松江市ならではの子育て支援体制をつくる。

子育ての総合的相談体制の整備	子育てに関わるすべての人(子育て家庭、幼稚園教諭、保育士など)を対象とした子育ての相談拠点を整備する。
アドバイザー派遣	公立・私立、幼稚園・保育所すべての施設に、必要に応じて派遣できるアドバイザー、サポート職員の育成をする。
保育士登録制度(人材バンク)の検討	緊急・一時的に保育士が不足する場合にも、保育の質を保證できるよう派遣保育士の人材バンクの設置を検討する。
保育士養成への支援	保育士の養成、人材育成に対して支援を行う。
地元雇用機会の拡大	幼稚園・保育所での雇用を希望する幼稚園教諭、保育士、調理師などの地元雇用機会を拡大するために支援を行う。

4 将来を担う子どもたちの健全な発育・発達の促進

現状と課題

保育所に入所する児童の増加に伴い、一つの小学校に数多くの幼稚園・保育所から子どもが集まり、小学校と幼稚園・保育所の連携が図りにくい状況である。

一方、学習障害(LD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)など特別な支援を要する子どもたちの早期の気づきと対応に努め、適切な支援ができるような体制づくりが幼稚園や保育所を含むすべての就学前教育・保育施設において求められている。

基本目標

子どもの発達や学びの連続性を確保し、幼稚園・保育所から小学校、中学校への接続を見通した就学前教育・保育の質の向上を図ることで、将来を担う子どもたちの健全な育成・発達を促進する。

基本目標の実現に向けた施策展開の考え方

(1) 将来を担う子どもたちの健全な育成・発達の促進

①小学校と幼稚園・保育所の連携

旧松江市、鹿島町、玉湯町、宍道町、八雲村、東出雲町では、ほぼ小学校区ごとに公立幼稚園を整備し、地域や小学校と連携した教育を行ってきた。

校区がある小学校とは異なり、幼稚園・保育所は、自宅の近くや、保護者の勤務先の近く、祖父母の家の近くなど保護者のさまざまな都合により選択されるため、以前のような公立幼稚園と小学校の連携だけでは、保幼小連携を図ることは難しい状況である。

多くの幼稚園や保育所から集まる子どもたちを小学校でどう受け止めていくか、小学校を拠点に連絡(連携)協議会の設置や、子どもと教師・保育士の相互体験の場を創出するとともに、幼稚園、保育所の保護者と小学校の保護者などその地域に住む幼い子どもを持つ保護者が顔を合わせる機会の創出等の仕組みづくりも含めた連携強化を検討していく。

また、幼稚園、保育所から小学校への切れ目ない連携を図り、子どもの情報を共有していくために、平成21年度に改定された「幼稚園幼児指導要録」と制度化された「保育所児童保育要録」に小学校と幼稚園・保育所相互に必要な情報が盛り込み、有効に活用できるよう検討する。

施策

項目	内容	具体的な施策	主体
小学校と幼稚園・保育所の連携強化	複数の幼稚園や保育所と複数の小学校が連携を図る体制を整える。	●幼稚園・保育所と小学校による連絡(連携)協議会の設置 ●幼稚園・保育所と小学校の合同研修の開催、職場の相互体験 ●幼稚園幼児指導要録、保育所児童保育要録の有効活用	松江市
	小学校教育への円滑な移行に向けた教育及び保育の内容の工夫を図り、連携を通じた質の向上を図る。	●幼稚園教諭・保育士の資質の向上 ●子ども同士の交流促進 ●保育課程又は教育課程の編成や指導方法の工夫	松江市

具体的な施策の内容・検討方向

事業	内容
幼稚園・保育所と小学校による連絡(連携)協議会の設置	公立・私立や幼稚園・保育所を問わず、幼児期の教育を担う施設と小学校が連携しやすいように環境を整備する。
幼稚園・保育所と小学校の合同研修の開催、職場の相互体験	幼稚園や保育所と小学校との間で子どもの実態や指導方法等について理解を深め、広い視野に立って幼児期に対する一貫性のある教育を相互に協力し連携を図る。
幼稚園幼児指導要録、保育所児童保育要録の有効活用	小学校へと送付される幼稚園幼児指導要録、保育所児童保育要録を有効に活用し、連携につなげる。
幼稚園教諭・保育士の資質の向上	子どもの健やかな成長を促すことができるような質の高い教育、保育をどこの園でも同じように提供できるよう、研修・相談体制をつくる。
子ども同士の交流促進	子どもが小学校生活に親しみ、期待を寄せ、自分の近い将来を見通すことができるようになり、生活の変化に適応しやすくなるよう交流促進を図る。
保育課程又は教育課程の編成や指導方法の工夫	幼児期の教育と小学校教育との段差を小さくすることにより、子どもの生活の変化へのとまどいが減少するよう工夫を図る。

②特別な支援を要する子どもの早期の気づきと対応

特別な支援を要する子どもに早期に気づき、適切な対応を行うために、平成23年度から5歳児健診を開始した。これに伴い、これまで以上に早期支援体制の充実が必要となっている。

松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」と連携し、公立幼稚園において特別支援幼児教室の増設等支援体制の充実を検討していく。

施策

項目	内容	具体的な施策	主体
特別な支援を要する子どもの早期の気づきと早期対応	特別な支援を要する子どもたちの早期の気づきと適切な支援体制を整える。	●発達・教育相談支援センター「エスコ」との連携支援 ●5歳児健診	松江市

具体的な施策の内容・検討方向

事業	内容
発達・教育相談支援センター「エスコ」との連携支援	発達・教育相談支援センター「エスコ」を拠点とし、保健、福祉、医療等との連携による乳幼児期から青年期までの一貫した支援を行う。
5歳児健診	小学校就学前の発達(特に集団場面への適応)の確認と就学にむけての相談の場を提供する。

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方計画

資 料 編

幼稚園・保育所(園)一覧表

ブロック	地区	保育所名	保育所 定員数	保育所 入所数	一時 特定	休日	夜間	幼稚園名	幼稚園 定員数	幼稚園 入園数	長時 間	預か り
松東	川津	たまち育英北保育園	60	66	○			川津幼稚園	130	90		○
	持田	しらゆり第2保育園	150	173	○			育英北幼稚園	210	69		
	朝酌							持田幼稚園	70	20		
	本庄	本庄保育所	60	66	○			朝酌幼稚園	70	14		○
	島根	マリン保育所	80	69	○			本庄幼稚園	35	4		
	野波	野波保育所	60	53								
	美保関	美保関西保育所	80	63	○							
	美保関	美保関東保育所	80	79	○							
中央	八束	二葉保育所	150	115								
		江島保育所	30	23								
	城西	末次保育所	120	136				内中原幼稚園	165	114		
		しらとり保育所	90	109	○							
	城東	城東保育所	120	134				母衣幼稚園	95	68		
		たまち保育園	180	174	○			松江暁の星幼稚園	120	79		
		しらゆり千鳥保育園	150	171	○							
		たまち乳児保育園	90	97								
	城北	嵩見保育所	110	133				島根大学教育学部附属幼稚園	80	75		
								城北幼稚園	165	104		○
	白湯	白湯保育所	70	81								
	朝日	松江ナサレン保育園	60	65	○			中央幼稚園	70	23		
		松江保育所	90	106	○							
		松原保育園	45	54	○							
松北	雑賀	松尾保育所	45	53	○			雑賀幼稚園	95	56		○
		みつきき保育園	200	195	○	○		松徳幼稚園	120	34		
		みどり保育所	100	126	○							
		みつき乳児保育園	150	149								
	法吉	比津ヶ丘保育園	70	85	○							
		法吉保育所	180	185								
		みずうみ保育園	60	73	○							
		みずうみ第2保育園	60	73	○							
		比津ヶ丘保育園融合センター	45	52	○							
		比津ヶ丘保育園わらべのそ	60	68	○							
		みのり黒田保育園	90	96	○							
	生馬	みのり保育園	60	76	○			生馬幼稚園	95	32		
		浜佐田保育園	60	72	○							
		みのり乳児保育園	30	37								
松南	古江	ふたば保育所	60	76	○			古江幼稚園	95	28		
		ふたば第二保育所	60	70	○							
	秋鹿							秋鹿幼稚園	70	8		○
	大野							大野幼稚園	70	5		
		御津保育所	60	59				講武幼稚園	95	49		○
	鹿島	恵曇保育所	100	82				恵曇幼稚園	95	11		○
								佐太幼稚園	95	27		○
	津田	愛恵保育園	90	105	○			津田幼稚園	165	99		
		虹の子保育園	60	71	○							
	古志原	古志原保育所	130	141				古志原幼稚園	165	80		○
		なかよし保育園	90	103								
		こばと保育園	100	124	○							
		運動公園前保育所チャイルド	45	48								
	大庭	しらゆり保育園	120	132	○			大庭幼稚園	95	48		
湖南		育英乳児保育園	60	58				育英幼稚園	180	65		
		なの花保育園	90	86	○							
	竹矢	わかたけ保育園	90	109	○			竹矢幼稚園	95	37		
		しらゆり第3保育園	150	176	○							
		八雲保育園	80	92				八雲幼稚園	95	30		
	八雲	たけかや保育園	80	86	○							
		ひよし保育園	45	50	○							
	東出雲	揖屋保育園	180	167	○	○		揖屋幼稚園	130	48		
		意東保育園	80	79				意東幼稚園	65	28		
		出雲郷保育園	110	136				出雲郷幼稚園	130	61		
	乃木	幼保園のぎ	30	30				幼保園のぎ	210	176	○	
		乃木保育所	90	107	○							
		袖師保育所	110	137	○							
		つわぶき保育園	60	68	○							
湖南		みつき田和山保育園	90	112	○							
		みつき田和山夜間保育園	45	52			○					
		みつき田和山第2保育園	120	128								
	忌部							忌部幼稚園	70	19		
	玉湯	湯町保育園	100	111				玉湯幼稚園	95	54		
		玉湯さくら保育園	110	61	○			大谷幼稚園	20	8		
	宍道	しんじ幼保園	70	88	○			しんじ幼保園	270	194	○	

平成23年度 松江市立幼稚園(幼保園) 園児数 (平成23年12月1日現在)

	園 名	3歳児			4歳児			5歳児			合計	預かり	学級数
		新入	在園児	計	新入	在園児	計	新入	在園児	計			
1	母衣幼稚園	25			10	16	26	3	14	17	68	*	3
2	城北幼稚園	25			14	23	37	8	34	42	104	10	5
3	内中原幼稚園	25			24	21	45	5	40	45	115	*	5
4	中央幼稚園				12	0	12	1	9	10	22	*	2
5	雑賀幼稚園	11			9	18	27	3	15	18	56	10	3
6	津田幼稚園	25			14	18	32	4	39	43	100	*	4
7	古志原幼稚園	25			6	22	28	6	21	27	80	7	3
8	川津幼稚園	25			11	20	31	5	28	33	89	8	3
9	朝酌幼稚園	8			0	6	6	0	0	0	14	1	1
10	竹矢幼稚園	10			6	7	13	0	14	14	37	*	3
11	忌部幼稚園	3			2	12	14	0	2	2	19	*	2
12	大庭幼稚園	11			2	18	20	3	14	17	48	*	3
13	生馬幼稚園	9			1	9	10	1	12	13	32	*	3
14	持田幼稚園	2			1	8	9	3	7	10	21	*	2
15	古江幼稚園	9			2	7	9	0	10	10	28	*	3
16	本庄幼稚園	1			1	2	3	0	0	0	4	*	1
17	大野幼稚園	2			0	1	1	0	2	2	5	*	1
18	秋鹿幼稚園	5			0	1	1	0	2	2	8	0	1
19	恵曇幼稚園	3			0	2	2	0	6	6	11	2	2
20	佐太幼稚園	7			2	10	12	0	8	8	27	5	3
21	講武幼稚園	15			3	12	15	1	19	20	50	10	3
22	八雲幼稚園	7			0	11	11	1	11	12	30	*	3
23	玉湯幼稚園	23			1	15	16	1	15	16	55	*	3
24	大谷幼稚園	3			1	1	2	0	3	3	8	*	1
25	意東幼稚園	9			2	6	8	0	11	11	28	*	2
26	揖屋幼稚園	13			5	15	20	2	13	15	48	*	3
27	出雲郷幼稚園	13			5	22	27	6	15	21	61	*	3
	合 計	314			134	303	437	53	364	417	1168	53	71

		3歳児			4歳児			5歳児			合計	学級数
		新入	在園児	計	新入	在園児	計	新入	在園児	計		
28	幼保園のぎ(短)	17		17	37	10	47	3	44	47	111	
	(長)	1	12	13	5	17	22	2	28	30	65	
	合 計	18	12	30	42	27	69	5	72	77	176	7
29	しんじ幼保園(短)	23		23	0	23	23	2	34	36	82	
	(長)	18	21	39	2	30	32	4	37	41	112	
	合 計	41	21	62	2	53	55	6	71	77	194	8

総計	373	33	406	178	383	561	64	507	571	1538	86
----	-----	----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	------	----

定員いっぱいの学級

混合学級

年 齢 別 入 所 児 童 数

平成23年12月1日現在

保育所名	定 員	入 所 児 童 数							計
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上		
城 東 保 育 所	120	15	23	21	25	22	29	135	
末 次 保 育 所	120	12	23	23	23	26	29	136	
白 湯 保 育 所	70	5	14	16	16	18	13	82	
幼 保 園 の ぎ	30	6	10	14				30	
御 津 保 育 所	60	9	11	12	13	10	4	59	
恵 曇 保 育 所	100	6	13	19	14	16	16	84	
マ リ ン 保 育 所	80	9	13	9	13	11	15	70	
野 波 保 育 所	60	5	10	6	14	7	11	53	
美 保 関 西 保 育 所	80	2	9	9	16	18	9	63	
美 保 関 東 保 育 所	80	7	14	10	10	22	17	80	
八 雲 保 育 園	80	10	16	13	22	15	16	92	
二 葉 保 育 所	150	3	24	11	22	30	25	115	
江 島 保 育 所	30	3	4	3	6	4	3	23	
し ん じ 幼 保 園	70	19	32	37				88	
揖 屋 保 育 園	180	18	36	23	28	30	32	167	
意 東 保 育 園	80	3	12	8	20	14	22	79	
出 雲 郷 保 育 園	110	15	16	23	27	24	32	137	
公 立 計(17箇所)	1,500	147	280	257	269	267	273	1,493	
古 志 原 保 育 所	130	16	20	24	28	28	25	141	
松 尾 保 育 所	45	7	14	9	9	9	5	53	
本 庄 保 育 所	60	4	12	12	11	10	17	66	
松 江 ナ サ レ ン 保 育 園	60	3	12	14	12	14	10	65	
し ら と り 保 育 所	90	11	18	21	20	21	19	110	
わ か た け 保 育 園	90	14	16	18	21	21	19	109	
な か よ し 保 育 園	90	19	17	20	15	17	17	105	
比 津 ケ 丘 保 育 園	70	10	13	13	17	17	16	86	
こ ば と 保 育 園	100	16	18	27	16	26	22	125	
嵩 見 保 育 所	110	22	23	18	26	27	20	136	
松 江 保 育 所	90	12	18	17	20	20	19	106	
乃 木 保 育 所	90	14	17	19	19	17	23	109	
愛 恵 保 育 園	90	13	15	18	20	22	20	108	
袖 師 保 育 所	110	20	23	24	23	21	28	139	
しらゆり第3保 育 園	150	20	29	26	31	34	36	176	
み つ き 保 育 園	200				68	68	60	196	
み ど り 保 育 所	100	16	19	21	24	23	23	126	
しらゆり第2保 育 園	150	21	22	32	35	32	31	173	
しらゆり保 育 園	120	19	23	21	29	24	21	137	
た ま ち 保 育 園	180				64	61	49	174	
た ま ち 育 英 北 保 育 園	60	22	25	22				69	
法 吉 保 育 所	180	23	34	34	35	31	29	186	
しらゆり千鳥保 育 園	150	18	30	29	34	35	26	172	
虹 の 子 保 育 園	60	8	11	12	13	14	13	71	
ふ た ば 保 育 所	60	11	8	14	14	14	16	77	
み ず う み 保 育 園	60	8	12	14	13	15	11	73	
み ず う み 第 2 保 育 園	60	7	12	14	13	14	13	73	
み の り 保 育 園	60			21	20	20	15	76	
つ わ ぶ き 保 育 園	60	7	12	12	12	14	12	69	
た け か や 保 育 園	80	8	17	11	15	20	16	87	
ひ よ し 保 育 園	45	7	9	7	15	8	4	50	
みつき田和山保 育 園	90	15	15	20	20	20	23	113	
みつき田和山夜間保 育 園	45	8	11	10	9	8	7	53	
比津ヶ丘保 育 園 融 合 セ ン	45	5	7	8	12	9	13	54	
運動公園前保 育 所 チャイル	45	7	7	9	8	11	7	49	
湯 町 保 育 園	100	17	14	19	20	25	20	115	
浜 佐 田 保 育 園	60	9	9	13	17	19	6	73	
松 原 保 育 園	45	5	9	6	11	10	14	55	
み の り 乳 児 保 育 園	30	16	21					37	
みつき乳児保 育 園	150	42	51	57				150	
育 英 乳 児 保 育 園	60	24	20	18				62	
比津ヶ丘保 育 園 わらべのそ	60	9	17	10	14	16	2	68	
た ま ち 乳 児 保 育 園	90	32	33	32				97	
ふ た ば 第 二 保 育 所	60	10	19	17	12	9	3	70	
みつき田和山第2保 育 園	120	16	24	24	23	24	17	128	
み の り 黒 田 保 育 園	90	20	20	20	21	8	7	96	
な の 花 保 育 園	90	17	18	18	18	9	7	87	
玉 湯 さ く ら 保 育 園	110	14	15	16	13	2	2	62	
私 立 計(48箇所)	4,290	642	809	841	890	867	763	4,812	
管 内 計(65箇所)	5,790	789	1,089	1,098	1,159	1,134	1,036	6,305	

保育所待機児童数

平成23年 **12** 月1日現在

待機児童国の定義に沿って算出した件数
(公表している待機児童数)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
全体	93	37	26	6	0	0	162
1 橋北	29	6	9	6	0	0	50
2 橋南	47	22	12	0	0	0	81
3 八雲	2	1	0	0	0	0	3
4 玉湯	0	0	2	0	0	0	2
5 穴道	6	3	1	0	0	0	10
6 鹿島	3	0	1	0	0	0	4
7 島根	0	0	0	0	0	0	0
8 美保関	0	0	0	0	0	0	0
9 八束	1	0	0	0	0	0	1
10 東出雲	5	5	1	0	0	0	11

申込全件数(転園、管外は除く)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
全体	98	37	26	15	7	2	185
1 橋北	29	6	9	6	1	1	52
2 橋南	47	22	12	7	5	0	93
3 八雲	2	1	0	0	0	0	3
4 玉湯	3	0	2	1	0	0	6
5 穴道	6	3	1	0	0	0	10
6 鹿島	3	0	1	0	1	0	5
7 島根	1	0	0	0	0	0	1
8 美保関	1	0	0	0	0	1	2
9 八束	1	0	0	0	0	0	1
10 東出雲	5	5	1	1	0	0	12

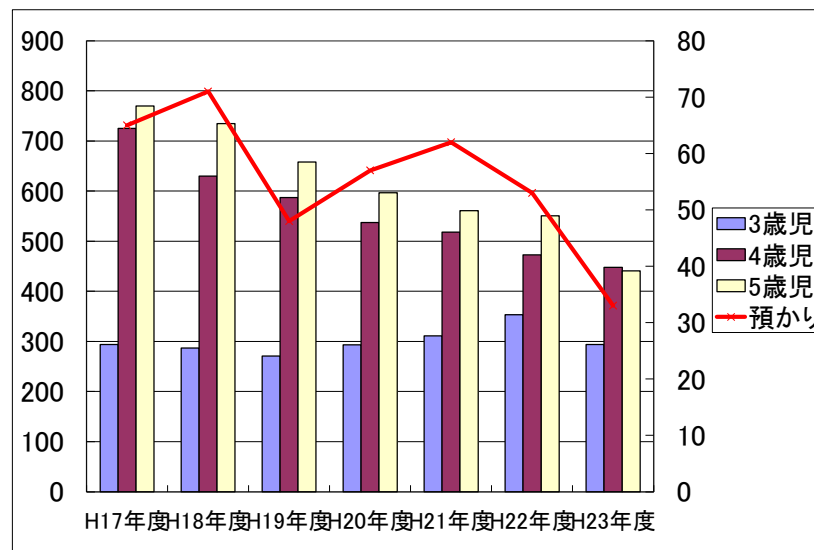
年齢は4月2日現在

区分は児童の住所地(希望している保育所の所在地ではない)

幼稚園児数の推移(H17～H23) 5月1日現在

第1回検討委員会資料

	平成17年度					平成18年度					平成19年度					平成20年度					平成21年度					平成22年度					平成23年度									
園 名	3歳児	4歳児	5歳児	合計	預かり	3歳児	4歳児	5歳児	合計	預かり	3歳児	4歳児	5歳児	合計	預かり	3歳児	4歳児	5歳児	合計	預かり	3歳児	4歳児	5歳児	合計	預かり	3歳児	4歳児	5歳児	合計	預かり	3歳児	4歳児	5歳児	合計	預かり					
母衣幼稚園		23	33	56		25	29	27	81		25	32	33	90		23	35	29	87		18	26	35	79		25	18	25	68		23	27	17	67						
城北幼稚園		53	47	100	17		20	57	77	11		28	25	53	8		29	36	65	15		24	34	35	93	17	25	35	38	98	14	25	36	42	103	10				
内中原幼稚園	24	49	54	127		16	58	50	124		24	45	60	129		25	51	44	120		23	47	51	121		23	44	51	118		21	43	44	108						
中央幼稚園	25	26	35	86			22	26	48			19	22	41			19	17	36			8	18	26			9	11	20			12	12	24						
雑賀幼稚園		18	29	47	7		10	12	15	37	7		15	16	13	44	7		17	10	16	43	6		11	11	14	36	6		18	16	16	50	11	10	27	18	55	8
津田幼稚園	25	68	70	163		25	56	62	143		25	43	56	124		25	48	43	116		23	56	52	131		25	44	56	125		25	31	43	99						
古志原幼稚園	23	43	51	117	15	22	46	47	115	18	13	35	47	95	10	25	31	36	92	10	23	35	34	92	11	22	25	42	89	7	25	28	25	78	3					
川津幼稚園		58	46	104	3		54	56	110	11		39	54	93	9		30	40	70	11	22	27	35	84	8	25	34	30	89	2	24	30	36	90	2					
朝酌幼稚園	11	9	8	28	1	12	7	10	29	3	7	8	7	22	1	7	12	7	26	3	2	9	13	24	5	6	0	8	14	2	8	6	0	14	1					
竹矢幼稚園	19	28	30	77		15	23	26	64		6	22	24	52		11	11	22	44		8	12	11	31		8	15	13	36		10	15	14	39						
忌部幼稚園	6	6	14	26		2	10	6	18		4	6	11	21		3	6	5	14		2	5	6	13		12	2	4	18		3	14	2	19						
大庭幼稚園	11	51	40	102		14	24	49	87		11	23	22	56		9	25	21	55		9	13	19	41		18	17	12	47		10	21	17	48						
生馬幼稚園	25	27	27	79		18	32	31	81		18	26	30	74		11	19	25	55		12	16	20	48		10	13	11	34		9	10	13	32						
持田幼稚園		17	20	37			11	19	30			13	9	22			6	16	22		6	5	9	20		11	7	7	25		2	10	7	19						
古江幼稚園		17	16	33			18	19	37			14	21	35			6	16	22		9	11	5	25		9	11	11	31		9	9	11	29						
本庄幼稚園		5	14	19			8	7	15			4	9	13			4	5	9			4	4	8		2	0	2	4		1	3	0	4						
大野幼稚園	5	5	6	16		2	9	5	16		3	8	10	21		5	4	6	15		1	5	4	10		1	2	5	8		2	1	2	5						
秋鹿幼稚園	3	10	8	21	6	1	7	10	18	5	5	3	7	15	2	4	7	4	15	2	0	6	7	13	4	1	2	6	9	4	5	1	2	8	0					
恵曇幼稚園	4	10	17	31	11	2	7	12	21	10	6	4	8	18	3	5	10	5	20	5	3	8	9	20	5	2	6	8	16	2	3	2	6	11	1					
佐太幼稚園	10	10	14	34	5	12	14	10	36	6	13	14	18	45	6	8	13	13	34	3	6	6	15	27	3	10	8	8	26	4	6	12	8	26	3					
講武幼稚園	9	10	3	22		10	10	9	29		12	13	10	35	2	13	13	8	34	2	18	14	15	47	3	13	21	15	49	7	13	16	19	48	5					
八雲幼稚園	13	19	24	56		17	15	20	52		11	26	16	53		15	15	28	58		11	16	18	45		11	12	16	39		8	11	12	31						
玉湯幼稚園	15	23	30	68		11	19	23	53		12	12	20	44		14	13	12	39		12	18	13	43		17	15	21	53		19	16	15	50						
大谷幼稚園	4	3	4	11		2	4	3	9		5	3	3	11		3	5	3	11		3	3	5	11		1	3	3	7		3	2	3	8						
宍道幼稚園	22	27	32	81		25	23	28	76		16	37	22	75		22	24	39	85		25	24	25	74		17	29	22	68											
来待幼稚園	10	20	17	47		17	14	21	52		10	18	19	47		18	11	19	48		10	19	10	39		11	12	20	43											
幼保園のぎ(短)	29	85	77	191		17	60	74	151		16	57	63	136		17	55	60	132		16	60	47	123		16	54	58	128		18	47	51	116						
幼保園のぎ(長)	1	5	4	9		12	18	13	31		14	19	19	38		13	25	22	60		14	20	32	66		14	19	32	65		12	18	22	52						
しんじ幼保園(短)																															24	23	37	84						
しんじ幼保園(長)																															38	32	38	108						
合 計	294	725	770	1788	65	287	630	735	1640	71	271	587	658	1502	48	293	537	597	1427	57	311	518	561	1390	62	353	473	551	1377	53	294	448	441	1183	33					



平成20年・21年・22年度松江市幼稚園 在籍児数

各年5月1日 のデータ

H22	3歳		4歳		5歳		合 計	
	在籍	定数	在籍	定数	在籍	定数	在籍	定数
松江市立幼稚園	353		473		551		1377	2780
島大附属			39	40	39	40	78	80
松 徳	4	40	14	40	15	40	33	120
暁の星	20	40	28	40	28	40	76	120
育 英	34	60	19	60	31	60	74	180
育英北	25	70	20	70	22	70	67	210
合 計	436		593		686		1705	3490

H21	3歳		4歳		5歳		合 計	
	在籍	定数	在籍	定数	在籍	定数	在籍	定数
松江市立幼稚園	311		518		561		1390	2685
島大附属			37	40	40	40	77	80
松 徳	11		7		9		27	
暁の星	39		33		41		113	
育 英	21	60	31	60	28	60	80	180
育英北	22	70	23	70	38	70	83	210
合 計	404		649		717		1770	

H20	3歳		4歳		5歳		合 計	
	在籍	定数	在籍	定数	在籍	定数	在籍	定数
松江市立幼稚園	293		537		597		1427	3190
島大附属			40	40	54	60	94	100
松 徳	9		9		9		27	
暁の星	39		35		43		117	
育 英	32	60	30	70	38	70	100	200
育英北	27	70	42	70	38	70	107	210
合 計	400		693		779		1872	

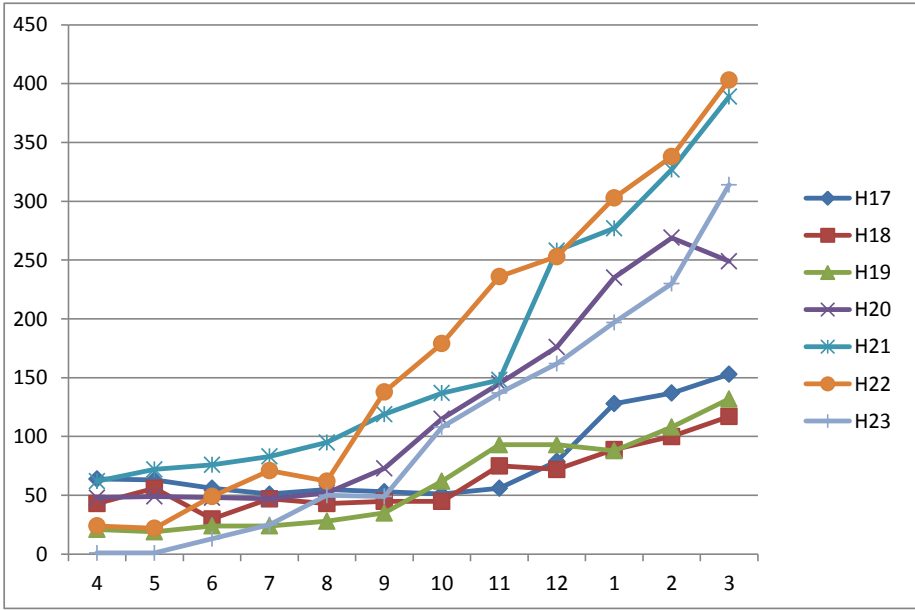
認可保育所の待機児童数及び入所児童の状況

月	H17				H18				H19				H20				H21				
	保育 所数	定員	入所 人数	待機 児童	保育 所数	定員	入所 人数	待機 児童	保育 所数	定員	入所 人数	待機 児童	保育 所数	定員	入所 人数	待機 児童	保育 所数	定員	入所 人数	待機 児童	
4	43	3945	4002	64	46	4185	4288	43	50	4490	4538	21	52	4595	4720	48	55	4875	4874	62	4
5	43	3945	4082	63	46	4185	4346	56	50	4490	4601	19	52	4595	4792	49	55	4875	4942	72	5
6	43	3955	4130	56	48	4305	4469	30	50	4490	4646	24	52	4595	4843	48	55	4875	5005	76	6
7	44	4015	4218	51	48	4305	4538	47	50	4490	4697	24	54	4775	4910	47	55	4875	5051	83	7
8	44	4015	4285	55	48	4305	4596	43	50	4490	4757	28	54	4775	4985	52	55	4875	5129	95	8
9	44	4015	4351	53	48	4305	4648	45	50	4490	4817	35	54	4775	5035	73	55	4875	5166	119	9
10	44	4015	4391	51	48	4305	4706	45	50	4490	4870	62	54	4775	5089	115	55	4875	5222	137	10
11	44	4015	4428	56	48	4305	4739	75	50	4490	4912	93	54	4775	5112	145	55	4890	5275	148	11
12	44	4015	4455	79	48	4305	4773	72	50	4490	4940	93	54	4775	5150	176	55	4890	5306	258	12
1	44	4015	4468	128	48	4305	4810	89	50	4490	4962	88	54	4775	5180	235	55	4890	5326	277	1
2	44	4015	4474	137	48	4305	4813	100	50	4490	4979	108	54	4775	5193	269	55	4890	5367	327	2
3	44	4015	4495	153	48	4305	4844	117	50	4490	5023	132	54	4775	5210	249	55	4890	5210	389	3

月	H22				H23				
	保育 所数	定員	入所 人数	待機 児童	保育 所数	定員	入所 人数	待機 児童	
4	59	5190	5139	24	62	5420	5400	1	
5	59	5190	5233	22	62	5420	5502	1	
6	59	5140	5306	49	62	5420	5573	13	
7	59	5140	5403	71	62	5420	5638	25	
8	59	5140	5481	62	65	5790	6080	50	
9	59	5140	5529	138	65	5790	6142	49	
10	59	5140	5577	179	65	5790	6195	108	
11	59	5140	5603	236	65	5790	6250	137	
12	59	5140	5615	253	65	5790	6293	162	※
1	59	5140	5642	303	65	5790	6298	197	※
2	59	5140	5675	338	65	5790	6323	230	※
3	59	5140	5693	403	65	5790	6342	314	※

※第1回検討委員会で配布した資料に、H23年度12月～3月のデータを追記してある。

待機児童の推移(H17～H23)



松江市十東出雲町(コホート変化率法による将来推計計算表)

		2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
		総数	総数	総数	総数	総数	総数
総 数		210,796	208,613	204,451	198,353	190,560	181,438
0～4歳		9,212	9,009	8,216	7,567	6,754	6,083
5～9歳		10,027	9,334	9,128	8,325	7,667	6,843
就学前児童数 (0歳～5歳)	推計1	11,254	10,910	10,075	9,263	8,315	7,477
	推計2	11,217		10,042	9,232	8,287	7,452
	推計3			9,950	9,164	8,179	7,367
10～14歳		10,578	10,142	9,441	9,233	8,420	7,755
15～19歳		12,392	11,180	10,727	9,979	9,754	8,898
20～24歳		12,105	10,024	9,042	8,673	8,071	7,890
25～29歳		12,265	10,710	8,865	7,994	7,664	7,135
30～34歳		14,484	12,495	10,911	9,033	8,148	7,813
35～39歳		12,862	14,575	12,575	10,981	9,092	8,202
40～44歳		12,719	13,063	14,803	12,772	11,153	9,235
45～49歳		12,962	12,882	13,234	14,998	12,942	11,301
50～54歳		14,527	13,012	12,930	13,287	15,060	12,997
55～59歳		16,641	14,414	12,910	12,828	13,183	14,943
60～64歳		13,205	16,512	14,301	12,810	12,728	13,079
65～69歳		11,829	12,811	16,007	13,852	12,413	12,337
70～74歳		11,999	11,185	12,111	15,119	13,072	11,719
75～79歳		10,015	10,898	10,158	10,996	13,704	11,828
80～84歳		6,816	8,430	9,160	8,538	9,236	11,476
85～89歳		3,741	4,969	6,119	6,636	6,185	6,685
90～94歳		1,874	2,144	2,837	3,478	3,764	3,508
95～99歳		490	697	794	1,048	1,279	1,382
100歳以上		53	127	182	206	271	329

推計1＝2010年データを基に推計

推計2＝2010年5～9歳児データを5等分し0～4歳児数に加える

推計3＝0～4歳の減少率で推計

資料：統計で見る松江市の特徴（平成23年11月）より

幼稚園・保育所数

【大項目：教育】

		2008年10月1日	2009年5月1日	
	都 市 名	保育所数	幼稚園数	(単位：施設)
1	福 井 市	78	46	124
2	津 市	56	55	111
3	徳 島 市	66	35	101
4	佐 世 保 市	59	38	97
5	八 戸 市	69	25	94
6	長 岡 市	72	20	92
7	呉 市	58	33	91
8	松 江 市	54	34	88
9	都 城 市	68	18	86
10	福 島 市	41	43	84
11	佐 賀 市	38	45	83
12	弘 前 市	65	12	77
13	上 越 市	62	12	74
14	水 戸 市	36	36	72
15	鈴 鹿 市	40	31	71
16	出 雲 市	43	27	70
17	松 本 市	50	17	67
18	甲 府 市	37	29	66
19	鳥 取 市	45	16	61
20	今 治 市	41	18	59
21	松 阪 市	33	25	58
22	尾 道 市	29	29	58
23	東 広 島 市	44	14	58
24	山 形 市	30	26	56
25	釧 路 市	26	29	55
26	上 田 市	42	13	55
27	周 南 市	27	28	55
28	山 口 市	29	25	54
29	小 山 市	32	21	53
30	熊 谷 市	35	17	52
31	米 子 市	40	10	50
32	市 原 市	20	29	49
33	石 巻 市	32	15	47
34	帯 広 市	26	14	40
35	野 田 市	14	12	26

幼稚園…統計でみる市町村のすがた2011
 保育所…厚生労働省：平成20年社会福祉施設等調査

35都市中8位
(上位)

(1)類似都市との比較結果

松江市の幼児教育の状況を見るため、保育所数と幼稚園数を合算して他都市と比べてみました。

合計数字は88施設で、類似都市中8番目で、施設数としては充実しています。

(補足)

一方で、待機児童数は依然として「0」になっていません。

(補足：H22年は24人まで減っています。)

※待機児童数は、依然として多い状況です。

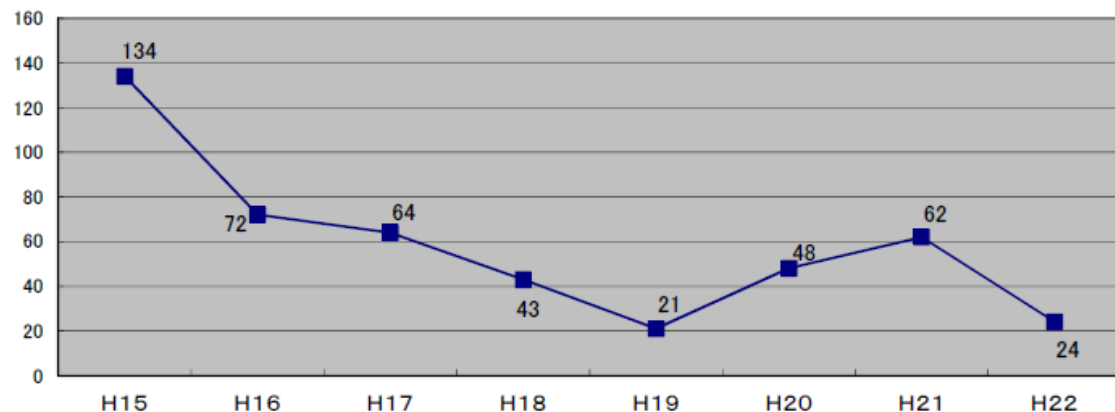


待機児童数		
2009年		
	都 市 名	待機児童数
1	山 形 市	198
2	水 戸 市	140
3	市 原 市	114
4	松 江 市	62
5	福 島 市	49
6	石 巻 市	34
7	徳 島 市	23
8	出 雲 市	16
9	八 戸 市	13
10	山 口 市	13
11	熊 谷 市	4
12	東 広 島 市	2

※13位以下は待機児童数「0」
 統計でみる市町村のすがた2011

単位：人

松江市 待機児童数の推移

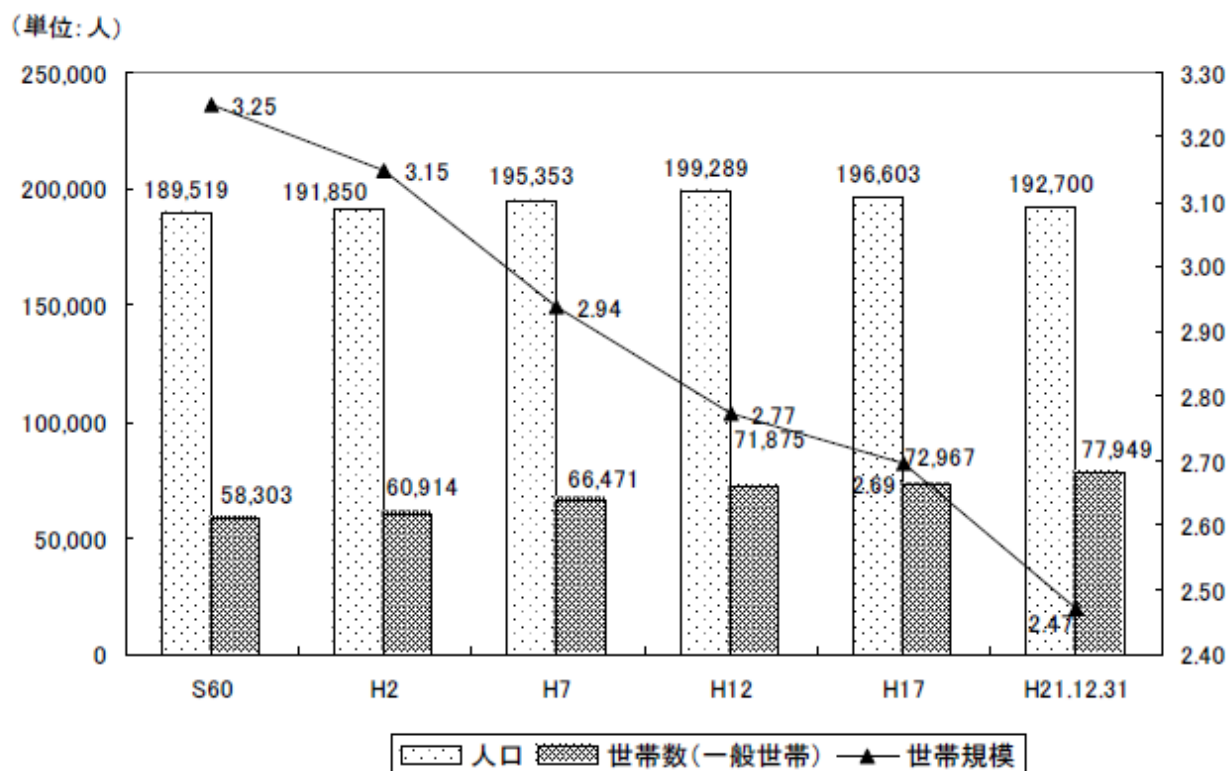


資料：松江市次世代育成支援行動計画（平成22年3月）より

第2章 松江市の現状

1 人口・世帯数・世帯規模の推移

平成17年の国勢調査では、人口は196,603人となり、人口が減少に転じました。平成21年末の人口（住民基本台帳登録者数）は、192,700人となり、12年からの約10年間で6,589人（3.3%）減少しています。一方、世帯数は77,949世帯となり、6,074世帯（8.5%）増加しています。

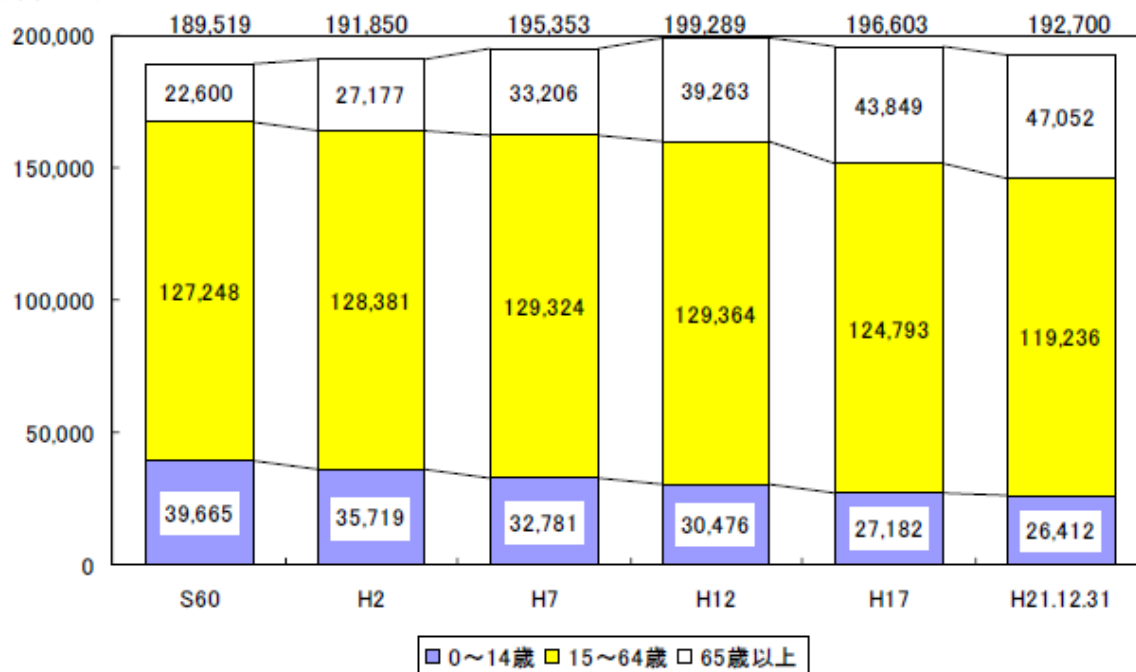


人口・世帯数・世帯規模の推移（国勢調査） ※H21.12.31 は住民基本台帳登録者数

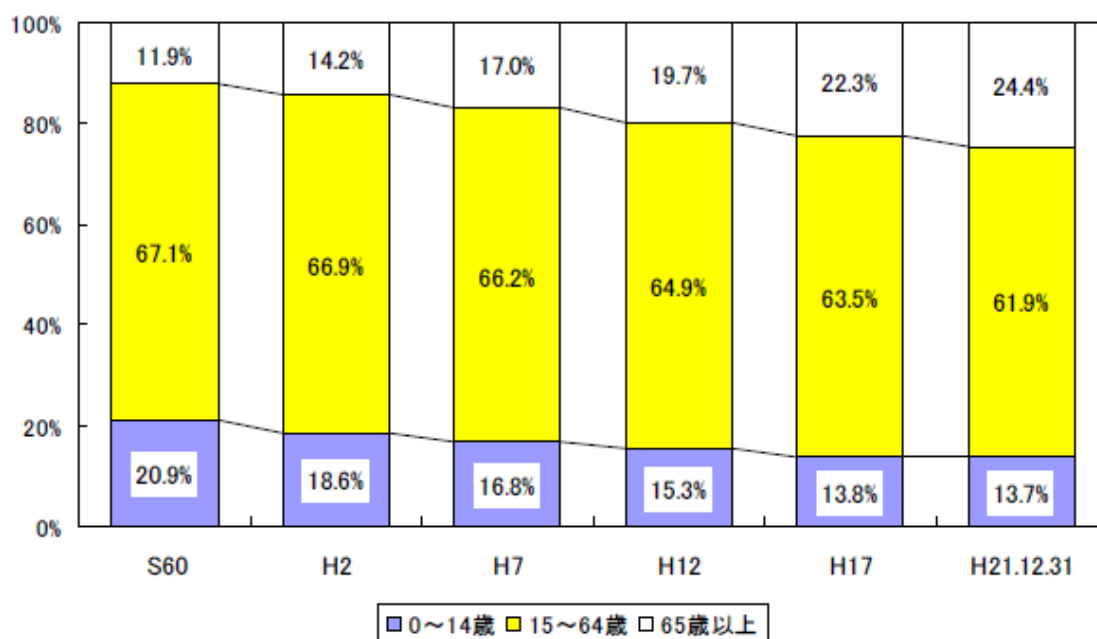
2 年齢別人口の推移

15歳未満の年少人口が減少し、65歳以上の高齢者人口が著しく増加しています。平成7年には高齢者人口が年少人口を上回り、その後もこの傾向が続き、少子高齢化が進行しています。

(単位:人)



※S60～H17の人口合計には「年齢不詳」を含むため、年齢別人口の合計とは一致しない。



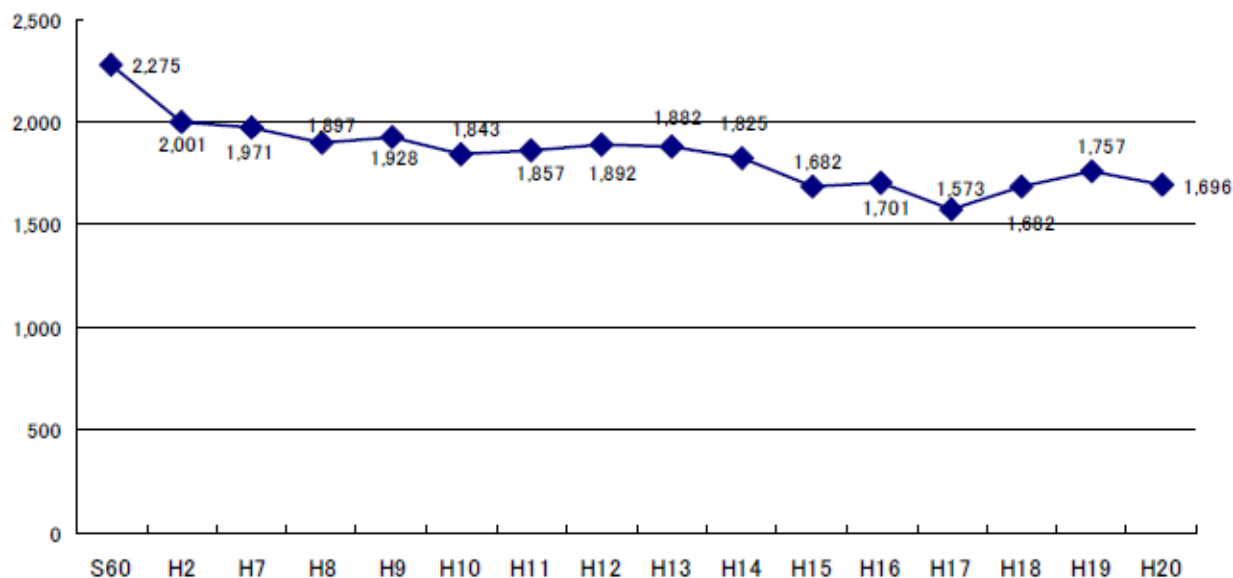
※S60～H17は年齢不詳を除外しているため、100%にならない。

年齢別人口の推移(国勢調査) ※H21.12.31は住民基本台帳登録者数

3 出生数の推移

平成19年の出生数は1,757人となり、前年に続き増加したものの、10年前の平成9年と比べると171人（8.9%）減少しています。

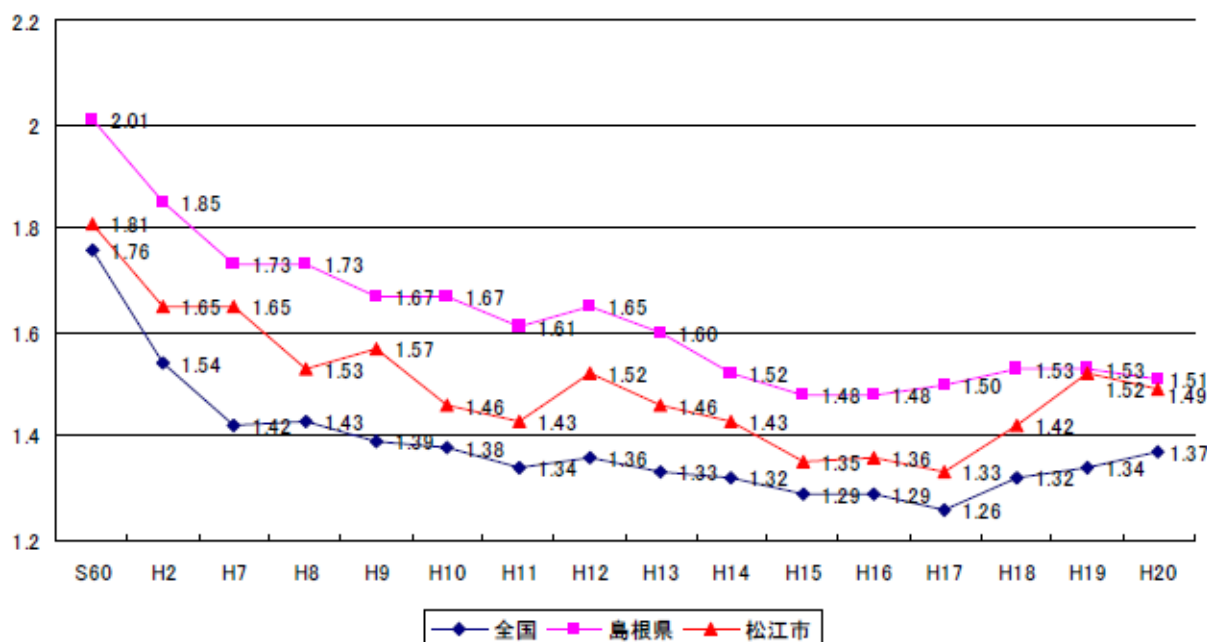
（単位：人）



出生数の推移（保健衛生統計）

4 合計特殊出生率の推移

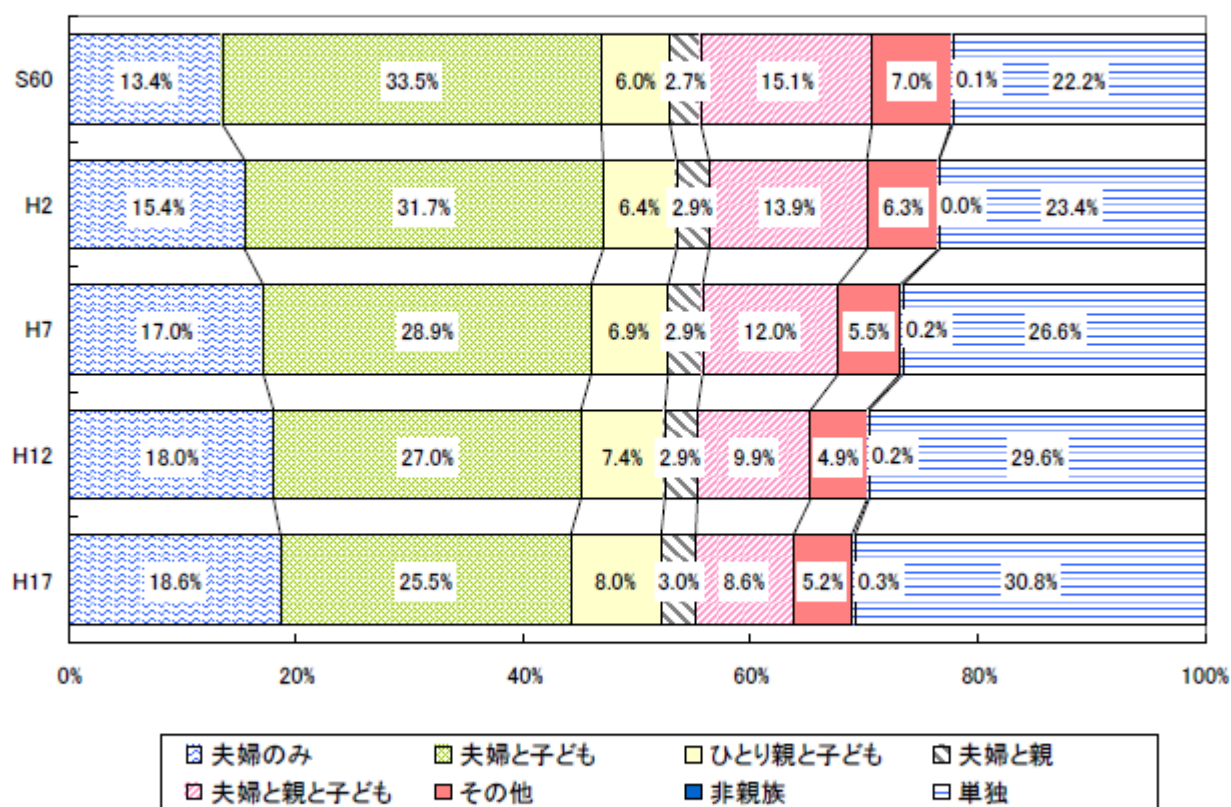
合計特殊出生率（15歳～49歳の女性が生涯に生む子どもの数）は、全国的には、ここ3年増加傾向にあります。本市と島根県の数値は平成20年に再び減少に転じています。



合計特殊出生率の推移（保健衛生統計） ※合計特殊出生率のS60～H16は旧松江市

5 家族構成の動向

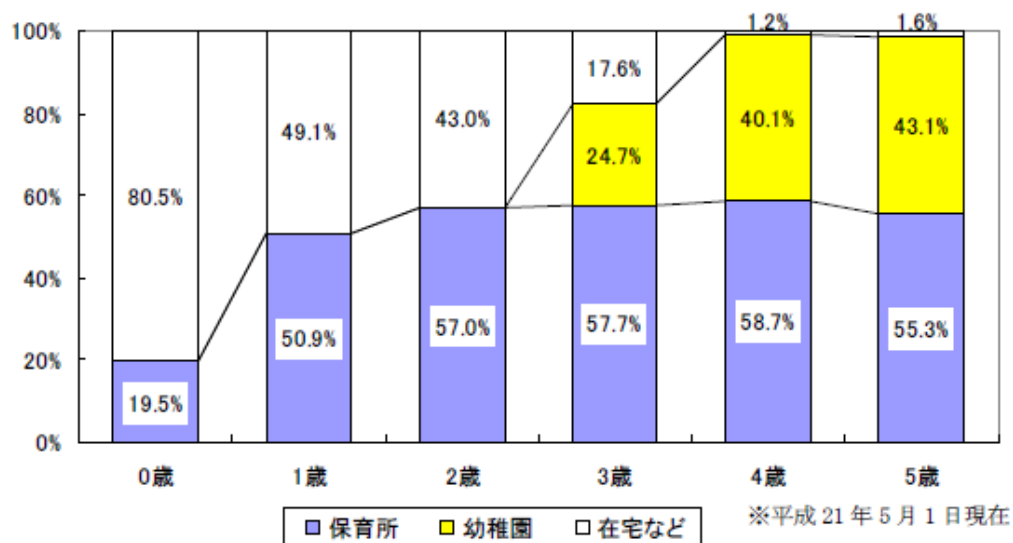
「夫婦と子ども」と「夫婦と親と子ども」の世帯が減少する一方、「夫婦のみ」と「単独」の世帯が増加しています。少子化とともに核家族化が進行している状況にあります。



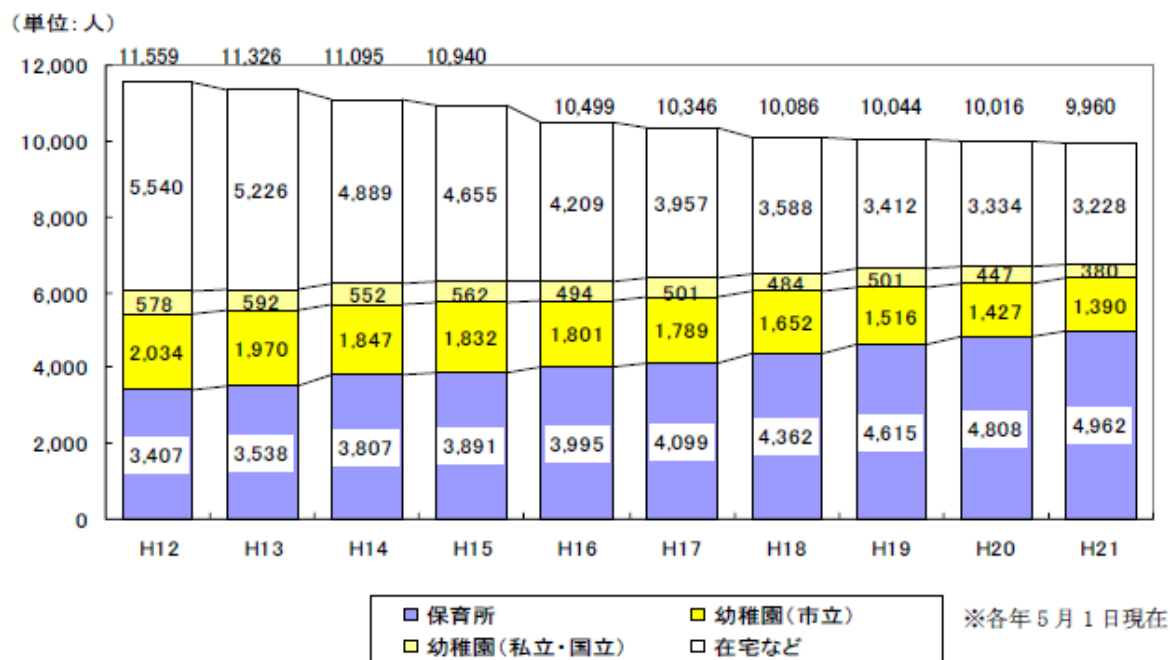
家族構成の動向（国勢調査）

6 就学前児童の状況

3歳までには、約82%の子どもが保育所か幼稚園に入所（園）しています。また4歳までには、この割合は約99%になっています。



また、年毎の推移を見ると、保育所への入所（園）児数が年々増加する一方で、市立幼稚園への入園児数と在宅児童数などが減少しています。



(参考)

※平成21年5月1日現在

保育所(園)				
	保育所(園)数	定員	入所数	入所率
市立	14	1,180	1,055	89.4%
私立	41	3,695	3,888	105.2%

※「幼保園のぎ」を含む。

※管外保育所を除く。

幼稚園				
	幼稚園数	定員	入園数	入園率
市立	27	2,685	1,390	51.8%
私立・国立	5	617	380	61.6%

※「幼保園のぎ」を含む。

松江市立幼稚園・保育所（園）のあり方について

【 報告書 】

平成19年2月

松江市立幼稚園・保育所（園）あり方検討委員会

目 次

はじめに	1
1. 松江市の現状.....	2
(1) 就学前児童の状況	2
(2) 市立幼稚園の現状	2
(3) 認可保育所（園）の現状	2
2. 今後の市立幼稚園・保育所（園）のあり方	4
(1) 今後の基本的な方向性	4
(2) 各地域における市立幼稚園・保育所（園）の方向性	5
①城北幼稚園	5
②大野・秋鹿・古江幼稚園	5
③内中原・生馬・津田・大庭幼稚園.....	5
④川津・朝酌・持田・古志原・竹矢・忌部幼稚園.....	5
⑤母衣・本庄・中央・雑賀幼稚園・幼保園のぎ	6
⑥鹿島	6
⑦島根	6
⑧美保関	6
⑨八雲	6
⑩玉湯	7
⑪宍道	7
⑫八束	7
(3) 幼稚園における教育・子育て支援機能の充実	7
①3歳児保育の充実	7
②特別支援教育の充実.....	7
③預かり保育の充実	7
④一時預かり保育の充実.....	7
⑤地域との一層の連携.....	8
参考資料	
1 年齢別人口の推移	9
2 出生数の推移	9
3 児童人口の推計（平成18年～平成21年）	10
4 地域別児童数・職員数の推移.....	11
5 平成18年度 地域別児童数等の状況	17
6 松江市立幼稚園・保育所（園）あり方検討委員会 委員名簿.....	20

はじめに

本市においては近年出生数が減少し、少子化が急速に進行するとともに、核家族化が進展している。こうした中で、就労する女性が増加し、保育所に入所する乳幼児が増えている。一方、幼稚園では入園者が年々減少し、定員割れとなっている。また、子育てに不安を抱える親の増加や家庭・地域社会における教育力の低下が問題となっている。

そのため、松江市立幼稚園・保育所（園）あり方検討委員会では、「幼稚園・保育所の子どもたちを同じ就学前の子どもとして捉え、21世紀を担う松江市の子どもたちが、特色ある質の高い教育・保育を受けられるよう幼保園の設置、幼稚園の統廃合について検討する。」ことを目的として、慎重に議論を重ね、おおむね今後10年間の視野に入れた報告書を取りまとめたところである。

今後、市立幼稚園・保育所（園）の整備については、本検討委員会でまとめた方向性を基に、園児数の増減や地域ごとの情勢を踏まえ、速やかな情報開示を行うとともに、地元と十分に協議を行い進められたい。

1 松江市の現状

(1) 就学前児童の状況

就学前児童は、年々減少し続けており、社会的増減がないものとして推計すると、今後とも減少傾向が続くものと想定される。

平成18年10月1日現在、就学前児童の67.9%が幼稚園又は認可保育所（園）に通園している。また、3歳から5歳については40.6%が幼稚園（市立幼稚園31.8%、私立幼稚園6.6%、国立幼稚園2.2%）に、51.1%が認可保育所に通園している。

(2) 市立幼稚園の現状

旧松江市では昭和40年代に就学前の教育・保育を充実させる目的で「各小学校区に1幼稚園」を基本に幼稚園が整備された。合併後の新松江市においても一部の地域を除き、同様の状況にある。

しかし、平成18年10月1日現在、市立幼稚園27園のうち定員に対する入園率が40%を下回る幼稚園が10園、全幼稚園の平均も51.1%となっている。

最も古い大谷幼稚園は昭和35年3月に建築された木造施設であり、その他の施設もその多くが昭和40年代後半から50年代に建築され、老朽化による施設整備が必要な施設が多い状況となっている。

幼稚園で実施されている教育・子育て支援機能としては、3歳児保育、特別支援教育、一時預かり保育、預かり保育が挙げられる。3歳児保育は21園、特別支援教育のうち特に特別支援幼児教室は4園、一時預かり保育は25園、預かり保育は10園で実施されている。

旧八束郡の鹿島、八雲、玉湯、宍道地域の幼稚園では現在も引き続き学校給食を利用した給食が行われている。

(3) 認可保育所（園）の現状

認可保育所については、平成18年10月1日現在、公立保育所が14所（うち公設民営4所）、私立保育所が34所設置され、定員に対する入所率が109.3%となり、保育所に対する需要が高い。

待機児童は平成18年3月1日現在で153人、5月1日現在で56人、10月1日現在で45人と完全な解消には至っていない。そのため、施設整備や認定保育所通園補助制度(※)を設けるなど待機児童解消に向けた施策を積極的に実施している。

※認定保育所通園補助制度

認定保育所として認定された認可外保育所に通園する保護者（認可保育所入所待機中）に対して、認可保育所と認可外保育所との保育料の差額を助成するもの。

2 今後の市立幼稚園・保育所（園）のあり方

（1）今後の基本的な方向性

平成16年2月に策定された新市まちづくり計画において、幼稚園については「3歳児保育・預かり保育・一時預かり保育・特別支援教育の拡充を図る」と掲げられている。しかし、定員に対する入園率が下がる中で教育効果を低下させないため一定規模を維持することや厳しい財政状況を考慮した運営が求められている。

核家族化の進展に加え年々就労する女性が増加し、保育所へのニーズは高まっているが、幼稚園教育に対しても一定のニーズがある。

従って、保護者の就労の有無や形態などの家庭状況に係わらず、すべての家庭を対象にした、多様で柔軟な教育・保育機能を有する施設の整備が必要になっている。

以上のことから、市立幼稚園と保育所（園）について以下の方向性を示すこととする。

一つには、幼稚園園児数の著しい減少、施設の老朽化などにより新たな施設を整備する場合、より良い幼児教育・保育の環境づくりという視点から幼保園として整備することが望ましい。

二つには、小規模幼稚園において将来にわたって園児数が増加する見込みがない場合は、複数の施設を統合することを検討する必要がある。その場合、園児が通園しやすいようにスクールバスの運行、駐車場の整備などについても併せて検討する必要がある。

三つには、既存施設の状況や地域事情等によって、幼稚園として継続することが適当と判断される園については、幼稚園として存続、整備することが望ましい。その場合、現在の教育・保育の質を低下させることなく、市民ニーズに対応するため、教育・子育て支援機能を充実する必要がある。

一方、認可保育所については、年次的に整備されてきているが、保育所へのニーズが増大・多様化し、待機児童は解消されていない。また、認可保育所のうち7割超が私立保育所であり、それぞれ特色ある質の向上を目指した保育が行われている。

国、地方を通じた官から民へという大きな流れの中で、民間にできることは民間にお願いするという視点に立って、公立保

育所の民営化と、小規模保育所の統合について検討する必要がある。

その場合、様々な情報を公開し、保護者や市民の意見、要望を聞きながら双方の信頼関係のもと進めていくこととし、保育サービス・保育水準の維持、向上を図っていく必要がある。

(2) 各地域における市立幼稚園・保育所(園)の方向性

以上のことを踏まえ、次のとおり各園や地域の方向性を示すこととする。

① 城北幼稚園

昭和46年3月の建設で老朽化し、改築の必要がある。

一方、園児数は平成15年度の約150人が18年度に78人まで減少しているが、特別支援教育のサテライト園として重要な役割を担っている。

この地域には複数の私立保育所があるが、常に待機児童がいる状態であるため、近隣の状況を考慮しながら幼保園として整備することが望ましい。

② 大野・秋鹿・古江幼稚園

昭和51年から57年にかけて建設され、施設整備の緊急性は比較的低い。

しかし、それぞれの幼稚園とも園児数が少数で推移しており、将来大きく増加する見込みは小さい。

従って、幼稚園の統合を視野に入れ、幼保園として整備することが望ましい。

③ 内中原・生馬・津田・大庭幼稚園

昭和46年から48年にかけて建築され、老朽化により施設整備の必要がある。

それぞれの幼稚園とも園児数が比較的多く、当面は極端に園児数が少なくなる可能性は低い。

従って、老朽化による施設整備を検討する必要があるが、基本的には幼保園として整備することが望ましい。

④ 川津・朝酌・持田・古志原・竹矢・忌部幼稚園

すべての施設が昭和53年以降に建設され、施設整備の緊急性が比較的低い。

当面現状で継続することとし、施設で受け入れている園

児数や近隣の状況変化に応じて対応することが望ましい。

⑤ 母衣・本庄・中央・雑賀幼稚園・幼保園のぎ

母衣と中央幼稚園は特別支援教育の拠点園として今後とも中心的な役割を担うこととなる。

幼保園のぎは平成17年3月に幼保一元化のモデル園として整備されたところである。

本庄幼稚園は平成20年3月完成を目途に小学校に合築する形態で建築中である。

また、雑賀幼稚園は昨年度に耐震改修などを行っている。

従って、これらの5幼稚園については当面現状の施設形態として継続することが望ましい。

⑥ 鹿島

地域の3つの幼稚園は、昭和55年以降に建設されているが、施設は老朽化している。

それぞれの園は、いずれも定員割れが生じ、園児数は今後も減少する傾向にある。

従って、幼稚園を統合し、幼保園として整備することが望ましい。なお、検討にあたっては御津、恵曇両保育所の動向を踏まえられたい。

⑦ 島根

平成9年、16年に2つの保育所が整備され、保育所の待機児童はほとんどない。

従って、当面現状の保育所として継続することが望ましい。

⑧ 美保関

平成12年、16年に2つの保育所が整備され、保育所の待機児童はほとんどない。

従って、当面現状の保育所として継続することが望ましい。

⑨ 八雲

八雲幼稚園は昭和61年に建設されているが、施設が老朽化している。

また、八雲保育園の5歳児は幼稚園に通園し、幼稚園児と交流を深めている。

このように、すでに幼稚園と保育園の交流という下地も

あるため、幼保園として整備することが望ましい。

⑩ 玉湯

昭和35年、47年に2つの幼稚園が整備されている。

大谷幼稚園は園児数が極端に少ない状況にあるため、玉湯幼稚園と統合し、幼保園として整備することが望ましい。

⑪ 宍道

市町村合併前から幼保園の整備計画があり、平成16年からは「幼稚園における幼稚園児及び保育所児等の合同事業特区」と「幼稚園と保育所の保育室共用化事業特区」が認可され、宍道保育所の3, 4, 5歳の保育園児は宍道幼稚園に通園し、幼保連携が進んでいる。

また、宍道、来待幼稚園、宍道保育所とも施設の老朽化が著しい。

従って、これらの施設を統合し、幼保園として整備することが望ましい。

⑫ 八束

昭和50年、51年に2つの保育所が整備されているが、いずれも老朽化している。

江島保育所は小規模園となっており、今後も地域の児童数が減少することが予想されるため、統合保育所として整備することが望ましい。

(3) 幼稚園における教育・子育て支援機能の充実

① 3歳児保育の充実

全幼稚園で実施し、園児の状況を見ながら教育時間を適切に定めるよう努め、最終的には降園時間を午後2時とすることが望ましい。

② 特別支援教育の充実

発達障害児への対応を含め、特別な支援が必要な園児に対して引き続き支援を行うことが望ましい。

③ 預かり保育の充実

実施箇所数を増やし、保護者が利用しやすい延長時間を設定していくことが望ましい。

④ 一時預かり保育の充実

保護者一人あたりの実施回数を増やすことが望ましい。

⑤ 地域との一層の連携

世代間交流や異年齢児交流を進め、また保護者からの相談に対応するなど、家庭や地域の教育力向上のための活動をさらに推進することが望ましい。

前回の報告書で示された地区別の現在の状況とH24,25年度の3～5歳児数推計

第2回検討委員会資料

※東出雲以外の人口は、平成23年3月31日現在のものなので、年度途中で生まれた子供は含んでいない。

※児童数は、平成23年11月1日現在

※57.4%:0～5歳児の人口(松江市は平成23年3月31日現在、東出雲町は平成23年8月31日現在)に対する保育所入所児童の割合(松江市全体の平均)

地区			幼稚園・保育所名		定員数		児童数		地元幼稚園 に通う割合	H23年度人口		0～5歳児の 57.4%※ (保育所)	H24年度 3～5歳	H25年度 3～5歳	状況					
					幼稚園	保育所	幼稚園	地区内 保育所		3～5歳	0～5歳									
1	湖北中	大野	大野幼稚園	70		5	5		20.8	24	48	28	29.0	25.0	・地元から市立幼稚園に通う割合が比較的高い地区ではあるが、人口174人に対し、幼稚園定数235人なので、定員が多すぎると思われる。 ・0～5歳児の57.4%の192人に対して、保育所児童数146人であるので、他の地区(城西地区等)の保育所に受け入れられていると思われる。					
		秋鹿	秋鹿幼稚園	70		8	8		29.6	27	58	33	29.0	32.0						
		古江	ふたば保育所		60		76			229	131									
			ふたば第二保育所		60		70													
			古江幼稚園	95		28	28	22.8	123			123	117							
				235	120	41	146	23.6	174	335	192	181	174							
2	一中	城北	嵩見保育所		110		133			781	448			・法吉地区に幼稚園がないため、城北幼、内中原幼、生馬幼、講武幼に通っている。 ・城北地区のは、地元から市立幼稚園に通う割合が12.8%で低いのは、附属幼稚園に通う園児が多いためと思われる。 ・0～5歳児の57.4%の738人に対して、保育所児童数765人であるので、他の地区(鹿島地区、川津地区等)から受け入れていると思われる。						
			島根大学教育学部附属幼稚園	80		75														
		法吉	城北幼稚園	165		104	51	12.8	400	505	290	384	394							
			比津ヶ丘保育園		70		85													
			法吉保育所		180		185													
			みずうみ保育園		60		73													
			みずうみ第2保育園		60		73													
			比津ヶ丘保育園融合センター		45		52													
			比津ヶ丘保育園わらべのその		60		68													
			みのり黒田保育園		90		96													
			(幼稚園なし)					0.0	253			271	264							
						245	675	179	51	765	7.8	653	1,286		738	655	658			
3	四中	城西	末次保育所		120		136			672	386			・地元から市立幼稚園に通う割合は、城西地区20.1%で生馬地区23.8%で平均的だが、法吉地区から通う園児も多い。 ・0～5歳児の57.4%の435人に対して、保育所児童数429人であるが、地理的に他の地区(法吉地区等)から受け入れていると思われるので、保育所に通う児童が平均より低い地区と思われる。						
			しらとり保育所		90		109													
		生馬	内中原幼稚園	165		114	69	20.1	343	85	49	343	327							
			みのり保育園		60		75													
			浜佐田保育園		60		72													
生馬幼稚園		30		37					45	51										
				260	360	146	79	429	20.5	385	757	435	388	378						
4	湖南中	津田	愛恵保育園		90		105			961	552			・地元から市立幼稚園に通う割合は、津田地区20.4%で平均的だが、大庭地区18.2%で多少低いのは、地区内にある私立幼稚園に通う園児も多いためと思われる。 ・0～5歳児の57.4%の842人に対して、保育所児童数452人であるので、他の地区(乃木地区等)の保育所に受け入れられていると思われる。						
			虹の子保育園		60		71													
		大庭	津田幼稚園	165		99	96	20.4	470	506	290	475	497							
			しらゆり保育園		120		132													
			育英乳児保育園		60		58													
			なの花保育園		90		86													
			大庭幼稚園	95		48	46	18.2	253				248		252					
			育英幼稚園	180		65														
							440	420	212			142	452		19.6	723	1,467	842	723	749
			5	二中	川津	たまち育英北保育園		60				66				1,030	591			・地元から市立幼稚園に通う割合が、川津地区17.5%、持田地区15.2%で多少低いのは、近隣の幼稚園(母衣幼、川津幼、持田幼、附属幼)に通う園児がいると思われる。 ・0～5歳児の57.4%の742人に対して、保育所児童数239人であるので、他の地区(城東地区等)の保育所に受け入れられていると思われる。
川津幼稚園	130					90	88	17.5	504		520	536								
持田	育英北幼稚園	210				69				181	104									
	しらゆり第2保育園				150		173					97	83							
	持田幼稚園	70				20	16	15.2	105				43	44						
朝酌	朝酌幼稚園	70		14	10	26.3	38	82	47	660	663									
				480	210	193	114	239	17.6	647	1,293	742								
6	湖南中	古志原	古志原保育所		130		141			482	277			・地元から市立幼稚園に通う割合は、古志原地区21.11%で竹矢地区22.7%で平均的、忌部地区は地区内に保育所もなく、近隣に他の幼稚園もないため35.2%と高い。 ・0～5歳児の57.4%の538人に対して、保育所児童数701人であるので、他の地区(八雲地区等)から受け入れていると思われる。						
			なかよし保育園		90		103													
			こばと保育園		100		124													
			運動公園前保育所チャイルド		45		48													
			古志原幼稚園	165		80	51	21.1	242				250		241					
		竹矢	わかたけ保育園		90		109			352	202									
			しらゆり第3保育園		150		176													
			竹矢幼稚園	95		37	39	22.7	172				174		177					
			忌部	忌部幼稚園	70		19	19	35.2			54	103		59	61	47			
							330	605	136			109	701		23.3	468	937	538	485	465

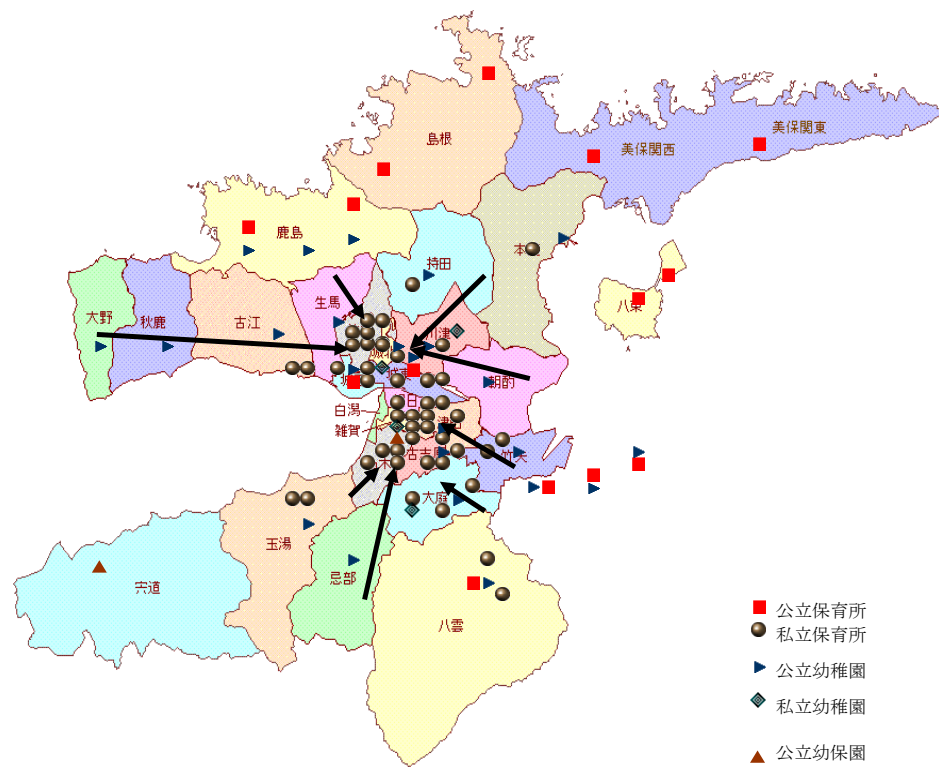
前回の報告書で示された地区別の現在の状況とH24,25年度の3～5歳児数推計

第2回検討委員会資料

地区			幼稚園・保育所名		定員数		児童数			地元幼稚園 に通う割合	H23年度人口		0～5歳児の 57.4%※ (保育所)	H24年度 3～5歳	H25年度 3～5歳	状況	
					幼稚園	保育所	幼稚園	地区内	保育所		3～5歳	0～5歳					
5	二 中	城東	城 東 保 育 所		120			134		231	133	122	・地元から市立幼稚園に通う割合が、42.3%と高く、他の地区からの受け入れもあるが、幼稚園に通う園児の多い地区だと思われる。 ・0～5歳児の57.4%の133人に対して、保育所児童数576人であるので、他の地区(川津地区等)から受け入れていると思われる。				
			た ま ち 保 育 園		180			174									
			しらゆり千鳥保育園		150			171									
			た ま ち 乳 児 保 育 園		90			97									
			母 衣 幼 稚 園	95		68	52		42.3					123			
			松 江 暁 の 星 幼 稚 園	120		79											
			215	540	147	52	576	42.3	123	231	133	128	122				
	本 庄 中	本庄	本 庄 保 育 所		60			66			48			・地元から市立幼稚園に通う割合が、6.8%とかなり低く、0～5歳児の57.4%の48人に対して、保育所児童数66人であり、保育所に通う児童が多い地区であると思われる。			
			本 庄 幼 稚 園	35		4	3		6.8	44	83	43	47				
				35	60	4	3	66		7	44	83	43		47		
	三 中	白潟	白 潟 保 育 所		70			81			173			・地元から市立幼稚園に通う割合が、白潟・朝日地区11.3%と低いのは、中央幼稚園で3歳児保育を実施していなかったため、他の幼稚園に流れていると思われる。 ・地元から市立幼稚園に通う割合は、雑賀地区37.7%、幼保園のぎ25.2%と高めとなっているのは、町内で校区が別れている津田や乃木の一部の人口を校区単位で把握できないため、実際はもう少し低いと思われる。 ・0～5歳児の57.4%の966人に対して、保育所児童数1,463人であるので、他の地区(津田、玉湯地区等)から受け入れていると思われる。			
			松 江 ナ サ レ ン 保 育 園		60			65									
		朝日	松 江 保 育 所		90			106									
			松 原 保 育 園		45			54									
			中 央 幼 稚 園	70		23	18		11.3	160	302		161		163		
			松 尾 保 育 所		45			53									
		雑賀	み つ き 保 育 園		200			195				66					
			み ど り 保 育 所		100			126									
			み つ き 乳 児 保 育 園		150			149									
			雑 賀 幼 稚 園	95		56	26		37.7	69	115				70	53	
			松 徳 幼 稚 園	120		34											
			幼 保 園 の ぎ	210	30	176	155	30		25.2	615		1,267			659	658
	湖 南 中	乃木	乃 木 保 育 所		90			107			727						
			袖 師 保 育 所		110			137									
			つ わ ぶ き 保 育 園		60			68									
			み つ き 田 和 山 保 育 園		90			112									
			みつき田和山夜間保育園		45			52									
			みつき田和山第2保育園		120			128									
				495	1,305	289	199	1,463	23.6	844		1,684	966	890	874		
6			鹿島中	鹿島	御 津 保 育 所		60			59						・地元から市立幼稚園に通う割合がかなり高い地区ではあるが、人口151人に対し、幼稚園定数285人なので、定員が多すぎると思われる。 ・0～5歳児の57.4%の345人に対して、保育所児童数141人であるので、他の地区(法吉地区等)の保育所に受け入れられていると思われるが、幼稚園に通う割合が比較的高い地区だと思われる。	
					恵 曇 保 育 所		100			82							
					講 武 幼 稚 園	95		49	26			44.8	58	135	236		63
	恵 曇 幼 稚 園	95				11	10		31.3	32	67	38	30	33			
	佐 太 幼 稚 園	95				27	22		36.1	61	124	71	71	63			
		285			160	87	58	141	38.4	151	326	345	164	167			
7	島根中	島根	マ リ ン 保 育 所		80			69			137	79			・幼稚園がない地区なので、0～5歳児のほとんどが保育所に入所している状況である。		
			野 波 保 育 所		60			53									
			(幼 稚 園 な し)						71					60		67	
8	美保関中	美保関		0	140	0	0	122	0	71	137	79	60	67			
			美 保 関 西 保 育 所		80			63			173	99			・幼稚園がない地区なので、0～5歳児のほとんどが保育所に入所している状況である。		
			美 保 関 東 保 育 所		80			79						89		80	
		0	160	0	0	142	0	92	173	99	89	80					
9	八雲中	八雲	八 雲 保 育 園		80			92			327	188			・地元から市立幼稚園に通う割合が、17.4%と比較的低いのは、0～5歳児の57.4%の188人に対して、保育所児童数228人であり、他の地区からの受け入れもあると思われるが、保育所に通う児童が多い地区であると思われる。		
			た け か や 保 育 園		80			86									
			ひ よ し 保 育 園		45			50									
			八 雲 幼 稚 園	95		30	30		17.4	172				166		171	
		95	205	30	30	228	17.4	172	327	188	166	171					
10	玉湯中	玉湯	湯 町 保 育 園		100			111			334	192			・地元から市立幼稚園に通う割合が、玉湯幼29.3%、大谷幼70%とかなり高い。 ・0～5歳児の57.4%の192人に対して、保育所児童数172人であるので、他の地区(乃木地区等)の保育所に受け入れられていると思われる。		
			玉 湯 さ く ら 保 育 園		110			61									
			玉 湯 幼 稚 園	95		54	49		29.3	167				176		170	
			大 谷 幼 稚 園	20		8	7		70.0	10			18	9		9	
				115	210	62	56	172	99	177			352	192		185	179
11	宍道中	宍道	し ん じ 幼 保 園	270	70	194	194	88	87.0	223	436	250	211	220	・宍道地区の3～5歳の9割弱、0～2歳の約4割が入園している。		
				270	70	194	194	88	87	223	436	250	211	220			

第2回検討委員会資料

地区			幼稚園・保育所名	定員数		児童数			地元幼稚園 に通う割合	H23年度人口		0～5歳児の 57.4%※ (保育所)	H24年度 3～5歳	H25年度 3～5歳	状況
				幼稚園	保育所	幼稚園	地区内	保育所		3～5歳	0～5歳				
12	八束中	八束	二葉保育園	150			115			160	92			・幼稚園がない地区なので、0～5歳児のほとんどが保育所に入所している状況である。	
			江島保育園	30			23								
			(幼稚園なし)						94		88	80			
				0	180	0	0	138	0	94	160	92			88
	東出雲中	東出雲	出雲郷保育園	110			136			412	236			・小学校校区ごとに保育所と幼稚園があるので、校区内の保育所、幼稚園に入園していると思われる。 ・地元の幼稚園に通う割合が、意東地区84.82%と高くなっているのは、町内で校区が別れている出雲郷や揖屋の一部の人口を校区単位で把握できないため、実際はもう少し低いと思われる。	
			出雲郷幼稚園	130		61	61	31.9	191		192	214			
			揖屋保育園		180			167							
			揖屋幼稚園	130		48	48	21.6	222	434	249	214	228		
			意東保育園		80			79		65	37				
			意東幼稚園	65		28	28	84.8	33		35	34			
			325	370	137	137	382	30.7	446	911	522	441	476		



第2回検討委員会資料

-54-

平成24年度小学校就学予定児童の就学前状況

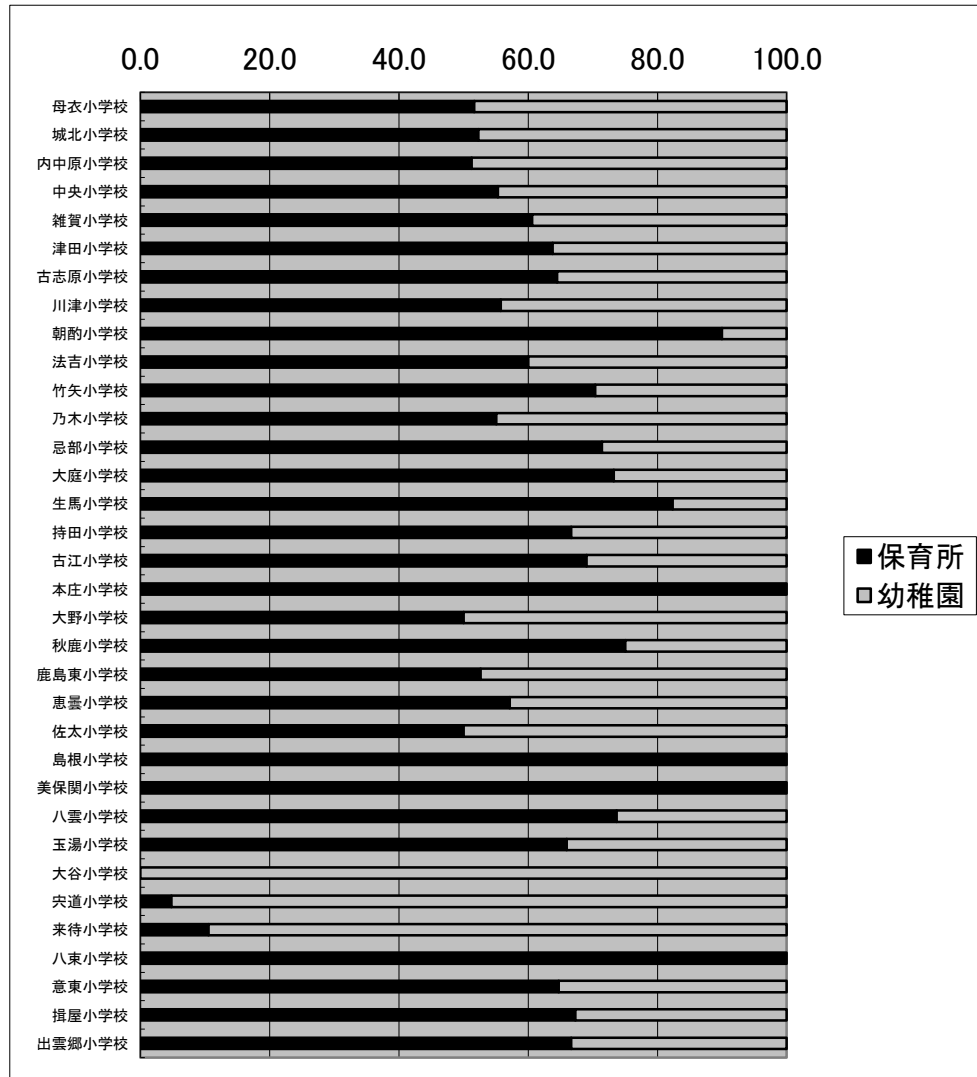
第2回検討委員会資料

小学校	校区内				校区外				合計				合計		割合		割合	
	保育園		幼稚園		保育園		幼稚園		保育園		幼稚園							
	園数	児童数	園数	児童数	園数	児童数	園数	児童数	園数	児童数	園数	児童数	園数	児童数	保育所	幼稚園	校区内	校区外
母衣小学校	3	16	2	19	12	15	3	10	15	31	5	29	20	60	51.7	48.3	58.3	41.7
城北小学校	1	8	2	7	19	49	5	45	20	57	7	52	27	109	52.3	47.7	13.8	86.2
内中原小学校	2	25	1	40	15	37	8	19	17	62	9	59	26	121	51.2	48.8	53.7	46.3
中央小学校	4	14	1	9	8	12	4	12	12	26	5	21	17	47	55.3	44.7	48.9	51.1
雑賀小学校	3	15	2	13	4	5	0	0	7	20	2	13	9	33	60.6	39.4	84.8	15.2
津田小学校	2	19	1	42	22	69	4	8	24	88	5	50	29	138	63.8	36.2	44.2	55.8
古志原小学校	4	26	1	22	13	23	3	5	17	49	4	27	21	76	64.5	35.5	63.2	36.8
川津小学校			2	39	14	58	3	7	14	58	5	46	19	104	55.8	44.2	37.5	62.5
朝酌小学校					5	9	1	1	5	9	1	1	6	10	90.0	10.0	0.0	100.0
法吉小学校	7	36			15	21	7	38	22	57	7	38	29	95	60.0	40.0	37.9	62.1
竹矢小学校	2	26	1	14	7	12	2	2	9	38	3	16	12	54	70.4	29.6	74.1	25.9
乃木小学校	6	52	1	70	20	46	4	10	26	98	5	80	31	178	55.1	44.9	68.5	31.5
忌部小学校			1	2	8	10	1	2	8	10	2	4	10	14	71.4	28.6	14.3	85.7
大庭小学校	2	19	2	20	12	44	2	3	14	63	4	23	18	86	73.3	26.7	45.3	54.7
生馬小学校	1	4	1	3	6	10	0	0	7	14	1	3	8	17	82.4	17.6	41.2	58.8
持田小学校	1	11	1	8	8	17	3	6	9	28	4	14	13	42	66.7	33.3	45.2	54.8
古江小学校	2	11	1	10	11	18	2	3	13	29	3	13	16	42	69.0	31.0	50.0	50.0
本庄小学校	1	13			1	1	0	0	2	14			2	14	100.0	0.0	92.9	7.1
大野小学校			1	2	2	2	0	0	2	2	1	2	3	4	50.0	50.0	50.0	50.0
秋鹿小学校			1	2	6	6	0	0	6	6	1	2	7	8	75.0	25.0	25.0	75.0
鹿島東小学校			1	9	7	10	0	0	7	10	1	9	8	19	52.6	47.4	47.4	52.6
恵曇小学校			1	6	1	8	0	0	1	8	1	6	2	14	57.1	42.9	42.9	57.1
佐太小学校			1	6	2	7	1	1	2	7	2	7	4	14	50.0	50.0	42.9	57.1
島根小学校	2	25			2	2	0	0	4	27			4	27	100.0	0.0	92.6	7.4
美保関小学校	2	26			2	2	0	0	4	28			4	28	100.0	0.0	92.9	7.1
八雲小学校	3	30	1	12	8	12	3	3	11	42	4	15	15	57	73.7	26.3	73.7	26.3
玉湯小学校	2	18	1	15	9	13	1	1	11	31	2	16	13	47	66.0	34.0	70.2	29.8
大谷小学校			1	3	0	0	0	0			1	3	1	3	0.0	100.0	100.0	0.0
宍道小学校			1	60	2	3	0	0	2	3	1	60	3	63	4.8	95.2	95.2	4.8
来待小学校			1	17	2	2	0	0	2	2	1	17	3	19	10.5	89.5	89.5	10.5
八束小学校	2	25			0	0	0	0	2	25			2	25	100.0	0.0	100.0	0.0
意東小学校	1	21	1	12	1	1	0	0	2	22	1	12	3	34	64.7	35.3	97.1	2.9
揖屋小学校	1	28	1	17	2	7	0	0	3	35	1	17	4	52	67.3	32.7	86.5	13.5
出雲郷小学校	2	46	1	21	0	0	2	2	2	46	3	23	5	69	66.7	33.3	97.1	2.9
平均	2.4	22.3	1.2	17.9	7.2	15.6	1.7	5.2	9.2	31.7	3.1	22.6	11.6	50.7	62.7	37.3	61.1	38.9

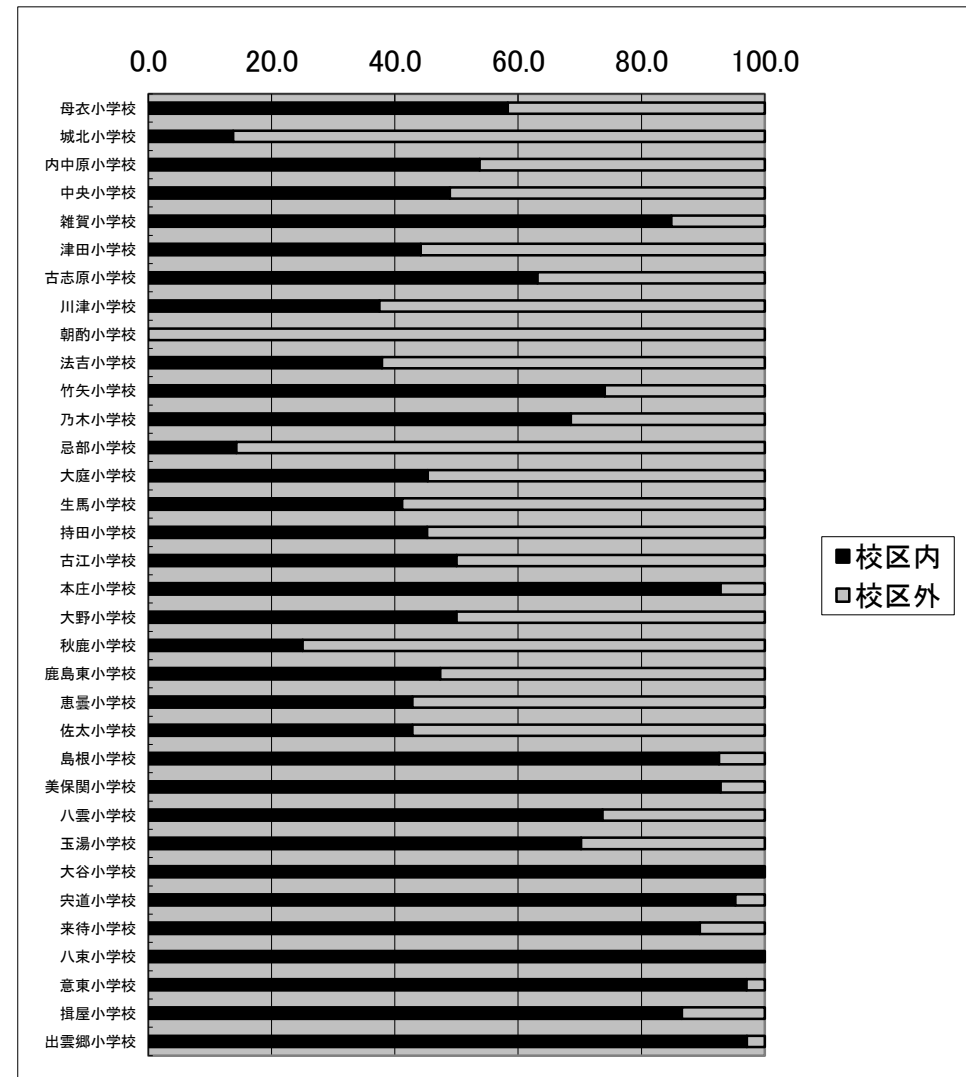
平成24年度小学校就学予定児童の就学前状況

第2回検討委員会資料

○各小学校の就学前所属状況（保育所・幼稚園）



○各小学校の就学前所属園（所）の校区内外状況



特別保育事業実態報告

一時保育

		H19	H20	H21	H22	H23（見込）
公立	実施箇所数	4	4	4	4	5
	実施率	28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	29.4%
	年間延利用児童数	236	230	289	666	1,600
	1所当り平均利用児童数	59	58	72	167	320
	1所1日当り平均利用児童数	0.2	0.2	0.2	0.6	1.1
私立	実施箇所数	29	31	31	32	35
	実施率	80.6%	77.5%	75.6%	71.1%	72.9%
	年間延利用児童数	31,164	30,697	23,439	22,174	21,043
	1所当り平均利用児童数	1,075	990	756	693	601
	1所1日当り平均利用児童数	3.7	3.4	2.6	2.4	2.1
合計	実施箇所数	33	35	35	36	40
	実施率	66.0%	64.8%	63.6%	61.0%	61.5%
	年間延利用児童数	31,400	30,927	23,728	22,840	22,643
	1所当り平均利用児童数	952	884	678	634	566
	1所1日当り平均利用児童数	3.2	3.0	2.3	2.2	1.9

※年間延利用児童数・・・4時間未満利用児童は2人で1人と算定（国基準）

平日＝293日

特定保育

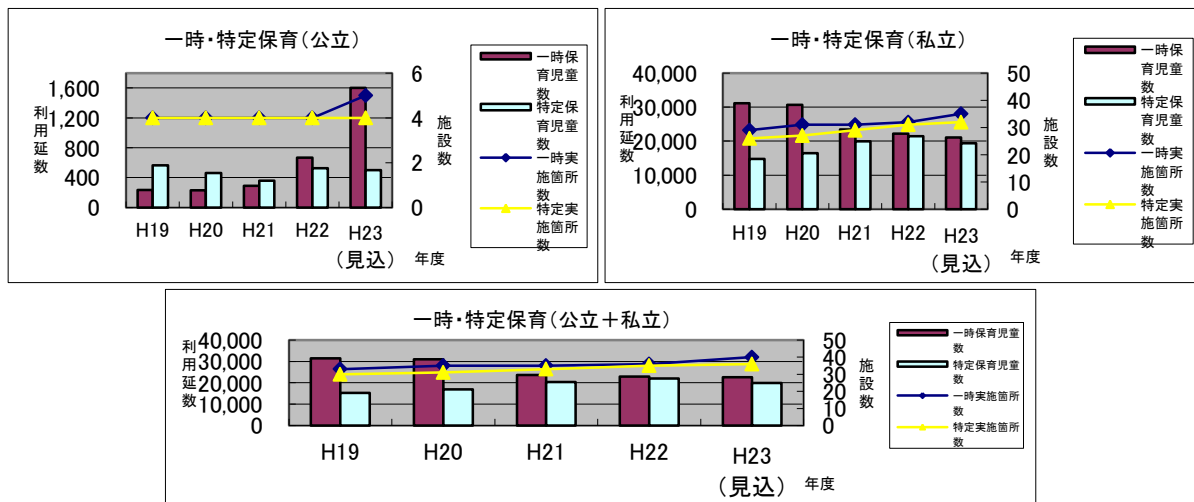
		H19	H20	H21	H22	H23（見込）
公立	実施箇所数	4	4	4	4	4
	実施率	28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	23.5%
	年間延利用児童数	563	462	358	525	500
	1所当り平均利用児童数	141	116	90	131	125
	1所1日当り平均利用児童数	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4
私立	実施箇所数	26	27	29	31	32
	実施率	72.2%	67.5%	70.7%	68.9%	66.7%
	年間延利用児童数	14,752	16,489	19,945	21,455	19,354
	1所当り平均利用児童数	567	611	688	692	605
	1所1日当り平均利用児童数	1.9	2.1	2.3	2.4	2.1
合計	実施箇所数	30	31	33	35	36
	実施率	60.0%	57.4%	60.0%	59.3%	55.4%
	年間延利用児童数	15,315	16,951	20,303	21,980	19,854
	1所当り平均利用児童数	511	547	615	628	552
	1所1日当り平均利用児童数	1.7	1.9	2.1	2.1	1.9

※年間延利用児童数・・・4時間未満利用児童は2人で1人と算定（国基準）

平日＝293日

《分析結果》 ①一時・特定保育の年間利用児童数は徐々に減少。新規開園保育所の増加に伴い、待機児童の一時預かりの割合が減少したことも要因の一つと推測される。
 ②待機児童解消のための利用目的は徐々に薄れくると予想されるので、本来の目的での利用割合に注目。

《課題》 今後は、地域による利便性と保護者の利用頻度を分析し、未実施地域での実施を検討。
 ※H24年度実施予定 八束町 未実施地域 鹿島町



延長保育

			H19	H20	H21	H22	H23（見込）
公立	実施箇所数	1H	14	14	14	14	17
	土曜延長実施箇所数		0	0	0	0	東出雲 3
	年間延利用児童数		8,169	11,179	8,658	9,442	12,000
	1所当り平均年間延利用児童数		584	799	618	674	706
	1所1日当り平均利用児童数		2.4	3.3	2.6	2.8	2.8
私立	1週間平均延長児童数（1H） ※1週間の最大値の平均		54	71	57	61	70
	実施箇所数	1H	26	28	29	30	31
		2H	6	7	7	9	11
		3H	2	3	3	4	5
		4H以上	2	2	2	2	1
	実施箇所数合計		36	40	41	45	48
	土曜延長実施箇所数		17	21	21	24	26
	年間延利用児童数		60,647	58,699	62,340	63,950	68,000
	1所当り平均年間延利用児童数		1,685	1,467	1,520	1,421	1,417
	1所1日当り平均利用児童数		6.3	5.5	5.7	5.3	5.3
	1週間平均延長児童数（2H以上） ※1週間の最大値の平均		351	377	369	371	381
合計	1週間平均延長児童数（2H以上） ※1週間の最大値の平均		54	63	59	71	76
	実施箇所数	1H	40	42	43	44	48
		2H	6	7	7	9	11
		3H	2	3	3	4	5
		4H以上	2	2	2	2	1
	実施箇所数合計		50	54	55	59	65
	土曜延長実施箇所数		17	21	21	24	29
	年間延利用児童数		68,816	69,878	70,998	73,392	80,000
	1所当り平均年間延利用児童数		1,376	1,294	1,291	1,244	1,231
	1所1日当り平均利用児童数		5.2	4.8	4.8	4.7	4.6
	1週間平均延長児童数（1H） ※1週間の最大値の平均		405	448	426	432	451
	1週間平均延長児童数（2H以上） ※1週間の最大値の平均		54	63	59	71	76
	長時間延長の割合		11.8%	12.3%	12.2%	14.1%	14.4%

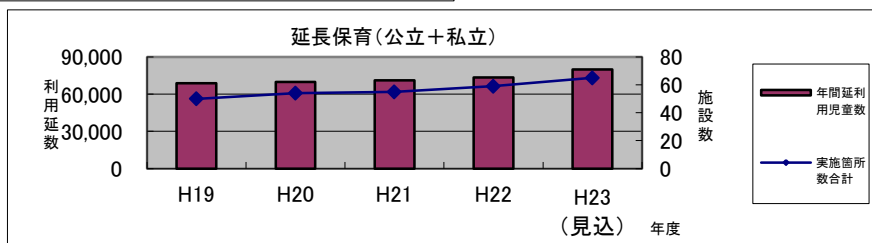
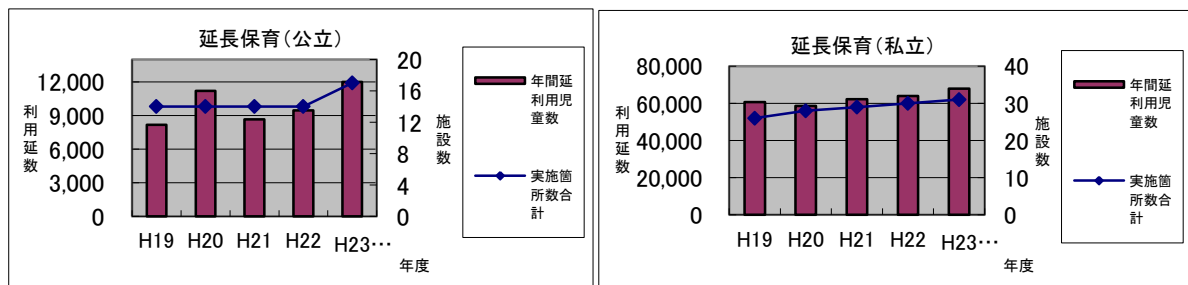
※公立H19～22＝241日 公立H23見込＝254日 私立＝267日

《分析結果》 延長保育の年間利用者数は、施設の増加に伴い上昇。1所当り平均利用児童数はほぼ横ばいであるが、2時間以上の長時間延長の比率が徐々に伸びてきている。

《課題》 今後は、長時間保育や土曜延長の保護者の期待値を明確にして、実施施設の増を検討。

○土曜日利用数の増減について（2年以上の実績がある施設）

実施期間	1年未満	2年目	3年目	4年目	5年目以上	合計	比率
増加している		3	0	2	4	9	32%
減少している		0	0	1	5	6	21%
ほぼ変化なし		0	1	1	10	12	43%
年度により異なる		0	0	0	1	1	4%



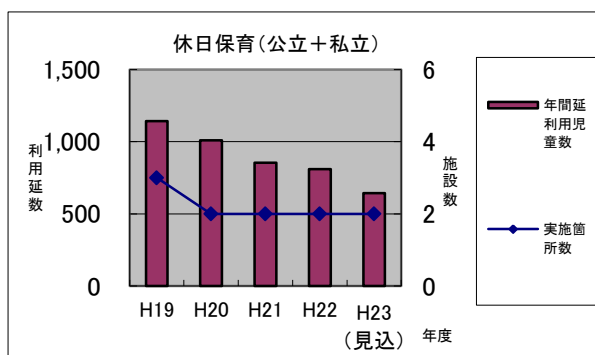
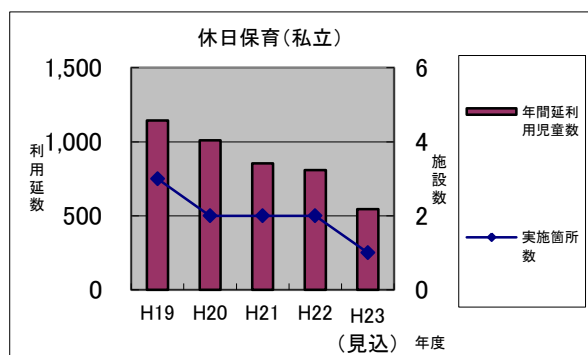
休日保育

		H19	H20	H21	H22	H23（見込）
公立	実施箇所数	0	0	0	0	東出雲 1
	実施率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%
	年間延利用児童数	0	0	0	0	100
	1所1日当り平均利用児童数					1.5
私立	実施箇所数	3	2	2	2	1
	実施率	8.3%	5.0%	4.9%	4.4%	2.1%
	年間延利用児童数	1,143	1,009	854	809	544
	1所当り平均利用児童数	381	505	427	405	544
	1所1日当り平均利用児童数	5.8	7.6	6.5	6.1	8.2
合計	実施箇所数	3	2	2	2	2
	実施率	6.0%	3.7%	3.6%	3.4%	3.1%
	年間延利用児童数	1,143	1,009	854	809	644
	1所当り平均利用児童数	381	505	427	405	322
	1所1日当り平均利用児童数	5.8	7.6	6.5	6.1	4.9

休日＝66日

《分析結果》 合併に伴い公立1所増加となったが、年間利用児童数は年々減少傾向にある。

《課題》 休日保育の保護者ニーズがある限り、継続実施が理想であるが、このまま減少傾向が続いた場合の公立保育所の実施箇所も含めて検討が必要。公立実施保育所 東出雲町→市内中心部の保育所へ
※H24年度私立保育所1所実施増予定



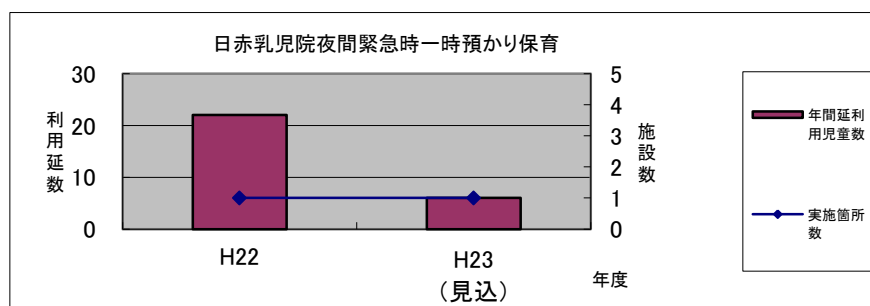
夜間緊急時一時預かり保育

		H19	H20	H21	H22	H23（見込）
日赤乳児院	実施箇所数				1	1
	新規登録者数				44	16
	年間延利用児童数				22	6

※H22.8から事業開始

《分析結果》 利用実績、新規登録ともに低迷。

《課題》 預かりの年齢制限、条件等現状のままでよいのか検討が必要。



病児・病後児保育

		H19	H20	H21	H22	H23（見込）
市立病院	実施箇所数	1	1	1	1	1
	年間延利用児童数	277	238	406	698	769
	1所1日当たり平均利用児童数	0.9	0.8	1.4	2.4	2.6
つわぶき 比津が丘 日赤乳児院	実施箇所数	3	3	3	3	3
	年間延利用児童数	1,191	1,246	1,438	2,898	3,129
	1所当り平均利用児童数	397	415	479	966	1,043
	1所1日当たり平均利用児童数	1.4	1.4	1.6	3.3	3.6
合計	実施箇所数	4	4	4	4	4
	年間延利用児童数	1,468	1,484	1,844	3,596	3,898
	1所当り平均利用児童数	367	371	461	899	975
	1所1日当たり平均利用児童数	1.3	1.3	1.6	3.1	3.3

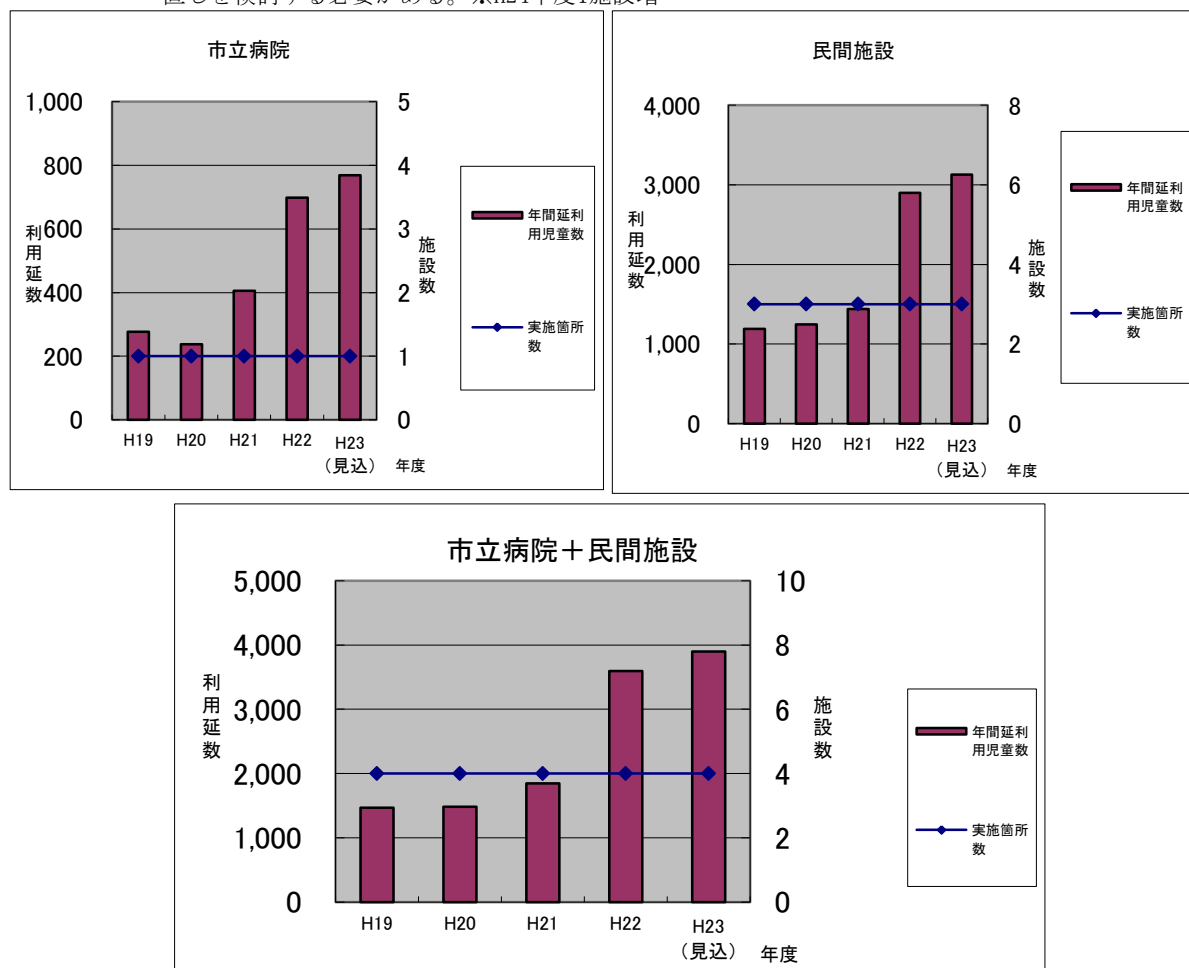
平日＝293日

※H21.8から利用料を半額に（2,000円→1,000円）

※H22から定員制を廃止し、職員数に応じて受入人数を拡充（1施設4人～10人程度）

《分析結果》 事業が市民の間で定着したことで、利用負担の軽減から利用者数は徐々に増加傾向にある。

《課題》 利用状況の推移を見守り、その都度利用ニーズに対処できるようにする。
 受入人数以上の需要が発生し、利用できなかった事例があることから、施設の増設や職員数の見直しを検討する必要がある。※H24年度1施設増



平成19年2月【報告書】で示された方向性とその実施状況

第2回検討委員会資料

	幼稚園・保育所	平成19年2月【報告書】で示された方向性	検討状況	内容・補足	H18.5.1		H24.1.1		比較	建築年	耐震補強
					3歳	園児数	3歳	園児数			
1	大野幼稚園	昭和51年から57年にかけて建設され、施設整備の緊急性は比較的低い。 しかし、それぞれの幼稚園とも園児数が少数で推移しており、将来大きく増加する見込みは小さい。 従って、幼稚園の統合を視野に入れ、幼保園として整備することが望ましい。	未検討		○	16	○	5	↘	S55	
	秋鹿幼稚園				○	18	○	8	↘	S57	
	古江幼稚園					37	○	28	↘	S51,H3	
2	城北幼稚園	昭和46年3月の建設で老朽化し、改築の必要がある。 一方、園児数は平成15年度の約150人が18年度に78人まで減少しているが、特別支援教育のサテライト園として重要な役割を担っている。 この地域には複数の私立保育所があるが、常に待機児童がいる状態であるため、近隣の状況を考慮しながら 幼保園として整備することが望ましい。	未検討	・平成25年度耐震改修工事予定 ・地区内の保育所・・・1所、133人(110人定員)		77	○	104	→	S46	必要
3	内中原幼稚園	昭和46年から48年にかけて建築され、老朽化により施設整備の必要がある。 それぞれの幼稚園とも園児数が比較的多く、当面は極端に園児数が少なくなる可能性は低い。 従って、老朽化による施設整備を検討する必要があるが、基本的には幼保園として整備することが望ましい。	検討中	・平成26年度、幼保園整備予定	○	124	○	116	→	S48	
	末次保育所		未検討	・平成20年度、大規模改造 ・平成23年度、耐震改修工事実施	△	131	△	137	→	S50	
	生馬幼稚園				○	81	○	32	↘	S47	
	津田幼稚園				○	143	○	101	↘	S46, H9	済
	大庭幼稚園				○	87	○	48	↘	S47	
4	川津幼稚園	すべての施設が昭和53年以降に建設され、施設整備の緊急性が低い。 当面現状で継続することとし、施設で受け入れている園児数や近隣の状況変化に応じて対応することが望ましい。	現状維持			110	○	87	↘	H3,4,13	
	持田幼稚園					30	○	21	↘	S62	
	朝酌幼稚園				○	29	○	14	↘	S62	
	古志原幼稚園				○	115	○	79	↘	S55,H1	
	竹矢幼稚園				○	64	○	37	↘	S59	
	忌部幼稚園				○	18	○	19	→	S53	
5	母衣幼稚園	母衣と中央幼稚園は特別支援教育の拠点園として今後とも中心的な役割を担うこととなる。 幼保園のぎは平成17年3月に幼保一元化のモデル園として整備されたところである。 本庄幼稚園は平成20年3月完成を目に小学校に合築する形態で建築中である。 また、雑賀幼稚園は昨年度に耐震改修などを行っている。 従って、これらの5幼稚園については当面現状の施設形態として継続することが望ましい。	継続中			81	○	67	↘	H18	
	本庄幼稚園			平成21年度小学校と統合建設		15	○	4	↘	H20	
	中央幼稚園				○	48		22	↘	H7	
	雑賀幼稚園			・平成17年度、大規模改造		37	○	56	→	S51	
	幼保園のぎ				○	224	○	206	→	H17	
6	講武幼稚園	地域の3つの幼稚園は、昭和55年以降に建設されているが、施設は老朽化している。 それぞれの園は、いずれも定員割れが生じ、園児数は今後も減少する傾向にある。 従って、幼稚園を統合し、幼保園として整備することが望ましい。なお、検討にあたっては御津、恵曇両保育所の動向を踏まえられたい。	未検討		○	29	○	50	↗	S57,H12	
	佐太幼稚園				○	36	○	27	→	S55,H12	必要
	恵曇幼稚園				○	21	○	11	↘	S56	
	御津保育所				△	49	△	60	→	S64	
	恵曇保育所				△	77	△	83	→	S62	
7	マリン保育所	平成9年、16年に2つの保育所が整備され、保育所の待機児童はほとんどない。 従って、当面現状の保育所として継続することが望ましい。	現状維持	指定管理者導入	△	65	△	70	→	H16	
	野波保育所			指定管理者導入	△	56	△	54	→	H9	
8	美保関東保育所	平成12年、16年に2つの保育所が整備され、保育所の待機児童はほとんどない。 従って、当面現状の保育所として継続することが望ましい。	現状維持	平成24年度指定管理者導入予定	△	72	△	81	→	H16	
	美保関西保育所			平成24年度指定管理者導入予定	△	67	△	62	→	H12	
9	八雲幼稚園	八雲幼稚園は昭和61年に建設されているが、施設が老朽化している。 また、八雲保育園の5歳児は幼稚園に通園し、幼稚園児と交流を深めている。 このように、すでに幼稚園と保育園の交流という下地もあるため、幼保園として整備することが望ましい。	未検討	引き続き、交流保育実施中	○	52	○	30	↘	S61	
	八雲保育園				△	87	△	90	→	S51	
10	玉湯幼稚園	昭和35年、47年に2つの幼稚園が整備されている。 大谷幼稚園は園児数が極端に少ない状況にあるため、玉湯幼稚園と統合し、幼保園として整備することが望ましい。	未検討		○	53	○	57	→	S47,49	必要
	大谷幼稚園				○	9	○	8	→	S35,38 45,52	

平成19年2月【報告書】で示された方向性とその実施状況

第2回検討委員会資料

	幼稚園・保育所	平成19年2月【報告書】で示された方向性	検討状況	内容・補足	H18.5.1		H24.1.1		比較	建築年	耐震補強
					3歳	園児数	3歳	園児数			
11	宍道幼稚園	市町村合併前から幼保園の整備計画があり、平成16年からは「幼稚園における幼稚園児及び保育所児等の合同事業特区」と「幼稚園と保育所の保育室教養化事業特区」が認可され、宍道保育所の3,4,5歳の保育園児は宍道幼稚園に通園し、幼保連携が進んでいる。 また、宍道、来待幼稚園、宍道保育所とも施設の老朽化が著しい。 従って、これらの施設を統合し、幼保園として整備することが望ましい。	実施済	平成23年度しんじ幼保園開園	○	76	○	—		—	
	来待幼稚園				○	52	○	—		—	
	宍道保育所				/	138	/	—		—	
	しんじ幼保園						○	282	→	H23	
12	二葉保育所	昭和50年、51年に2つの保育所が整備されているが、いずれも老朽化している。 江島保育所は小規模園となっており、今後も地域の児童数が減少することが予想されるため、 統合保育所として整備することが望ましい。	実施中	平成24年度やつか保育園開園予定	/	94	/	117	↗	S50	
	江島保育所				/	21	/	23	→	S51	

事業	平成19年2月【報告書】で示された方向性	現在の状況・検討状況
3歳児保育の充実	全幼稚園で実施し、園児の状況を見ながら教育時間を適切に定めるよう努め、最終的には降園時間を午後2時とすることが望ましい。	・平24年度から、3歳児保育全園実施予定 ・3歳児の降園時間 午後1時半 (時間延長については、検討中)
特別支援教育の充実	発達障害児への対応を含め、特別な支援が必要な園児に対して引き続き支援を行うことが望ましい。	・特別幼児教室設置園 6園
預かり保育の充実	実施箇所数を増やし、保護者が利用しやすい延長時間を設定していくことが望ましい。	・預かり保育実施園 11園 H23利用者 55人
一時預かり保育の充実	保護者一人当たりの実施回数を増やすことが望ましい。	・一時預かり保育 月10回まで 1回 300円(3時間) ※一部の園のみ、夏季休業中も一時預かりを実施(8時間:300円) ※実施機関の統一と金額の見直しを検討中 【参考】一時保育 3歳以上児 4時間まで 650円(市外700円) 4時間以上 1,300円(市外1,400円) 3歳未満児 4時間まで 800円(市外850円) 4時間以上 1,600円(市外1,700円)
地域との一層の連携	世代間交流や異年齢時交流を進め、また保護者からの相談に対応するなど、家庭や地域の教育力向上のための活動をさらに推進することが望ましい。	各園で実施中

「保幼小中連携」について

松江市教育委員会（小中一貫教育推進課）平成24年1月

1. 取組の背景

- ①小中一貫教育の充実を図るためには、その土台となる子育て期との連携が重要。
- ②子育て期の幼児、保護者の生活環境の多様化、孤立化、不安定化。[資料1](#)
- ③小1プロブレム（小学校の集団生活や学習等にうまく適応できない問題）や特別な支援を必要とする子どもたちの増加等。[資料2](#)
- ④これまでも保幼小連携の様々な取組が行われてきたが、1つの小学校へ多数の保幼から入学する状況があり、連携がとりにくくなっている。[資料3](#)
- ⑤改正学校教育法に基づき、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「小学校学習指導要領」において『幼小接続に関して相互に留意する』旨が明記されている。[資料4](#)
- ⑥行政担当が教育委員会（小中学校）、健康福祉部（保育所・幼稚園）等と分かれているが、連携して取り組む必要がある。

2. 主な取組について

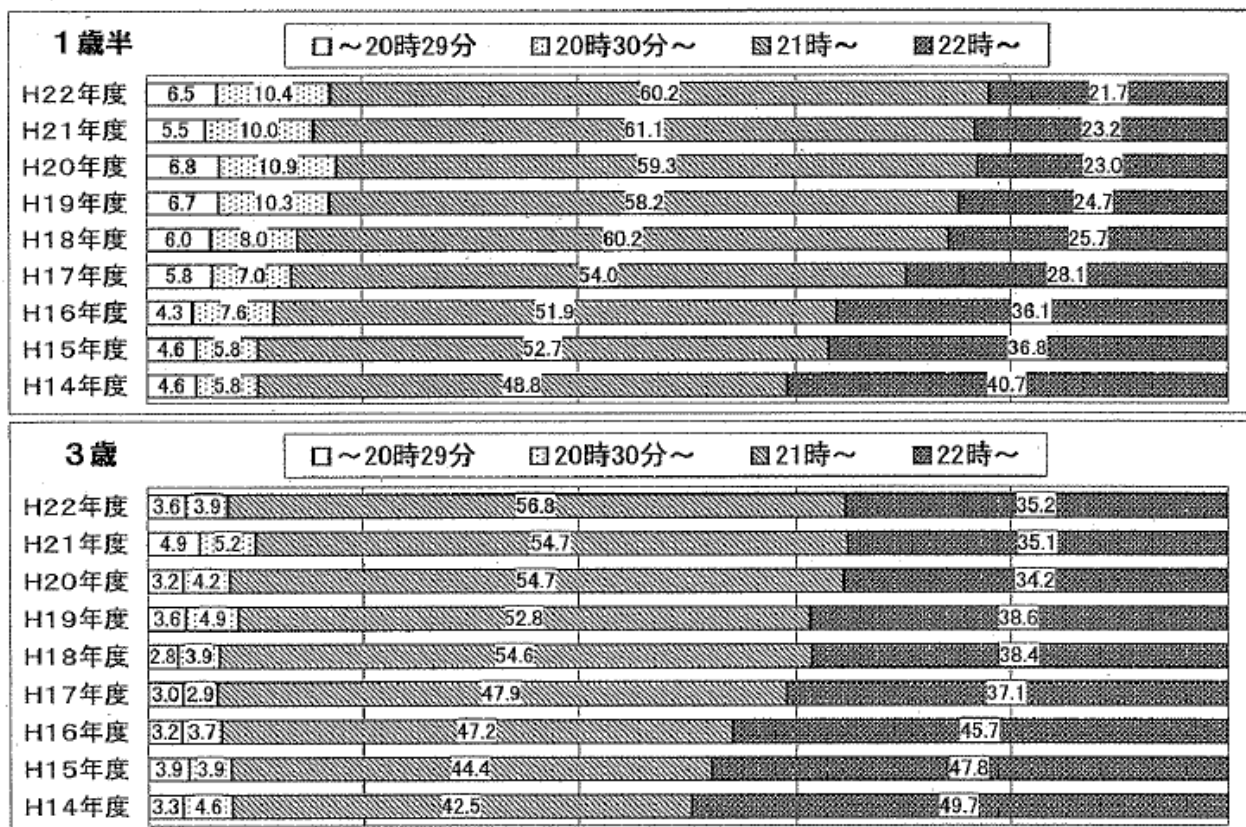
- (1) 関係課・機関で構成する「松江市保幼小中連携推進部会」を設置（H23年11月）
 - ・教育委員会に設置する「学校教育改革推進委員会」の専門部会として設置。
 - ・幼児期と小中学校の連携・接続に係る諸課題や改善策を協議し、具体的な方策等を関係機関が連携して進め、保幼小中の円滑な接続と子どもたちの健やかな成長を図る。
 - (2) 当面の取組等（上記事務局会から）
 - ①各小学校担当者（保幼小連携関係）の確認
 - 関係課・保幼等関係機関と連絡等をしやすくするため（後日、文書で依頼）
 - ②保幼から小への情報共有について
 - 「幼稚園幼児指導要録」と「保育所児童保育要録」について
 - 記入・活用に係る保育所・幼稚園担当者研修会の実施 1/27（子育て課）
 - 上記以外の資料や情報共有の方法等について
 - 2月小中生徒指導担当者連絡会等で検討・協議（学校教育課生徒指導係）
 - 特別支援教育の視点から「保幼から小への個別の教育移行支援」について（エスコ）
 - 乳幼児健診等も参考に、保護者と保幼と小学校が連携して個別支援の情報共有を図る。
 - ③保護者との連携
 - 各小学校入学説明会、一日入学等の活用
 - 今年度については、各学校からの依頼等可能な範囲で。例えば、メディア対策パンフ啓発（学校教育課）など
 - 保護者への啓発
 - 「小中一貫教育保護者用啓発パンフ」を、今年度に準じて、4月当初小学校入学時に全保護者に配布予定（小中一貫教育推進課）
- ※取組等について説明 →小中校長会 1/11.12、幼稚園長会 1/13、保育所長会 1/19

資料No. 1

松江市 乳幼児の生活習慣の経年比較(健診から)

2011. 12. 27 小中一貫教育推進課

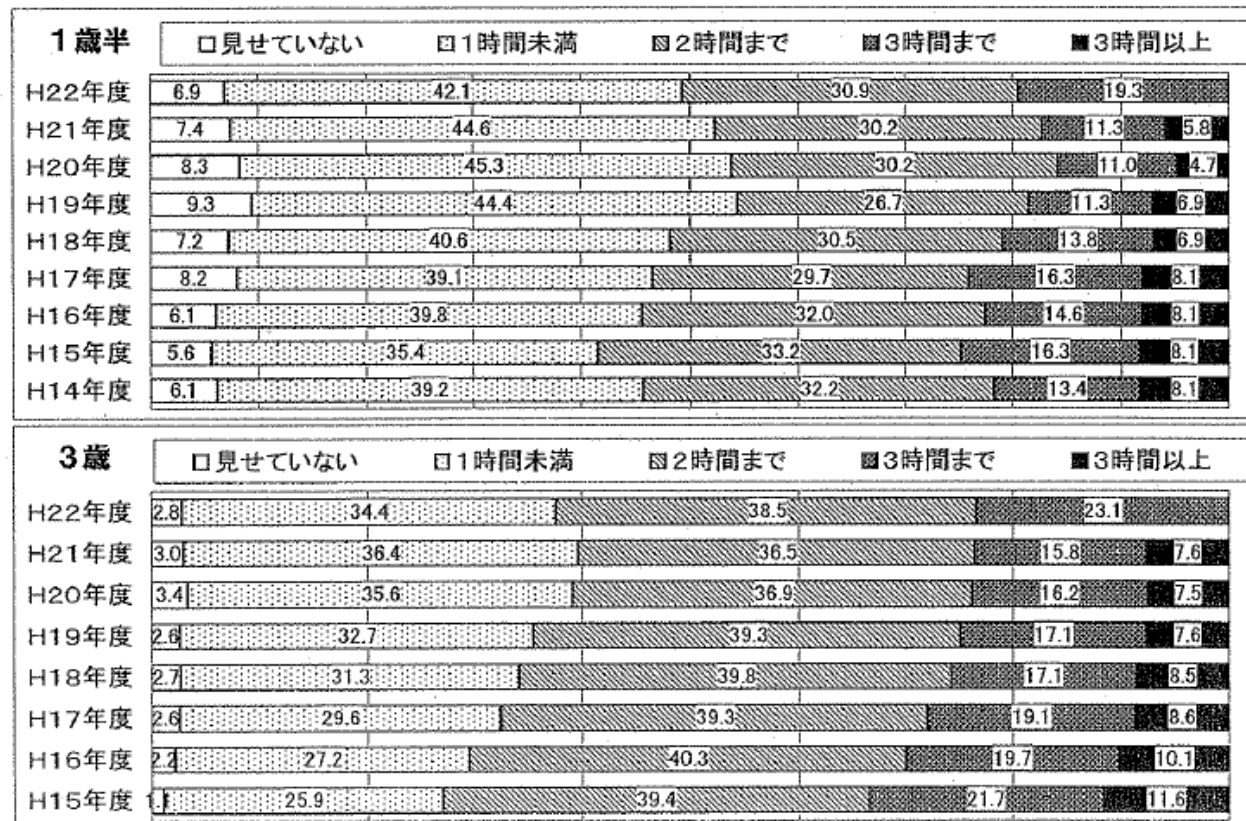
■ 就寝時間



※参考「就寝時間」 出雲市 H22年度 3歳児 22時~ 28.0%
 米子市 H21年度 1歳半 22時~ 6.5%
 鳥取市 H21年度 3歳児 22時~ 46.0%
 ベネッセ調査 首都圏 H22年度 1~6歳 22時~ 23.8%

■ 普段、1日にテレビを見る時間

※H22年度は「3時間まで」「3時間以上」は「2時間以上」で集約



保・幼・小の連携について（平成23年10月アンケート調査）概要

小中一貫教育推進課

○調査対象：松江市立小学校の34校（東出雲町の3小学校含む、分校除く）

○調査時期：平成23年10月 ○学級内のおよその人数は、複数クラスある場合は平均を記入。

（1）今年度（平成23年度）の「小学校1年生」の状況について

※昨年度調査（32校）

① 現任校では「小1プロブレム」を感じますか。	ア、ある 9/16	イ、ない 25/16
② 基本的な生活習慣（あいさつ、睡眠、食事、排便、洗顔、手洗い、着替え、整理整頓など）について ◇子どもたちに身につけていないと感じることが ・気にかかる子どもは、学級に、約（3.5人程度）	ア、ある 28/30	イ、ない 6/2
③ 担任や学級の友達の話を読んで最後まで聞くことについて ◇子どもたちに身につけていないと感じることが ・気にかかる子どもは、学級に、約（3.0人程度）	ア、ある 26/27	イ、ない 8/5
④ 授業中の態度について ◇授業中に立ち歩く子どもが ・気にかかる子どもは、学級に、約（0.4人程度） ◇授業中に教室を出る子どもが ・気にかかる子どもは、学級に、約（0.1人程度） ◇集団活動ができない子どもが ・気にかかる子どもは、学級に、約（0.7人程度）	ア、いる 9/12 ア、いる 5/8 ア、いる 15/12	イ、いない 25/20 イ、いない 29/24 イ、いない 19/20
⑤ 友達との関わり（気持ちをことばで伝える、友達の気持ちも考えようとするなど）について ◇友達とうまく関わることができにくい子どもが ・気にかかる子どもは、学級に、約（1.5人程度）	ア、いる 22/23	イ、いない 12/9
⑥ 1年生保護者の授業公開日への参加について参加者数は平均して、学級の ア、ほぼ全員（18）/8	イ、2/3以上（16）/12	ウ、半数以上（0）/2
⑦ 1年生保護者の学級懇談会・説明等への参加について参加者数は平均して、学級の ア、ほぼ全員（3）/5	イ、2/3以上（6）/9	ウ、半数以上（11）/6
⑧ ①～⑦全般で、その他気になること、以前と比べて感じていること など＜自由記述＞	別紙にまとめ	

（2）保・幼・小の連携について

① 入学前に、保育所や幼稚園と「子どもの様子」についての情報交換の機会を設けている	18校/23 1回 /年回数 12校/8 2回 /年回数 4校/3回以上 /年回数 0校 /していない
② 保育所や幼稚園と、「保育」や「教育」に関わる情報交換や共通理解等を図る機会を設けている	12校/12 1回 /年回数 14校/15 2回 /年回数 5校/3回以上 /年回数 3校/2 /していない
③ 入学前に、就学前の子ども向けの一泊入学を行っている	23校/22 1回 /年回数 0校/02回以上 /年回数 11校/10 /していない
④ 入学前に、保護者向けの説明会（小学校でのくらしや学習についての説明等）を行っている	34校/32 1回 /年回数 0校/02回以上 /年回数 0校/0 /していない
⑤ 保育所や幼稚園の幼児と小学生の交流活動などを行っている	12校/15 1回 /年回数 7校/4 2回 /年回数 11校/13回以上 /年回数 3校/2 /していない
⑥ 保育士や幼稚園教員との授業や活動の合同研究会を行っている	5校/6 1回 /年回数 7校/62回以上 /年回数 22校/19 /していない
⑦ その他、保・幼及び保護者との連携に関して取り組んでいることや課題 など＜自由記述＞別紙にまとめ	

保育所・幼稚園から「保幼小中連携」についての要望や意見(平成23年11月学校教育課集約)から

保育所(園)から

□連絡会の開催、連携の在り方

- ・市内でも保幼小連絡会の回数が、小学校によって違うようです(事前に懇談のある所、ない所)が、どの小学校にも必要なことなのではないでしょうか。
- ・定期的に保幼小の連絡会を開催し、継続的に情報交換ができると良いと思います
- ・保・幼・小連絡会の回数を増やすか、各園の時間を増やしていただきたい。
- ・保育園と小学校の相互の相談、子どもの様子の連絡など電話等で気軽にできるようなシステムを作りたい。
- ・気になる子どもについて、相談をしたらすぐに対応して頂いて良かった。
- ・今後も保・幼・小・中と交流活動を継続していくように情報をつなげていくようにする。
- ・低学年の先生方と普段から気軽に子どもの様子を見てもらったり話したりする機会がもてると思う。

□保育所に実際に来て欲しい

- ・小・中学校の先生方にも、まず保育所に来ていただいて、0歳児からの育ちをみていただく。
- ・小・保連絡会を行っているが、2月の連絡会は保育所に来て頂き、保育所の様子も見てもらい、その中で気にかかる子どもについて丁寧に伝えたい。＜現在は小学校へ就学前児担任と所長が出かけ連絡会を持っている＞
- ・入学するまでに、保育園に集団生活の様子を直接見に来てほしいと思います。保育要録を送ったり、気になる子に関しては学校にうかがい、直接お話を聞いていますが、やはり実際の様子も知っていただけた方が、少しでも小学校生活がスムーズに過ごせるようご配慮いただけるのではないかと思います。
- ・保育園の集団生活の姿や、保育園で育ちを願う思いや具体的な内容、個々への関わり等を是非、学校から見に来ていただきたい。情報交換を図り、義務教育へと繋げていくことを願っている。
- ・校区内の特別支援コーディネーターとの連携を円滑にできるようにできないものか？

□保育要録・小学校への提出書類について

- ・保育要録に重ねて、学校別に異なる形式の個別チェック表(個人票)を入学前に送っていますが、どうして学校によって様式が違うのでしょうか。小学校によって必要な情報が違うのでしょうか。統一されてもよいと思う。
- ・要録について ①指導を受けてかなりの時間を費やして記入しているが、学校でどの位活用されているか？
②子どものプラス面の記入でストレートに書けないが、姿が伝わっているか？
③提出日について…3/31提出だが、保育も31日までである。4月初めの提出ではどうか
- ・各小学校へ提出した保育要録が、現場でどのように活かされているか、小学校の先生方の声を聞きたい
- ・保育要録について、どのように活用していただいているのか、具体的に教えていただきたい。
- ・①学級編制・②配慮の必要な子どもの個別情報(連絡会にて)・要録と、1人の子どもについて、何度も書類を書いている。かなり前から取り組んだり、職員の応援体制を工夫したりしているが、重なる内容が多いことから、①と②の書類をまとめる等できないだろうか
- ・就学前に子どもの様子を知らせる連絡会があったり、記入欄に書いて提出したりしているが、伝わっていないことが多いので、スムーズに伝わるようにしてほしいです。

□子どもの交流・体験について

- ・子ども達は、就学前健診で、11月頃に入学する小学校に行くようですが、それ以外にも、学習発表会や授業の様子を「見学」という形で見せていただける機会があれば良いと思います
- ・もう少し交流会の回数を増やして頂けたらと思います。
- ・年間計画を立て、交流する機会を増やしていけたらと思う。
- ・保幼小合同研修の時期が夏に集中しており、参加できにくい時がありました。年度はじめに、ある程度の予定がわかると計画的に参加できるのではと思います。
- ・当園は昨年開園したためなのか、年度末に就学予定者がある小学校へ出かける機会がなかった(他の保育園には案内があったとのこと)。今後、子ども達にもそのような機会を与えていただきたい。

□その他

- ・学校の先生や、教育委員会の方に実際に来所していただき、子どもの様子を見てもらったり、直接お話を聞いていただくと良いです。
- ・現状が聞け、それに対する支援の仕方が得られるような研修をしていただくと良いです。
- ・先日、幼稚園で、市の教育研究大会の公開授業があり、小学校の方からも校長先生をはじめ、たくさんの先生達が来られていましたが、このような機会は大変重要であると思いました。このような大がかりな研究大会ではなくても、例えば、松江市保育研究会でも5年に1度、加盟園が公開保育をします。そのような機会に保育関係者だけではなく、小学校からも先生方に見に来ていただくと互いの理解が深まるように思います。私ども、保育園の側からも地元の先生たちに保育園行事等へご案内をすべきかなと思っています。お互いのハードルを低くして、保育園・幼稚園・小学校・中学校が一人一人の子どもの成長を長期間にわたって見守り、支援することができると良いかと思っています。

幼稚園から

□連絡会の開催、連携の在り方

- ・互いに時間の取りにくい状況ですが、幼・小の職員交流の時間がもてたらよいと思っています。
- ・小学校の先生方が細やかに足を運んでくださり、職員同士とてもよい連携をすることができることをうれしく思っている。
- ・松江市の小学校では、市立幼稚園との交流を多くとっておられます。しかし、松江市内には、私立幼稚園、保育園が多くあります。地域性もあるかもしれませんが、実際に小学校と交流、小学校への見学にでかけたくても、どこに依頼すればよいのかわかりません。小学校の対応もまちまちです。今回の研修の校区のように、何かあると、連絡も取りやすい。
- ・校区外の小学校と連絡がとりにくい。

□子どもの交流・体験について

- ・交流体験で同じ活動を進める場合、幼稚園の場でそのような機会がもてることを希望したい。
- ・小学校のお兄さんお姉さんがどんな風に学校生活を送っているか、身近で実際に見ることで、憧れの気持ちや学校生活に見通しを持つことができる。
- ・給食試食会を学期に一回設けてほしい。

□保護者への対応

- ・保護者の立場から、年長になって初めて就学する小学校について情報が入りがちなので、年少・年中児の保護者向けに、就学すると思われる小学校の情報が何らかの形で伝わると保護者も安心できる。
- ・就学前児保護者が、小学校の生活、様子を参観できる機会、小学校から、家庭での取組を伝える機会を早い時期に取り組んでほしいです。

□幼稚園に実際に来て見てほしい

- ・就学前に幼稚園に来て、小学校の先生が園での子ども達の様子を見ていただくこと(公立幼稚園の場合は、園へ出向いて見ておられると、以前聞いたことがありましたので、私立幼稚園の場合も同じようにして頂きたいと思います。)これは他の保育園でも同様にして頂くと喜びます。

□教職員の連携

- ・小学校と幼保の職員、子どもがお互いを理解するために、交流する機会が多くあるとよいと思っています。
- ・職員の交流研修は有意義な研修でした。
- ・小学校へ行かせていただく幼小連絡会ですが、2学期以降や2年生になってからもあるとよいと思います。

□提出書類について

- ・小学校就学に向けての小学校へ提出する書類を統一していただきたいです。
- ・就学前に各小学校より、入学する子ども達の様子を記入する用紙が届きます。しかし、同じ公立小学校でも支援を要する子どもがいる場合のみ用紙が届き、そうでない場合は、入学する子どもの様子をお伝えする手段のない学校もあります。園としては、同じように、就学する子どもの様子は学校側に伝えたいので、どの小学校でも文書を送っていただけるようお願いいたします。
- ・園児の指導要録を小学校へ送り渡すということですが、何となく曖昧な上、学校によって、必ずというわけでもないところもあり、どう対応していくのか、きちんとした形をお知らせいただきたい。

□今後の保幼小中の一貫した教育

- ・保・幼・小・中の一貫した教育を、見通しをもって行うために、松江市でどのような教育をめざすのか、何を大切にしていかなどのプログラム、構想を立ててほしいです。
- ・校区は、地域を含め保・幼・小・中の職員が一緒に子ども達の育ちを考えていけるような連携が取りやすい環境にあると思われる。職員間でのつながりを大切に、幼児期から中学生までを見通して、お互いの教育について伝え合い理解していけるように努めていくことが大切だと思う。
- ・小中一貫教育が進められ、実践、研究が充実してきているが、やや、保育所・幼稚園との連携が学校教育課の枠外にあるように感じるので、土台とする幼児教育から年齢に応じた教育が進められるよう、今後も協同していきたい。

□見学会・体験について

- ・小学校見学会・体験などの機会についてお知らせいただけると喜びます。就学先が1~2校でなく、多数あるため、橋南の小学校見学のご案内を全ていただけるか、または、ホームページなどであらかじめ予定を知らせていただけるようなことがあったと喜びます。毎年調べて、お願いすることが多いので、教育委員会のホームページなどにまとめていただけると助かります。いかがでしょうか。

□その他

- ・連携を進める時の、支援となる人の配置を望む。
- ・「休み時間にトイレへ行く」など、授業中に立ち歩かない指導の徹底。

(要点) 幼稚園教育要領、保育所保育指針、小学校学習指導要領(抄)

【幼稚園教育要領(平成20年3月)】

第3章指導計画及び教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項

第1 指導計画の作成に当たっての留意事項

2 特に留意する事項

- (5) 幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のため、幼児と児童の交流の機会を設けたり、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会を設けたりするなど、連携を図るようにすること。

【保育所保育指針(平成20年3月)】

第4章保育の計画及び評価

1 保育の計画

(3) 指導計画の作成上、特に留意すべき事項

エ 小学校との連携

- (7) 子どもの生活や発達の一貫性を踏まえ、保育の内容の工夫を図るとともに、就学に向けて、保育所の子どもと小学校の児童との交流、職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るよう配慮すること。

【小学校学習指導要領(平成20年3月)】

(総則)

第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

- (12) 学校がその目的を達成するため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めること。また、小学校間、幼稚園や保育所、中学校及び特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会を設けること。

(生活科)

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

- (3) 国語科、音楽科、図画工作科など他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにすること。特に、第1学年入学当初においては、生活科を中心とした合科的な指導を行うなどの工夫をすること。

(国語科)

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

- (6) 低学年においては、生活科などとの関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにすること。
特に第1学年においては、幼稚園教育における言葉に関する内容などとの関連を考慮すること。

(音楽科)

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

- (4) 低学年においては、生活科などとの関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにすること。
特に第1学年においては、幼稚園教育における表現に関する内容などとの関連を考慮すること。

(図画工作科)

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

- (5) 低学年においては、生活科などとの関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにすること。
特に第1学年においては、幼稚園教育における表現に関する内容などとの関連を考慮すること。

これらを踏まえ、幼稚園、保育所、認定こども園と小学校(各学校・施設。以下同じ。)では、主として、幼児と児童の交流活動や幼小の教職員の意見交換等の取組はある程度行われてきており、「幼稚園と小学校における幼児と児童の交流」の実施率は56%、「教員同士の意見交換等の交流」の実施率は55%となっている(平成20年度「幼児教育実態調査」文部科学省)。

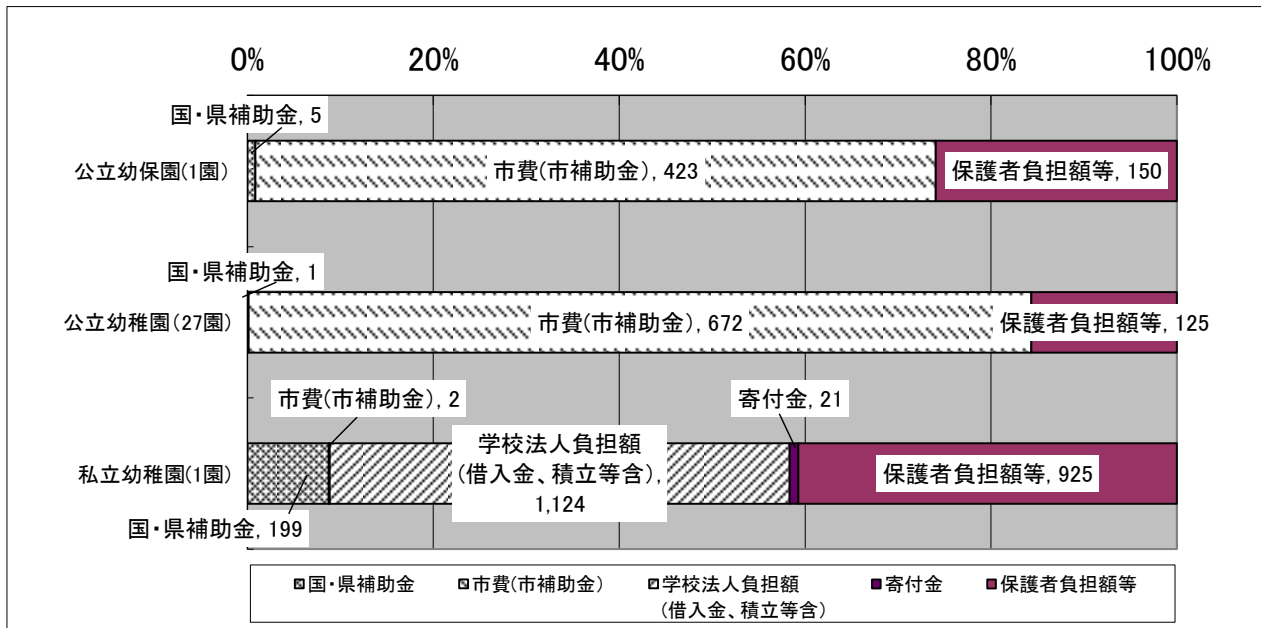
(「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」平成22年11月11日より)

幼稚園・保育所の運営費について

幼稚園児一人当たりの支出額に対する負担割合（H22：年間の平均額）

（千円）

園	支出額	国・県補助金	市費(市補助金)	学校法人負担額 (借入金、積立等含)	寄付金	保護者負担額等	保護者負担への 市補助金
公立幼保園(1園)	578	5	423			150	
公立幼稚園(27園)	798	1	672			125	
私立幼稚園(1園)	2,271	199	2	1,124	21	925	45

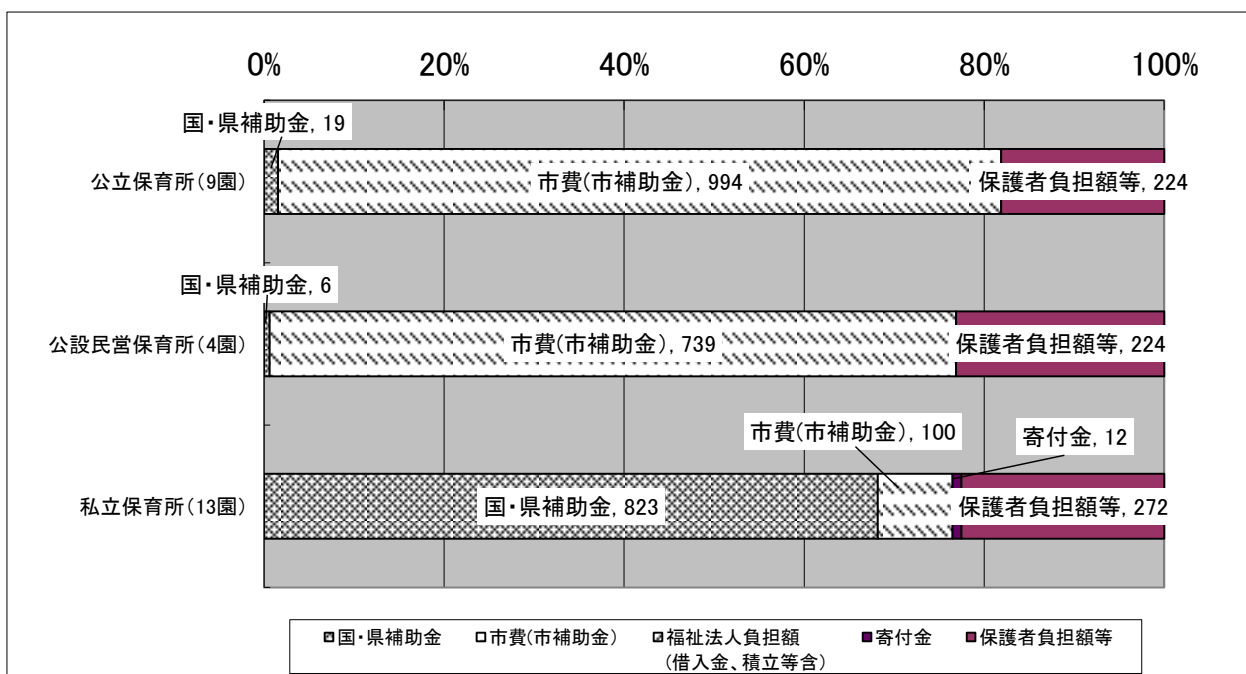


保育所児童一人当たりの支出額に対する負担割合（H22：年間の平均額）

（千円）

園	支出額	国・県補助金	市費(市補助金)	福祉法人負担額 (借入金、積立等含)	寄付金	保護者負担額等	保護者負担への 市補助金
公立保育所(9園)	1,237	19	994			224	0
公設民営保育所(4園)	969	6	739			224	0
私立保育所(13園)	1,053	823	100		12	272	0

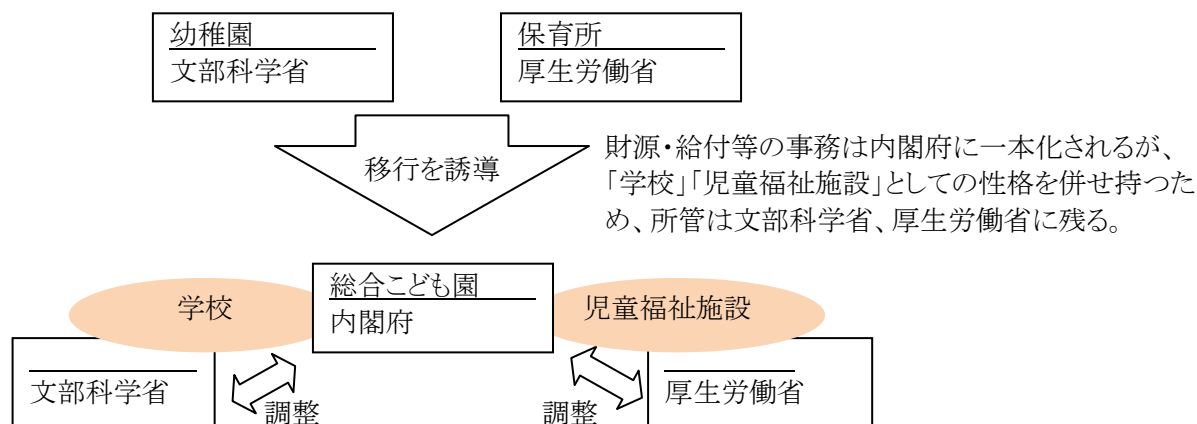
※市費(市補助金)については、保護者負担額等を控除した額で表示したものである。(実際に民間保育所に支出する段階では、市費として保護者負担額と合算して支出している。)



1 「子ども・子育て新システム」の幼保一体化について

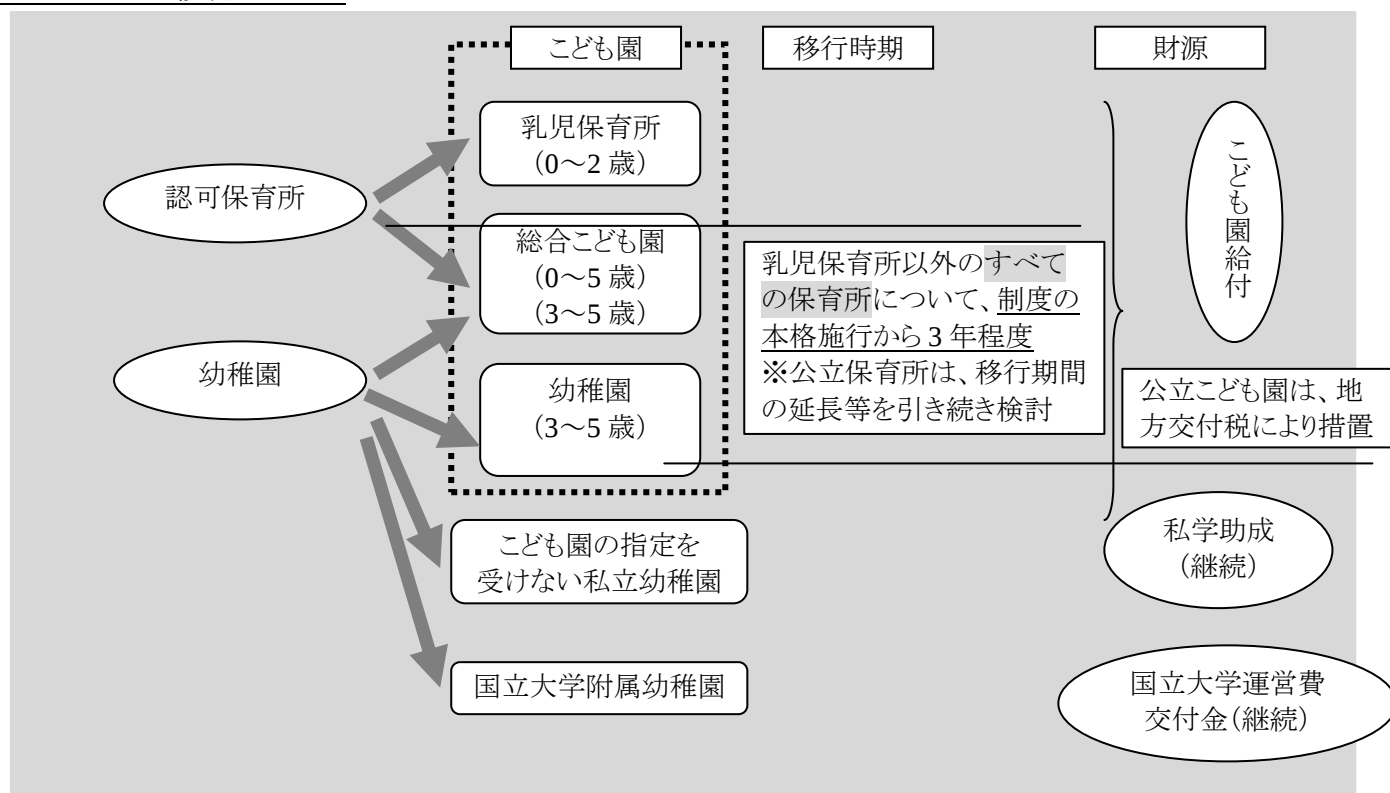
総合こども園（学校教育と保育及び家庭における養育の支援を一体的に提供する施設）の創設

- ・学校及び児童福祉施設の位置づけを付与し、学校教育・保育の質を保証する。
- ・幼稚園の保育機能強化により、保育の量的拡大を図る。
- ・幼稚園・保育所の認可・認定を一本化し、二重行政の解消を図る。

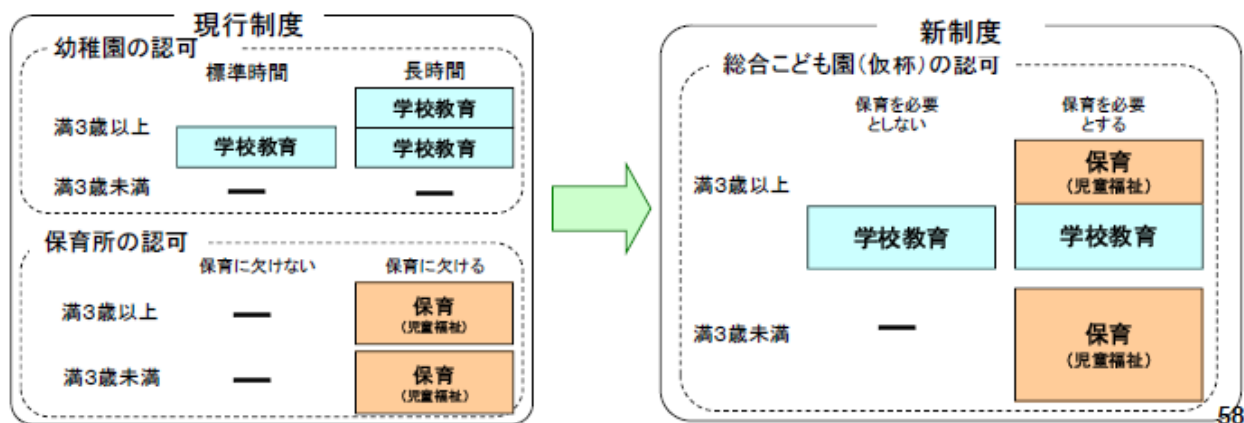


※総合こども園の設置基準は、現行の幼保連携型認定こども園の基準を基礎とし、制度施行までに検討され、国が定める基準を踏まえ、都道府県が条例で定める。

新システムへの移行イメージ



※こども園・・・指定を受けた総合こども園(仮称)、幼稚園、保育所など客観的な基準を満たした施設の総称
(こども園の指定基準・・・今後、国が定める基準を踏まえ市町村が条例で定める。)

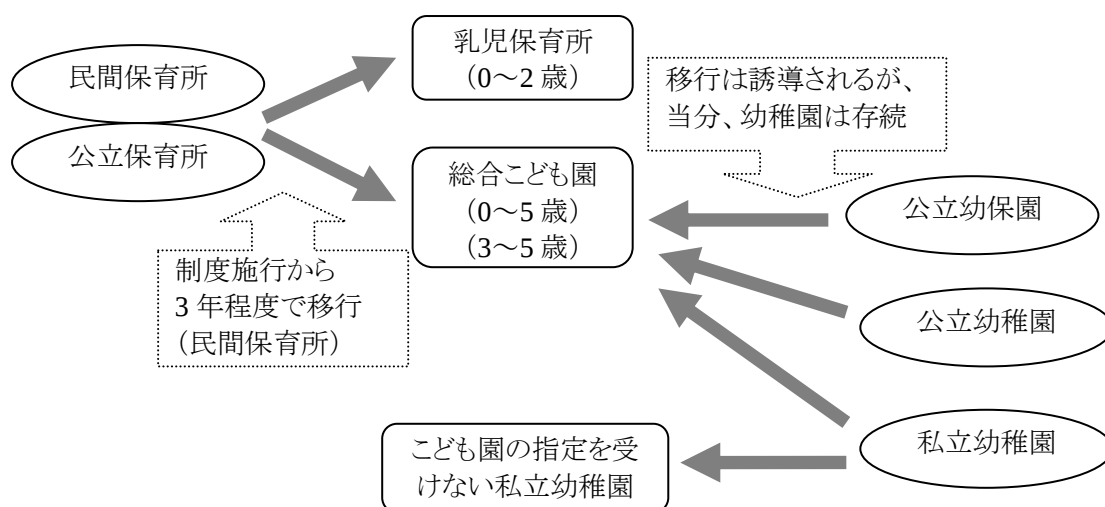


第20回の子ども・子育て新システム検討会議作業グループ基本制度ワーキングチーム説明資料より

市町村における幼保一体化の進め方

市町村においては、国による基本指針(仮称)を踏まえて、市町村新システム事業計画(仮称)を策定し、地域における需要の見込みなど地域の実情等に応じて、関係者等と十分に協議を行い、必要な施設・事業を計画的に整備する。

地域の需要見込みなどに応じて、公立・民間、保育所・幼稚園協働となって、地域等と協議を行いながら、総合こども園への移行を含めた必要な施設整備計画を検討する必要がある。



課題 (Issues)

- ・総合こども園は、0～2歳児の受け入れ義務がない。
- ・0～2歳児は手厚い職員配置(0歳児3人に保育士1人、1、2歳児6人に保育士1人)及び自園調理による給食が必要なため、調理室の設置が必要なため、現行の幼稚園が0～5歳児を受け入れる総合こども園へ移行することは難しい。

2 松江市独自の幼稚園と小学校の連携、幼保一元化事業について

1 幼稚園から小学校へと繋がっていく一貫した教育体制

旧松江市、鹿島町、玉湯町、宍道町、八雲村、東出雲町では、ほぼ小学校区ごとに幼稚園が整備され、地域や小学校と連携した教育を行ってきた。

(1) 現状

保育所を利用する子供が増え、市立幼稚園から市立小学校へ進学する子どもが減っている。大多数が同じ幼稚園から進学する小学校は、大谷幼稚園、しんじ幼保園、交流保育を行っている東出雲の3幼稚園・保育所だけである。

市立幼稚園と市立小学校だけでは、保幼小の連携を図ることは難しい状況である。

【参考】H24年度入学予定者のうち、校区内の市立幼稚園からの園児数割合

小学校名	入学 予定数	市立幼稚園	割合	備考
母衣小	60	13	21.7	
城北小学校	109	26	23.9	
内中原小学校	121	40	33.1	
中央小学校	47	9	19.1	
雑賀小学校	33	12	36.4	
津田小学校	138	42	30.4	
古志原小学校	76	22	28.9	
川津小学校	104	33	31.7	
朝酌小学校	10		0.0	
法吉小学校	95		0.0	
竹矢小学校	54	14	25.9	
乃木小学校	178	70	39.3	
忌部小学校	14	2	14.3	
大庭小学校	86	17	19.8	
生馬小学校	17	3	17.6	
持田小学校	42	8	19.0	
古江小学校	42	10	23.8	
本庄小学校	14		0.0	本庄保育所 13人(92.9%)
大野小学校	4	2	50.0	
秋鹿小学校	8	2	25.0	
鹿島東小学校	19	9	47.4	
恵曇小学校	14	6	42.9	
佐太小学校	14	6	42.9	
島根小学校	27		0.0	マリン 14人(51.9%) 野波 11人(40.7%)
美保関小学校	28		0.0	美保関西 9人(32.1%) 美保関東 17人(60.7%)
八雲小学校	57	12	21.1	八雲保 12人(21.1%)
玉湯小学校	47	15	31.9	
大谷小学校	3	3	100.0	
宍道小学校	63	60	95.2	
来待小学校	19	17	89.5	
八束学園	25		0.0	二葉 22人(88%) 江島 3人(12%)
出雲郷小学校	69	53	76.8	出雲郷保育所含む。
揖屋小学校	52	45	86.5	揖屋保育所含む。
意東小学校	34	33	97.1	意東保育所含む。

2 独自の幼保一元化施設「幼保園」

(1) 幼保園設置の背景

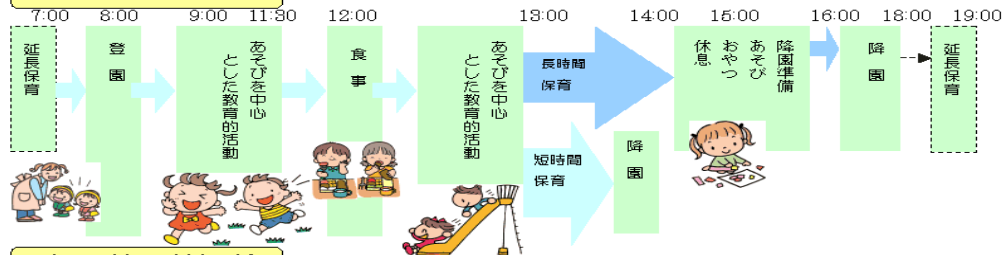
松江市では、幼稚園・保育所の所管を一つにし、幼保一元化を推進するとともに、幼稚園・保育所が持つ長所を融合・活用した独自の幼保一体化施設「幼保園」を設置した。

		幼保園	
		保育に欠けない	保育に欠ける
3歳以上	長時間保育	幼稚園	
	短時間保育		
3歳未満		—	保育所

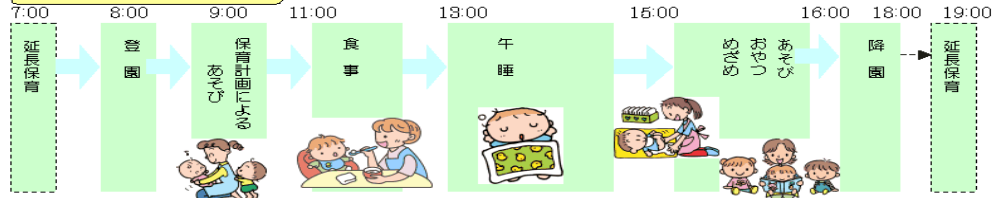
幼保園の特徴

- ・3歳児以上は、保育に欠ける、欠けないにかかわらず幼稚園児
- ・月単位で、長時間保育・短時間保育の変更可

3歳～5歳児の生活の流れ



0歳～2歳児の生活の流れ



【参考】「幼保一元化」と「幼保一体化」の表現について

幼保連携の手法としては「幼保一元化」と「幼保一体化」がある。

「幼保一元化」・・・現在まったく別のものとなっている幼稚園と保育所設置運営基準や教育内容を法的に見直し、制度を同一にしたうえで、幼児の教育と保育を進めること。

・国や自治体において幼稚園と保育所の所管を一本化し、制度も一つにすること。

「幼保一体化」・・・現行の法律のまま、幼稚園・保育所を同一敷地内に設置し、職員や幼児同士の交流や施設の共同など、教育内容を合わせて幼児の教育、保育し、法律を変えることなく、取り急ぎ一元化の効果が望めること。

・国で検討している「子ども・子育て新システム」においては、「幼保一元化」と「幼保一体化」が厳密に区別されることなく使用され、近年は主に用いられていた「一元化」に代わり「一体化」が使用されているが、松江市として将来の理想として掲げているのは「幼保一元化」であるため、敢えて『幼保一元化推進事業』という表現を用いている。

(2) 今後の幼保園について

子ども・子育て新システムの制度の本格施行に併せ、総合こども園へ移行する。（新システムにおいては、公立の総合こども園の指定管理制度の導入も検討されている）

幼保園のぎ、しんじ幼保園、城西幼保園（仮称）は、公立幼稚園・保育所の特別支援、特別保育等の拠点園として位置づけていく。

総合こども園の設置基準は、現行の幼保連携型認定こども園の基準を基礎とし、制度施行までに検討され、国が定める基準を踏まえ、都道府県が条例で定められる。

現在、松江市立幼保園はメリット等がないため認定こども園の認定を受けていないが、島根県条例で定めている認定こども園の基準は満たしているため、現在の幼保園のまま総合こども園への移行は可能だと考えている。

3 保育所の運営費について

運営費＝（保育単価＋職員の平均勤続年数加算）×児童数

※保育単価・・・保育所の所在地域、所長の設置の有無、保育所の定員、児童の年齢区分により決まっている。

たとえば

松江市にある定員 41 人～50 人の所長がいる保育所の場合（平成 23 年度）

乳児	162,550 円
1, 2 歳児	101,770 円
3 歳児	56,140 円
4, 5 歳児	50,070 円

※職員の平均勤続年数加算・・・保育所に常勤で勤務する職員 1 人当たりの平均勤続数

4 年未満	4%加算
4 年以上 7 年未満	6%加算
7 年以上 10 年未満	10%加算
10 年以上	12%加算

4 特別保育事業の補助金について

特定保育事業、休日・夜間保育事業、待機児童解消促進等事業、保育環境改善等事業、延長保育促進事業、一時保育事業、県単一時保育事業、地域交流課活動事業、世代間交流活動支援事業、異年代グループ活動支援事業、子育て講座事業、両立支援講座事業等ごとに補助金がある。

各事業に補助基準額が定めてあり、延長保育、一時保育等は利用人数等により補助額が決定される。

【参考】

●一時保育

平成 21 年 4 月 1 日から児童福祉法に基づく事業として施行、事業開始に伴う届出事項や事業実施に必要な基準が設けられた。

◇実施基準

○設備

- ①事業対象とする乳幼児の年齢及び人数に応じて、必要な設備を設けること
- ②食事の提供を行う場合においては、調理設備を備えること。

○運営

- ①事業対象とする乳幼児の年齢及び人数に応じて、保育士を置くこと。（最低 2 名）
※ただし、年間延べ児童数が 300 人未満の場合は、うち 1 人は通常保育士の兼務可）
- ②児童福祉施設最低基準第 35 条の規定に準じること

○国庫補助金

（対象）

実施基準をすべて満たし、開始届を提出し、年間延べ利用児童数が 300 人以上の場合

（補助金額）

300 人以上	900 人未満	1,580,000 円
900 人以上	1500 人未満	2,840,000 円
1500 人以上	2100 人未満	4,100,000 円

・

・

3900 人以上	9,140,000 円
----------	-------------

○県単補助金

（対象）

上記国庫補助金の対象とならない場合

（補助金額）

25 人以上	300 人未満	270,000 円
300 人以上	900 人未満	450,000 円
900 人以上		810,000 円

4 保育料について

上段 : 松江市の料金

下段 : 国の基準

(1) 認可保育所(主食費は、別途実費徴収)

年度当初の入所児童の属する世帯の階層区分			徴収金額(月額)		
区分	定義		3歳未満児	3歳児	4歳以上児
第1階層	生活保護法による被保護世帯 (単給世帯を含む)		0 0		0 0
第2階層	第1階層及び第4～ 第8階層を除き、平 成22年度分の市町 村民税の額の区分が 次の区分に該当する 世帯	市町村民税が非課税の世帯	7,000 9,000		4,800 6,000
第3階層		市町村民税が課税の世帯	15,600 19,500		13,000 16,500
第4階層	第1階層を除き、平 成22年分の所得税 が課税世帯であって その所得税の額の区 分が次の区分に該当 する世帯	所得税の額が40,000円未満 である世帯	19,800 30,000		17,400 27,000
第5階層		所得税の額が40,000円以上 103,000円未満である世帯	29,800 44,500	27,400 41,500	26,900 41,500
第6階層		所得税の額が103,000円以上 413,000円未満である世帯	46,100 61,000	27,400 58,000	26,900 58,000
第7階層		所得税の額が413,000円以上 734,000円未満である世帯	46,100 80,000	27,400 77,000	26,900 77,000
第8階層		所得税の額が734,000円以 上である世帯	55,000 104,000	36,300 101,000	35,800 101,000

(2) 公立幼稚園

幼稚園名		入園料	保育料		
			月額		年額
			3歳児	4.5歳児	
松江市立幼稚園(28園)		4,000	8,700円×12月		104,400
松江市立幼保園(2園)	短時間	4,000	9,500円×11月		104,500
	長時間	4,000	22,600	22,100	

公立幼稚(保)園保育料の減免後の額(月額) ※幼保園は、給食費＋主食費合算後の額

減免基準	幼稚園	幼保園	幼保園
		短時間保育	長時間保育
生活保護法の適用を受けている世帯	0	1,000	1,600
当該年度に納付すべき市町村民税が非課税の世帯	0	4,000	6,400
上記の世帯のうち、母子家庭、父子家庭又は在宅障がい児(者)のいる世帯		1,000	1,600
前年に納付すべき所得税が非課税の世帯		4,000	14,600
上記の世帯のうち、母子家庭、父子家庭又は在宅障がい児(者)のいる世帯		600	13,600
前年に納付すべき所得税が保育料徴収基準額表の第4階層に該当する世帯(4万円未満の世帯)			19,000
世帯に子供が3人以上で、準要保護認定基準年間収入額を下回る世帯	0	4,000	
その他特別の事情がある者	0	0	市長が定める額

※多子軽減(同時就園の2番目以降、小学校6年生以下の3番目以降の園児に対する減免)も別途あり

(3) 私立幼稚園等

幼稚園名	入園料	保育料		
		月額		年額
		3 歳児	4.5 歳児	
島根大学教育学部附属幼稚園	31,300			73,200
育英・育英北幼稚園	60,000	32,410		
松江暁の星幼稚園	40,000	18,000		
松徳幼稚園	30,000	12,000		

私立幼稚園保育料の減免に対する補助金額の上限額(年額)

世帯の条件	補助金額				
	就園児の中の 第 1 子	就園時の中の 第 2 子	就園時の中の 第 3 子以降	小学校 3 年生以 下の第 2 子	小学校 3 年生以 下の第 3 子以降
生活保護世帯	223,200 円	64,000 円	303,000 円	244,000 円	303,000 円
今年度に納付すべき 市民税が非課税とな る世帯	193,200 円	249,000 円	303,000 円	222,000 円	303,000 円
今年度に納付すべき 市民税の所得割課税 の額が 34,500 円以下 の世帯	109,200 円	207,000 円	303,000 円	159,000 円	303,000 円
今年度に納付すべき 市民税の所得割課税 の額が 183,000 円以 下の世帯	46,800 円	175,000 円	303,000 円	111,000 円	303,000 円

中学校	小学校	市立		国立・私立	
		幼稚園	保育所（園）	幼稚園	認可保育所（園）
第一中学校	内中原小学校	内中原幼稚園	末次保育所		しらとり保育所
	城北小学校	城北幼稚園		島大附属幼稚園	嵩見保育所
	法吉小学校				比津ヶ丘保育園
					法吉保育所
					みずうみ保育園
					みずうみ第2保育園
					比津ヶ丘保育園融合センター
					比津ヶ丘保育園わらべのその
	生馬小学校	生馬幼稚園			みのり黒田保育園
みのり保育園					
浜佐田保育園					
				みのり乳児保育園	
第二中学校	母衣小学校	母衣幼稚園	城東保育所	松江暁の星幼稚園	たまち保育園
					しらゆり千鳥保育園
	川津小学校	川津幼稚園		育英北幼稚園	たまち乳児保育園
	持田小学校	持田幼稚園			たまち育英北保育園
	朝酌小学校	朝酌幼稚園			しらゆり第2保育園
第三中学校	中央小学校	中央幼稚園	白潟保育所		松江ザイ保育園
					松江保育所
					松原保育園
	雑賀小学校	雑賀幼稚園		松徳幼稚園	松尾保育所
					みつき保育園
みどり保育所					
				みつき乳児保育園	
第四中学校	津田小学校	津田幼稚園			愛恵保育園
					虹の子保育園
	古志原小学校	古志原幼稚園			古志原保育所
					なかよし保育園
					こぼと保育園
				運動公園前保育所チャイルド	
湖南中学校	乃木小学校	幼保園のぎ			幼保園のぎ
					乃木保育所
					袖師保育所
					つわぶき保育園
					みつき田和山保育園
					みつき田和山夜間保育園
					みつき田和山第2保育園
	忌部小学校	忌部幼稚園			
湖東中学校	竹矢小学校	竹矢幼稚園			わかたけ保育園
					しらゆり第3保育園
	大庭小学校	大庭幼稚園		育英幼稚園	しらゆり保育園
					育英乳児保育園
				なの花保育園	
本庄中学校	本庄小学校	本庄幼稚園			本庄保育所
湖北中学校	古江小学校	古江幼稚園			ふたば保育所
					ふたば第二保育所
	大野小学校	大野幼稚園			
	秋鹿小学校	秋鹿幼稚園			
鹿島中学校	鹿島東小学校	講武幼稚園	御津保育所		
	恵曇小学校	恵曇幼稚園	恵曇保育所		
	佐太小学校	佐太幼稚園			
島根中学校	島根小学校		マリン保育所		
			野波保育所		
美保関中学校	美保関小学校		美保関西保育所		
			美保関東保育所		
八雲中学校	八雲小学校	八雲幼稚園	八雲保育園		たけかや保育園
					ひよし保育園
玉湯中学校	玉湯小学校	玉湯幼稚園			湯町保育園
	大谷小学校	大谷幼稚園			玉湯さくら保育園
宍道中学校	宍道小学校	しんじ幼保園			
	来待小学校				
八束学園			二葉保育所		
			江島保育所		
東出雲中学校	意東小学校	意東幼稚園	意東保育園		
	揖屋小学校	揖屋幼稚園	揖屋保育園		
	出雲郷小学校	出雲郷幼稚園	出雲郷保育園		

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 松江市における幼稚園・保育所(園)の管理運営及び施設整備等について、将来にわたる幼稚園・保育所(園)のあり方を検討するために松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 松江市が設置する幼稚園、幼保園及び保育所(園)（以下「公立園」という。）の運営基本方針及び運営方法等の検討
- (2) 公立園の施設整備方針の検討
- (3) 公立園及び民間が設置する幼稚園及び保育所(園)（以下「私立園」という。）の役割分担の検討
- (4) 前3号に掲げるもののほか、必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員16人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 公立園の代表
- (3) 私立園の代表
- (4) 公立園の保護者代表
- (5) 松江市立小学校代表
- (6) 地域コミュニティ関係者
- (7) 児童福祉関係者
- (8) 経済、労働、市民団体等

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任は妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

(関係者の出席)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、健康福祉部子育て課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成23年12月15日（以下「施行日」という。）から施行する。
- 2 施行日以後最初に開かれる最初の委員会は、第6条の規定にかかわらず市長が召集する。
- 3 委嘱された委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず平成25年3月31日までとする。

松江市における幼稚園・保育所(園)のあり方検討委員会 委員名簿

役職	分類	所属	氏名	備考
委員長	学識経験者	島根大学教育学部教授	肥 後 功 一	
副委員長	学識経験者	島根県立大学保育学科教授	山 下 由 紀 恵	
委員	私立幼稚園	松江市私立幼稚園協会	坪 内 孝 満	坪内学園グループ会長
委員	私立保育所	保育所理事長会	中 山 哲 夫	ふたば保育所長
委員	保護者	松江市幼稚園 PTA 連合会	都 田 健 吉	津田幼稚園保護者
委員	保護者	松江市保育所保護者会連合会	樋 口 浩 和	愛恵保育園保護者
委員	地域	松江市町内会・自治会連合会	多 久 和 耕 吉	大庭地区自治協会
委員	地域	民生児童委員協議会連合会	井 口 誠	
委員	経済界	山陰経済経営研究所	永 井 康 之	
委員	商業	松江商工会議所	遠 田 順	
委員	労働団体	労働組合総連合会島根県連合会	門 脇 直 人	
委員	子育て支援団体	サンママ松江	谷 島 ともみ	
委員	小学校	松江市立小学校長会	加 本 淳 夫	古江小学校長
委員	市立幼稚園	松江市立幼稚園長会	安 尾 博 子	城北幼稚園長
委員	市立保育所	松江市立保育所長会	和 田 喜 美 子	末次保育所長
委員	職員代表	松江市職員ユニオン本庁支部	田 村 祐 二	
事務局		健康福祉部長	渡 部 厚 志	
		教育委員会副教育長	坂 根 哲 治	
		健康福祉部次長	田 中 豊	
		健康福祉部保健福祉課長	山 内 政 司	
		教育委員会教育総務課長	講 武 直 樹	
		教育委員会学校教育課長	奥 村 泰 磨	
		健康福祉部子育て課長	湯 町 信 夫	
		健康福祉部子育て課保育第 1 係長	坂 本 貴 子	
		健康福祉部子育て課保育第 2 係長	小 島 一 文	
		健康福祉部子育て課施設整備係長	昌 子 悟	
		健康福祉部子育て課幼稚園係長	福 間 千 恵	